

平成 29 年 2 月 2 日 (木)  
平成 28 年度第 2 回過疎問題懇談会資料

# 過疎地域等の条件不利地域における 集落の現況把握調査 (過疎地域抜粋版)

平成29年2月

総務省 地域力創造グループ 過疎対策室

※「平成 27 年度 過疎地域等条件不利地域における集落の現況把握調査」(国土交通省・総務省  
共同調査。平成 28 年 9 月発表) から作成。



# 目 次

1. 調査の概要.....	1
---------------	---

2. 調査の方法.....	1
---------------	---

- (1) H27 集落調査の対象
- (2) 本稿における集計対象
- (3) 調査項目

3. 過疎地域等における集落の現状.....	9
------------------------	---

- (1) 居住者のいる集落数
- (2) 集落の人口規模
- (3) 集落の世帯数規模
- (4) 集落の年齢構成
- (5) 近年の転入の状況
- (6) 集落の立地特性
- (7) 生活サービス機能の立地状況
- (8) サポート人材が活動する集落の状況
- (9) 集落機能の維持状況
- (10) 今後の集落の見通し
- (11) 集落ネットワーク圏の形成状況

参考資料.....	参考-1
-----------	------



# 図表索引

図表タイトル		ページ
<b>2. 調査の方法</b>		
図表2-1	調査対象市町村の種類	1
図表2-2	本稿における集計対象区域(旧市町村)数	2
図表2-3	地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 現市町村数・区域(旧市町村)数	2
図表2-4	調査項目(集落データ収集項目)の概要	3
図表2-5	集落データ調査項目(集落データ収集項目)一覧	4
<b>3. 過疎地域等における集落の現状</b>		
<b>(1) 居住者のいる集落数</b>		9
図表3-1	地方ブロック別・市町村区分別 集落数及び1市町村あたり平均集落数	9
図表3-2	地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数	10
図表3-3	過疎区分別・旧市町村区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数	10
図表3-4	地方ブロック別・地域区分別 集落数	11
図表3-5	過疎区分別・地域区分別 集落数	11
図表3-6	地方ブロック別・集落類型別 集落数	12
<b>(2) 集落の人口規模</b>		13
図表3-7	地方ブロック別・市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口	13
図表3-8	地方ブロック別・過疎区分別集落人口及び1集落あたり平均人口	14
図表3-9	地方ブロック別・地域区分別集落人口及び1集落あたり平均人口	15
図表3-10	地方ブロック別・人口規模別 集落数	16
図表3-11	過疎区分別・人口規模別 集落数	16
図表3-12	集落類型別・人口規模別 集落数	17
図表3-13	地域区分別・人口規模別 集落数	17
図表3-14	役場(本庁)までの距離別・人口規模別 集落数	17
図表3-15	高齢者割合別・人口規模別 集落数	18
図表3-16	転入者の有無別・人口規模別 集落数	18
<b>(3) 集落の世帯数規模</b>		19
図表3-17	地方ブロック別・市町村別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数	19
図表3-18	地方ブロック別・過疎区分別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数	20
図表3-19	地方ブロック別・地域区分別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数	21
図表3-20	地方ブロック別・世帯数規模別 集落数	22
図表3-21	過疎区分別・世帯数規模別 集落数	22
図表3-22	集落類型別・世帯数規模別 集落数	23
図表3-23	地域区分別・世帯数規模別 集落数	23
図表3-24	役場(本庁)までの距離別・世帯数規模別 集落数	23
図表3-25	高齢者割合別・世帯数規模別 集落数	24
図表3-26	転入者の有無別・世帯数規模別 集落数	24
<b>(4) 集落の年齢構成</b>		25
図表3-27	地方ブロック別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数	25
図表3-28	過疎区分別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数	25
図表3-29	集落類型別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数	26
図表3-30	地域区分別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数	26
図表3-31	役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数	27
図表3-32	転入者の有無別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数	27
図表3-33	地方ブロック別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数	28
図表3-34	過疎区分別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数	28
図表3-35	集落類型別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数	29

図表3-36 地域区分別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数	29
図表3-37 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数	30
図表3-38 転入者の有無別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数	30
図表3-39 地方ブロック別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数	31
図表3-40 過疎区分別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数	31
図表3-41 集落類型別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数	32
図表3-42 地域区分別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数	32
図表3-43 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数	33
図表3-44 転入者の有無別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数	33
図表3-45 地方ブロック別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数	34
図表3-46 過疎区分別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数	34
図表3-47 集落類型別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数	35
図表3-48 地域区分別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数	35
図表3-49 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数	36
図表3-50 転入者の有無別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数	36
図表3-51 65歳以上人口割合が高い集落の主要特性	37
図表3-52 地方ブロック別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数	38
図表3-53 過疎区分別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数	38
図表3-54 集落類型別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数	39
図表3-55 地域区分別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数	39
図表3-56 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数	40
図表3-57 転入者の有無別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数	40
図表3-58 75歳以上人口割合の高い集落の主要特性	41
<b>(5)近年の転入の状況</b>	42
図表3-59 地方ブロック別・転入者の有無別 集落数	42
図表3-60 過疎区分別・転入者の有無別 集落数	42
図表3-61 集落類型別・転入者の有無別 集落数	43
図表3-62 地域区分別・転入者の有無別 集落数	43
図表3-63 集落の人口規模別・転入者の有無別 集落数	44
図表3-64 集落の世帯数規模別・転入者の有無別 集落数	44
図表3-65 高齢者割合別・転入者の有無別 集落数	45
図表3-66 役場(本庁)までの距離別・転入者の有無別 集落数	45
図表3-67 近年転入がみられる集落の主要特性	46
図表3-68 地方ブロック別・子育て世帯の転入の有無別 集落数	47
図表3-69 過疎区分別・子育て世帯の転入の有無別 集落数	47
図表3-70 集落類型別・子育て世帯の転入の有無別 集落数	48
図表3-71 地域区分別・子育て世帯の転入の有無別 集落数	48
図表3-72 役場(本庁)までの距離別・子育て世帯の転入の有無別 集落数	48
図表3-73 集落の人口規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数	49
図表3-74 集落の世帯数規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数	49
図表3-75 近年子育て世帯の転入がみられる集落の主要特性	50
<b>(6)集落の立地特性</b>	51
図表3-76 地方ブロック別・地形的末端集落数	51
図表3-77 過疎区分別・地形的末端集落数	51
図表3-78 集落類型別・地形的末端集落数	52
図表3-79 地域区分別・地形的末端集落数	52
図表3-80 集落の人口規模別・地形的末端集落数	80
図表3-81 集落の世帯数規模別・地形的末端集落数	80
図表3-82 高齢者割合別・地形的末端集落数	54
図表3-83 転入者の有無別・地形的末端集落数	54
図表3-84 地方ブロック別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数	55
図表3-85 過疎区分別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数	55

図表タイトル		ページ
図表3-86	集落類型別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数	56
図表3-87	地域区分別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数	56
図表3-88	集落の人口規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数	57
図表3-89	集落の世帯数規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数	57
図表3-90	高齢者割合別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数	58
図表3-91	転入者の有無別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数	58
<b>(7)生活サービス機能の立地状況</b>		59
図表3-92	地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数	59
図表3-93	過疎区分別・生活サービス機能の立地状況別 集落数	59
図表3-94	集落類型別・生活サービス機能が立地している集落数	60
図表3-95	地域区分別・生活サービス機能が立地している集落数	60
図表3-96	集落の人口規模別・生活サービス機能が立地している集落数	61
図表3-97	集落の世帯数規模別・生活サービス機能が立地している集落数	61
図表3-98	高齢者割合別・生活サービス機能が立地している集落数	62
図表3-99	転入者の有無別・生活サービス機能が立地している集落数	62
<b>(8)サポート人材が活動する集落の状況</b>		63
図表3-100	地方ブロック別・サポート人材が活動する集落数	63
図表3-101	過疎区分別・サポート人材が活動する集落数	63
図表3-102	集落類型別・サポート人材が活動する集落数	64
図表3-103	地域区分別・サポート人材が活動する集落数	64
図表3-104	集落の人口規模別・サポート人材が活動する集落数	65
図表3-105	集落の世帯数規模別・サポート人材が活動する集落数	65
図表3-106	役場(本庁)までの距離別・サポート人材が活動する集落数	66
図表3-107	高齢者割合別・サポート人材が活動する集落数	66
図表3-108	転入者の有無別・サポート人材が活動する集落数	66
<b>(9)集落機能の維持状況</b>		67
図表3-109	地方ブロック別・資源管理機能の維持状況別 集落数	67
図表3-110	過疎区分別・資源管理機能の維持状況別 集落数	67
図表3-111	集落類型別・資源管理機能の維持状況別 集落数	68
図表3-112	地域区分別・資源管理機能の維持状況別 集落数	68
図表3-113	集落の人口規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数	69
図表3-114	集落の世帯数規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数	69
図表3-115	高齢者割合別・資源管理機能の維持状況別 集落数	70
図表3-116	転入者の有無別・資源管理機能の維持状況別 集落数	70
図表3-117	地方ブロック別・生産補完機能の維持状況別 集落数	71
図表3-118	過疎区分別・生産補完機能の維持状況別 集落数	71
図表3-119	集落類型別・生産補完機能の維持状況別 集落数	72
図表3-120	地域区分別・生産補完機能の維持状況別 集落数	72
図表3-121	集落の人口規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数	73
図表3-122	集落の世帯数規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数	73
図表3-123	高齢者割合別・生産補完機能の維持状況別 集落数	74
図表3-124	転入者の有無別・生産補完機能の維持状況別 集落数	74
図表3-125	地方ブロック別・生活扶助機能の維持状況別 集落数	75
図表3-126	過疎区分別・生活扶助機能の維持状況別 集落数	75
図表3-127	集落類型別・生活扶助機能の維持状況別 集落数	76
図表3-128	地域区分別・生活扶助機能の維持状況別 集落数	76
図表3-129	集落の人口規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数	77
図表3-130	集落の世帯数規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数	77
図表3-131	高齢者割合別・生活扶助機能の維持状況別 集落数	78
図表3-132	転入者の有無別・生活扶助機能の維持状況別 集落数	78
図表3-133	地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数	79
図表3-134	地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数	79
図表3-135	集落類型別・集落機能の維持状況別 集落数	80

図表タイトル		ページ
図表3-136	地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数	80
図表3-137	集落の人口規模別・集落機能の維持状況別 集落数	81
図表3-138	集落の世帯数規模別・集落機能の維持状況別 集落数	81
図表3-139	高齢者割合別・集落機能の維持状況別 集落数	82
図表3-140	転入者の有無別・集落機能の維持状況別 集落数	82
図表3-141	集落機能の維持状況別にみた集落特性	83
<b>(10) 今後の集落の見通し</b>		84
図表3-142	地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数	84
図表3-143	過疎区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数	84
図表3-144	集落類型別・今後の人口動向の見通し別 集落数	85
図表3-145	地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数	85
図表3-146	集落の人口規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数	86
図表3-147	集落の世帯数規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数	86
図表3-148	高齢者割合別・今後の人口動向の見通し別 集落数	87
図表3-149	転入者の有無別・今後の人口動向の見通し別 集落数	87
図表3-150	地方ブロック別・集落の消滅可能性別 集落数	88
図表3-151	過疎区分別・集落の消滅可能性別 集落数	88
図表3-152	集落類型別・集落の消滅可能性別 集落数	89
図表3-153	地域区分別・集落の消滅可能性別 集落数	89
図表3-154	集落の人口規模別・集落の消滅可能性別 集落数	90
図表3-155	集落の世帯数規模別・集落の消滅可能性別 集落数	90
図表3-156	高齢者割合別・集落の消滅可能性別 集落数	91
図表3-157	転入者の有無別・集落の消滅可能性別 集落数	91
図表3-158	今後の消滅可能性別にみた集落特性	92
図表3-159	地方ブロック別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数	93
図表3-160	過疎区分別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数	93
図表3-161	集落類型別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数	94
図表3-162	地域区分別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数	94
図表3-163	集落の人口規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数	95
図表3-164	集落の世帯数規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数	95
図表3-165	高齢者割合別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数	96
図表3-166	転入者の有無別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数	96
<b>(11) 集落ネットワーク圏の形成状況</b>		97
図表3-167	地方ブロック別・生活圏及び集落ネットワーク圏の形成状況	97
図表3-168	過疎区分別・生活圏及び集落ネットワーク圏の形成状況	97
図表3-169	地方ブロック別・形成されている生活圏の範囲別 生活圏の数	98
図表3-170	過疎区分別・形成されている生活圏の範囲別 生活圏の数	98
図表3-171	地方ブロック別・形成されている集落ネットワーク圏の範囲別 集落ネットワーク圏数	99
図表3-172	過疎区分別・形成されている集落ネットワーク圏の範囲別 集落ネットワーク圏数	99
図表3-173	地方ブロック別・集落ネットワーク圏の人口規模・人口構成・世帯数規模	100
図表3-174	過疎区分別・集落ネットワーク圏の人口規模・人口構成・世帯数規模	100
図表3-175	地方ブロック別・集落ネットワーク圏の中心集落の人口規模別 集落ネットワーク圏数	101
図表3-176	過疎区分別・集落ネットワーク圏の中心集落の人口規模別 集落ネットワーク圏数	101
図表3-177	地方ブロック別・集落ネットワーク圏の中心集落における生活サービス機能の立地状況	102
図表3-178	過疎区分別・集落ネットワーク圏の中心集落における生活サービス機能の立地状況	102



# 集落の現状把握 ～H27 集落調査データ分析～

## 1. 調査の概要

総務省と国土交通省では、過疎地域等の集落の状況を把握するため、これまで平成 18 年度、平成 22 年度及び平成 27 年度に両省の合同調査として「過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査」（以下、総称として「集落調査」といい、各年の調査はそれぞれ「H18 集落調査」「H22 集落調査」「H27 集落調査」という。）を実施してきた。

特に H27 集落調査では、我が国全体が人口減少に転じた中で、中山間地域では、集落ネットワーク圏の形成など集落を超えた新たな広域的な地域づくりが行われつつあることや、近年ではいわゆる「田園回帰」と呼ばれる、若年者を中心とする都市部から条件不利地域への転入の動きがみられること等に鑑み、調査項目に集落ネットワーク圏の形成状況や転入の状況などを問う項目を追加するなど、調査の充実が図られている。

また、H27 集落調査では、調査対象地域に過疎地域以外の条件不利地域を追加し「過疎地域等条件不利地域における集落の現況把握調査」として取りまとめたところである。

本稿は、H27 集落調査における集落データから、過疎地域等のみの集落の状況等について集計したものである。

※H27 集落調査の対象地域と本稿の集計対象地域については「2. 調査の方法（2）本稿における集計対象」を参照のこと。

## 2. 調査の方法

### (1) H27 集落調査の対象

H27 集落調査は、平成 27 年 4 月 1 日現在の「過疎地域自立促進特別措置法」（平成 12 年法律第 15 号。以下「自立促進法」という。）に基づく過疎地域を有する市町村のほか、H27 集落調査の調査時点では自立促進法に基づく過疎地域ではないがこれまでの集落調査において調査対象としていた地域※を有する市町村及び平成 27 年 4 月 1 日時点における以下の関係各法により指定される地域を含む全市町村を対象として実施し、集落データの収集については、それぞれの地域に指定されている地域における集落を対象とした。

※次の①及び②の地域

①：過疎地域市町村の合併後、経過措置により、合併から 5 年間、いわゆる「みなし過疎」として当該市町村全域が過疎地域となり経過措置の終了後にいわゆる「一部過疎市町村」になった市町村において、経過措置の終了により、H27 集落調査時点では過疎地域ではなくなっている地域（以下、図表 2-1 において「みなし過疎終了後の非過疎地域」という。）。

②：過疎地域活性化特別措置法（平成 2 年法律第 15 号。以下「活性化法」という。）により過疎地域として指定されていた地域。

図表 2-1 調査対象市町村の種類

地域指定	調査対象市町村		調査対象地域
過疎地域等	自立促進法に基づく H27.4.1 時点の 過疎地域市町村	過疎地域市町村(2 条 1 項)	市町村全域
		過疎地域とみなされる市町村(33 条 1 項)	
	みなし過疎終了後の非過疎地域を有する市町村(=前過疎) 活性化法に基づく過疎地域を有する市町村(=旧過疎)	過疎地域とみなされる区域を有する市町村 (33 条 2 項)	過疎地域とみなされる地域＋ 非過疎地域のうち前過疎・旧 過疎地域
振興山村	山村振興法に基づく <b>振興山村</b> を有する市町村		それぞれの地域に指定され ている地域 全域指定＝市町村全域 一部指定＝当該指定地域
離島振興対策 実施地域	離島振興法に基づく <b>離島振興対策実施地域</b> を有する市町村		
半島振興対策 実施地域	半島振興法に基づく <b>半島振興対策実施地域</b> を有する市町村		
特別豪雪地帯	豪雪地帯対策特別措置法に基づく <b>特別豪雪地帯</b> を有する市町村		

## (2)本稿における集計対象

H27 集落調査全体の対象市町村数は 1,042 市町村であり、うち 1,028 市町村（回収率 98.7%）から回答を得た。過疎地域については、調査対象市町村 795 市町村\*のうち 1 町を除く 794 市町村から、非過疎地域市町村については、調査対象市町村 247 団体のうち 13 市町村を除く 234 市町村から集落データの回答が得られた。

このうち、本稿で集計したのは、図表 2-1 中の「過疎地域等」の分、すなわち自立促進法に基づく過疎地域（回答のあった該当市町村数は 794 団体）と、現在は非過疎地域であるがこれまでの集落調査において過疎地域等として調査対象としていた地域（回答のあった該当市町村数は 23 団体）における集落の状況である。なお、平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村の範囲を 1 区域とした場合、本稿の集計対象区域の数は、1,555 区域となる。

※ 平成 27 年 4 月 1 日現在、自立活性化法に基づく過疎地域を有する市町村は 797 団体であるが、うち 2 団体は東日本大震災に伴う原発事故被災地であるため、調査対象外とした（詳細は図表 2-3 の注釈を参照のこと）。

図表 2-2 本稿における集計対象区域(旧市町村)数

対象市町村	過疎指定 現市町村単位	過疎指定 旧市町村単位	対象となる条件			調査対象 区域数	回答 区域数
			活性化法	H18	H22		
過疎地域市町村	全域	(全域)	-	-	-	1,057	1,052
	みなし過疎	(全域)	-	-	-	139	139
	一部過疎	過疎区域	過疎	過疎	過疎	1	1
			非過疎	過疎	過疎	17	17
		非過疎区域	過疎	過疎	非過疎	1	1
			非過疎	過疎	非過疎	4	4
			過疎	非過疎	非過疎	25	25
非過疎地域市町村	(非過疎)	(非過疎)	過疎	非過疎	非過疎	23	23
合 計						1,560	1,555

※ 「対象となる条件」について、「H18」は H18 集落調査時、「H22」は H22 集落調査時における過疎地域を指す。

図表 2-3 地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 現市町村数・区域(旧市町村)数

全体	現市町村の過疎区分別 現市町村数					現市町村の過疎区分別 区域(旧市町村)数					
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎 過疎区域	一部過疎 非過疎区域	非過疎	計
1 北海道	144 (94.7%)	0 (0.0%)	5 (3.3%)	3 (2.0%)	152 (100.0%)	166 (93.3%)	0 (0.0%)	9 (5.1%)	0 (0.0%)	3 (1.7%)	178 (100.0%)
2 東北圏	110 (76.9%)	12 (8.4%)	20 (14.0%)	1 (0.7%)	143 (100.0%)	184 (60.3%)	62 (20.3%)	47 (15.4%)	11 (3.6%)	1 (0.3%)	305 (100.0%)
3 首都圏	31 (54.4%)	0 (0.0%)	21 (36.8%)	5 (8.8%)	57 (100.0%)	48 (53.9%)	0 (0.0%)	30 (33.7%)	6 (6.7%)	5 (5.6%)	89 (100.0%)
4 北陸圏	8 (44.4%)	1 (5.6%)	9 (50.0%)	0 (0.0%)	18 (100.0%)	13 (35.1%)	8 (21.6%)	14 (37.8%)	2 (5.4%)	0 (0.0%)	37 (100.0%)
5 中部圏	50 (64.9%)	1 (1.3%)	22 (28.6%)	4 (5.2%)	77 (100.0%)	74 (52.9%)	5 (3.6%)	50 (35.7%)	7 (5.0%)	4 (2.9%)	140 (100.0%)
6 近畿圏	39 (72.2%)	4 (7.4%)	11 (20.4%)	0 (0.0%)	54 (100.0%)	60 (62.5%)	15 (15.6%)	18 (18.8%)	3 (3.1%)	0 (0.0%)	96 (100.0%)
7 中国圏	52 (65.0%)	3 (3.8%)	24 (30.0%)	1 (1.3%)	80 (100.0%)	153 (72.5%)	9 (4.3%)	43 (20.4%)	5 (2.4%)	1 (0.5%)	211 (100.0%)
8 四国圏	51 (76.1%)	1 (1.5%)	14 (20.9%)	1 (1.5%)	67 (100.0%)	106 (77.4%)	3 (2.2%)	23 (16.8%)	4 (2.9%)	1 (0.7%)	137 (100.0%)
9 九州圏	112 (74.2%)	7 (4.6%)	25 (16.6%)	7 (4.6%)	151 (100.0%)	231 (68.1%)	32 (9.4%)	59 (17.4%)	10 (2.9%)	7 (2.1%)	339 (100.0%)
10 沖縄県	16 (88.9%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	18 (100.0%)	17 (73.9%)	5 (21.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (4.3%)	23 (100.0%)
合計	613 (75.0%)	30 (3.7%)	151 (18.5%)	23 (2.8%)	817 (100.0%)	1,052 (67.7%)	139 (8.9%)	293 (18.8%)	48 (3.1%)	23 (1.5%)	1,555 (100.0%)

※ 東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、平成 27 年 4 月 30 日現在、全域が避難指示区域にあり、集落実態調査の実施が困難と思われる市町村は調査対象外とした。自立促進法に基づく過疎地域市町村のうち、2 団体が調査対象外となっている。

※ 区域数のうち、「一部過疎・非過疎区域」は現在の一部過疎市町村において過疎地域に指定されていない区域のうち、前過疎区域（H18 集落調査時に過疎地域であった区域）又は旧過疎区域（活性化法において過疎地域であった区域）である。

※ 区域数のうち、「非過疎」は、現在の非過疎地域市町村において活性化法で過疎地域であった区域である。

### (3) 調査項目

調査対象地域の全集落を対象に、以下の調査項目について集落ごとのデータを収集した。

なお、H27 集落調査を実施するにあたっては、これまでの集落調査で調査対象であった地域の集落については、H22 集落調査時に収集した集落データをあらかじめ調査票に記載した上で市町村に送付し、当該集落のその後の動向等について調査時時点の状況を記入してもらうこととした。また、H27 集落調査で新たに調査対象となった地域については、新たに当該地域の集落の状況等について調査した。

図表 2-4 調査項目(集落データ収集項目)の概要

大項目	調査項目(集落データ収集項目)
集落の属性	○集落名 ●集落ごとの地域振興諸法の地域指定状況 ●津波被災地にある集落
集落構成の変遷と現在の居住状況	○H27 時点での集落の状況 ○H22.4 以降の集落の行政的再編の有無
集落の人口・世帯数と近年の転入状況	○H27 住民基本台帳(H27.4.30.時点)人口・世帯数 ○総人口 ●0～14 歳 ●15～29 歳 ○30～64 歳 ○65～74 歳 ○75 歳以上 ○世帯数 ●当該集落における平成 22 年以降の転入者の有無 ●上記転入世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯の有無
集落類型や地域特性	○集落類型 ○役場(本庁/支所)までの距離(km) ○地域区分 ○地形的に末端にある集落
各集落における生活サービス機能の立地状況	●集落ごとの生活サービス機能の立地状況 ●病院・診療所 ●商店・スーパー ●ガソリンスタンド ●(簡易)郵便局 ●老人デイサービスセンター ●駅・バス停 ●小学校 ●幼稚園・保育所等
サポート人材が活動する集落の状況	●サポート人材が活動する集落の状況 ●集落支援員 ●地域おこし協力隊等 ●その他
集落機能の維持状況	○資源管理機能・生産補完機能・生活扶助機能の維持状況 ○集落機能の維持状況
集落の存続に対する見通し	○今後の消滅の可能性 ○今後の人口動向
集落ネットワーク圏の形成状況	●集落ネットワーク圏の形成状況 ●生活圏を形成している集落 ●各生活圏の中心集落 ●各生活圏の範囲 ●集落ネットワーク圏における地域運営組織の設立状況
集落機能の再編成	○集落機能の維持・再編成の見通し
消滅した集落の状況	○H22.4 以降に消滅(無人化)した集落の消滅理由 ○H22.4 以降に消滅した集落の住民の移転先 ○H22.4 以降に消滅した集落の消滅時期 ○H22.4 以降に消滅した集落にある主な資源の管理方法 ○消滅集落跡地の資源管理の状況

※○は前回調査からの継続調査項目、●は新規調査項目

図表 2-5 集落データ調査項目(集落データ収集項目)一覧

記号	データ項目	内容
(1)	市町村コード(H27時点)	平成27年4月現在の市町村コード
(2)	市町村名(H27時点)	平成27年4月現在の市町村名
(3)	市町村区分(H27時点)	平成27年4月現在の市・町・村の区分
(4)	過疎指定(H27時点)	平成27年4月現在の過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域の指定状況 過疎 : 過疎地域市町村(2条1項) みなし過疎 : 過疎地域とみなされる市町村(33条1項) 一部過疎 : 過疎地域とみなされる区域を有する市町村(33条2項) (非過疎) : 過疎地域に指定されている区域を持たない市町村
(5)	山村指定(H27時点)	平成27年4月現在の山村振興法に基づく振興山村の指定状況 全域山村 : 全域が振興山村に指定されている市町村 一部山村 : 振興山村に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 振興山村に指定されている区域を持たない市町村
(6)	離島指定(H27時点)	平成27年4月現在の離島振興法に基づく離島振興対策実施地域の指定状況 全域離島 : 全域が離島地域に指定されている市町村 一部離島 : 離島地域に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 離島地域に指定されている区域を持たない市町村
(7)	半島指定(H27時点)	平成27年4月現在の半島振興法に基づく半島振興対策実施地域の指定状況 全域半島 : 全域が半島地域に指定されている市町村 一部半島 : 半島地域に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 半島地域に指定されている区域を持たない市町村
(8)	特豪指定(H27時点)	平成27年4月現在の豪雪地帯対策特別措置法に基づく特別豪雪地帯の指定状況 全域特豪 : 全域が特別豪雪地帯に指定されている市町村 一部特豪 : 特別豪雪地帯に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 特別豪雪地帯に指定されている区域を持たない市町村 (豪雪地帯に指定されている区域を有する場合を含む)
(9)	旧市町村コード(H22時点)	平成22年4月現在の市町村コード
(10)	旧市町村名(H22時点)	平成22年4月現在の市町村名
(11)	旧市町村区分(H22時点)	平成22年4月現在の市・町・村の区分
(12)	過疎指定(H22時点)	平成22年4月当時の(10)の市町村に対する過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域指定((4)と同区分)
(13)	旧市町村コード(H18時点)	平成18年4月現在の市町村コード
(14)	旧市町村名(H18時点)	平成18年4月現在の市町村名
(15)	旧市町村区分(H18時点)	平成18年4月現在の市・町・村の区分
(16)	過疎指定(H18時点)	平成18年4月当時の(14)の市町村に対する過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域指定((4)と同区分)
(17)	旧市町村コード(H11時点)	平成11年4月現在の市町村コード
(18)	旧市町村名(H11時点)	平成11年4月現在の市町村名
(19)	旧市町村区分(H11時点)	平成11年4月現在の市・町・村の区分
(20)	集落番号	市町村内での集落の通し番号
(21)	集落名	各集落の名称
(22)~(26)	地域振興諸法の地域指定状況	各集落単位での地域指定状況
★(22)	過疎	各集落ごとの過疎地域の指定状況(以下の7つに分類) 1.過疎 : 2条1項の「過疎地域市町村」にある集落 2.みなし過疎 : 33条1項の「過疎地域とみなされる市町村」にある集落 3.一部過疎の過疎区域 : 33条2項の一部過疎市町村において「過疎地域とみなされる区域」にある集落 4.一部過疎の非過疎区域・前法過疎 : 33条2項の一部過疎市町村において「過疎地域とみなされる区域」外にあり、かつ前法(過疎地域活性化特別措置法)で過疎地域に指定されていた区域にある集落 5.一部過疎の非過疎区域・前法非過疎 : 33条2項の一部過疎市町村において「過疎地域とみなされる区域」外にあり、かつ前法(過疎地域活性化特別措置法)でも非過疎だった区域にある集落 6.非過疎・前法過疎 : 非過疎市町村において、前法(過疎地域活性化特別措置法)で過疎地域に指定されていた区域にある集落 7.非過疎・前法非過疎 : 非過疎市町村において、前法(過疎地域活性化特別措置法)でも非過疎だった区域にある集落
	市町村の基礎情報項目、回答に応じて自動計算される調査項目	→回答不要
	前回調査で「居住者がいる」とされた集落の前回調査時点の状況(前回調査回答データ)	→追加・修正のみ
	現在居住者がいる集落についての調査項目(★は新規調査項目)	→必須回答
	本調査で回答を要する項目(H22.4以降に消滅した集落について) ※継続調査区域のみ	→消滅集落のみ必須回答

★	(23)	山村	各集落ごとの振興山村の指定状況(空欄を含め以下の3つに分類) 山村(全域) : 全域が振興山村に指定されている集落 山村(一部) : 振興山村に指定されている区域がある集落 (空欄) : 振興山村に指定された区域がない集落
★	(24)	離島	各集落ごとの離島振興対策実施地域の指定状況(空欄を含め以下の3つに分類) 離島(全域) : 全域が離島地域に指定されている集落 離島(一部) : 離島地域に指定されている区域がある集落 (空欄) : 離島地域に指定された区域がない集落
★	(25)	半島	各集落ごとの半島振興対策実施地域の指定状況(空欄を含め以下の3つに分類) 半島(全域) : 全域が半島地域に指定されている集落 半島(一部) : 半島地域に指定されている区域がある集落 (空欄) : 半島地域に指定された区域がない集落
★	(26)	特別豪雪・豪雪	各集落ごとの特別豪雪地帯・豪雪地帯の指定状況(空欄を含め以下の5つに分類) 特豪(全域) : 全域が特別豪雪地帯に指定されている集落 特豪(一部) : 特別豪雪地帯に指定されている区域がある集落 豪雪(全域) : 当該集落の中に特別豪雪地帯に指定されている区域はないが、全域が豪雪地帯に指定されている集落 豪雪(一部) : 当該集落の中に特別豪雪地帯に指定されている区域はないが、豪雪地帯に指定されている区域がある集落 (空欄) : 当該集落内に特別豪雪・豪雪のいずれかにも指定された区域がない集落
★	(27)	津波被災地	平成23(2011)年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)に伴って発生した津波により被災した集落に○
	(28)	集落の状況(旧22時点)	前回調査で居住者がいるとされた集落(全て「1.居住者あり」)
	(29)~(33)	H22住民基本台帳(H22.4.30.時点)	前回調査での各集落の平成22年4月30日現在の住民基本台帳人口・世帯数
	(29)	総人口(人)	各集落の平成22年4月30日現在の住民基本台帳人口
	(30)	30~64歳人口(人)	(29)のうち30~64歳人口
	(31)	65~74歳人口(人)	(29)のうち65~74歳人口
	(32)	75歳以上人口(人)	(29)のうち75歳以上人口
	(33)	世帯数(世帯)	各集落の平成22年4月30日現在の住民基本台帳世帯数
	(34)	集落の状況(H27時点)	現在の当該集落の状況(以下の2つに分類) 1.居住者あり : (21)の集落単位でみて居住者がいる集落 2.消滅(無人化) : (21)の集落単位でみて、現在既に消滅(無人化)した集落
	(35)	(継続調査区域のみ) H22.4以降の集落の行政的再編の有無	各集落の行政的再編の有無(以下の7つに分類) 1.他集落を統合 : 当該集落の名称はそのまま、他の集落を統合した集落 2.他集落に編入 : 他の集落に統合され、当該集落の名称がなくなった集落 3.他集落と合併 : 他の集落とともに新しい名称の集落を形成した集落(当該集落の名称も変更) 4.再編なし : (21)の集落が区域・名称ともそのまま残っている場合 5.新規に誕生 : 「3.他集落と合併」した集落によって新たに形成された集落 6.分離 : 複数の集落に分かれて合併した集落 7.名称変更 : (21)の集落の区域には変更ないが、集落の名称が変わった場合 →(21)の集落名は変えず、新たな集落名は(37)に記入
	(36)	再編後の集落No.	
	(37)	再編後の集落名	
	(38)~(44)	H27住民基本台帳(H27.4.30.時点)	各集落の平成27年4月30日現在の住民基本台帳人口・世帯数
	(38)	総人口(人)	各集落の平成27年4月30日現在の住民基本台帳人口
★	(39)	0~14歳(人)	(38)のうち0~14歳人口
★	(40)	15~29歳(人)	(38)のうち15~29歳人口
	(41)	30~64歳(人)	(38)のうち30~64歳人口
	(42)	65~74歳(人)	(38)のうち65~74歳人口
	(43)	75歳以上(人)	(38)のうち75歳以上人口(年齢不詳を含む)
	(44)	世帯数(世帯)	各集落の平成27年4月30日現在の住民基本台帳世帯数
★	(45)	当該集落に平成22年以降に転入してきた人がいるか	当該集落への転入者の有無(以下の3つに分類) 1.転入者がいる : 平成22年4月以降に転入し現在も当該集落に居住している人がいる集落 2.転入者はいない : 平成22年4月以降に転入した人はいない、または転入した人はいたが転出してしまった集落 3.分からない : 上記については把握できない

★	(46)	平成22年以降に転入した世帯の中に高校生までの子どもがいる世帯があるか	当該集落への子育て世帯転入の有無(以下の3つに分類) 1.子育て世帯が ある : 平成22年4月以降に当該集落に転入した世帯の中に、高校生以下の子どもがいる世帯がある集落 2.子育て世帯は ない : 平成22年4月以降に当該集落に転入した世帯の中には、高校生以下の子どもがいる世帯はないという集落 3.分からない : 平成22年4月以降に当該集落に転入した世帯の中に、高校生以下の子どもがいるかどうか把握していない集落
	(47)	集落類型(H22時点)	前回調査での当該集落の分類((48)と同区分)
	(48)	集落類型(H27時点)	現時点での各集落の集落類型(以下の3つに分類) 1.基礎 : 基礎集落。地域社会を構成する最も基礎的かつ原単位的な集落。 2.基幹 : 基幹集落。基礎集落の分布の中にあつて、住民の日常生活上、集落間の要となっている集落(主に谷筋の分岐点やその他の交通上の要所等が該当)。 3.中心 : 中心集落。地域の中心的な集落であり、役場等の行政機関や事業所等の集積があるなど、古くから地域の要所となっている集落。
	(49)~(50)	役場までの距離(km)(H22時点)	前回調査での当該集落から市町村役場(本庁・支所)までの距離(km単位)
	(51)~(52)	役場までの距離(km)(H27時点)	現時点での当該集落から市町村役場までの距離(km単位)
	(51)	本庁までの距離(km)(H27時点)	当該集落から市役所・町村役場(本庁)までの距離(km単位)
	(52)	支所・出張所までの距離(km)(H27時点)	本庁以外に支所や出張所などがある場合、当該集落から最寄の支所・出張所までの距離(km単位)
	(53)	地域区分(H22時点)	前回調査での当該集落の分類((54)と同区分)
	(54)	地域区分(H27時点)	現時点での当該集落の地域区分(以下の4つに分類) 1.山間地 : 山間農業地域。林野率が80%以上の集落。 2.中間地 : 中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落。 3.平地 : 平地農業地域。林野率が50%未満かつ耕地率20%以上の集落。 4.都市 : 都市的地域。DID面積のある集落。
	(55)	地形的に末端にある集落(H22時点)	前回調査における地形的な行き止まり集落に○
	(56)	地形的に末端にある集落(H27時点)	(55)のH22時点の状況以降の道路整備等の進捗状況を踏まえ、現時点で当該集落が地形的な行き止まり集落の場合、○
★	(57)~(64)	生活サービス機能の立地状況	集落ごとに各生活サービス関連施設が立地している場合は、それぞれ○を選択(それぞれの施設の定義は以下のとおり)
	(57)	病院・診療所	病院 : 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所であつて、患者20人以上の入院施設を有するもの。 診療所 : 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所(歯科医業のみは除く)であつて、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの。
	(58)	商店・スーパー	個人用又は家庭用消費のために商品を販売する店舗。 百貨店や総合スーパー、衣料品・食料品・住関連等の専門スーパーや専門店・中心店、コンビニエンスストア、その他スーパーや小売店など。
	(59)	ガソリンスタンド	自動車に揮発油を給油するための施設(給油所)。 ※灯油のみを販売する店舗は含まず。
	(60)	(簡易)郵便局	日本郵便株式会社(平成17年法律第100号)第2条第1項~第3項に規定する「郵便窓口業務」、「銀行窓口業務」、「保険窓口業務」を行う会社の営業所。 ※簡易郵便局: 郵便局株式会社等からの委託を受けて、郵便・銀行・保険の各種窓口サービスを複合的に提供する事業所。
	(61)	老人デイサービスセンター	身体上又は精神上の障害があるため日常生活を営むのに支障がある高齢者等に対し、日中の一定時間、入浴・食事など日常生活の介助や機能訓練を中心とした介護サービスを提供する通所介護事業所。
	(62)	駅・バス停	駅 : JR(新幹線・在来線)や私鉄・公営・第3セクターの鉄道・路面電車・モノレール・地下鉄の乗降駅。 バス停 : 民営・公営の路線バスや民営・公営・NPO等運営のコミュニティバスの乗降所。(コミュニティバスの乗降場所が固定されておらず自由乗降の場合も、当該集落が運行路線に含まれていれば、バス停があるものとみなす。)
	(63)	小学校	学校教育法第1条に規定する小学校 (公立小学校のほか、国立・私立小学校も含む)
	(64)	幼稚園・保育所等	学校教育法第1条に規定する幼稚園、児童福祉法第39条第1項に規定する <u>保育所</u> 及び「認定こども園法」第2条第6項に規定する <u>認定こども園</u> 。 幼稚園 : 学校教育法に基づく学校施設で、「幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的」として、未就学児(3~5歳)の教育を行う施設。 保育所 : 児童福祉法に基づく児童福祉施設で、「日々保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的」とした施設。 ※ 国の設置基準を満たした認可保育所のほか、都道府県独自の基準による認証保育所も含む。 認定こども園 : 認定こども園法に基づく、教育と保育を一体的に行う施設。

★	(65)～(67) サポート人材が活動する集落の状況	以下の人材が活動している集落についてそれぞれ○を選択
	(65) 集落支援員	※ 総務省が特別交付税により支援措置を講じている「集落支援員」が活動している集落 なお、同一人物が複数集落を受け持っている場合、担当集落すべてに○
	(66) 地域おこし協力隊等	※ 総務省が特別交付税により支援措置を講じている「地域おこし協力隊」(旧田舎で働き隊：農林水産省交付金事業を含む。)が活動している集落 なお、同一人物が複数集落を受け持っている場合、担当集落すべてに○ ※ 「地域おこし協力隊」は、3年を超える活動については特別交付税措置はされないが、地方自治体が独自制度として4年目以降も継続して活用している場合は、その協力隊員が受け持っている集落も含む
	(67) その他	※ 地域おこし企業人(総務省)や緑のふるさと協力隊(地球緑化センター)などの国等の支援制度や地方自治体独自の制度による外部人材が活動している集落 なお、同一人物が複数集落を受け持っている場合、担当集落すべてに○
	(68)～(70) 集落の各機能の維持状況(H22時点)	前回調査での当該集落の各機能の維持状況((71)～(73)と同区分)
	(71)～(73) 集落の各機能の維持状況(H27時点)	現時点での当該集落の各機能の維持状況(以下の4つに分類)
	(71) 資源管理機能	1. 集落住民により : 主に当該集落の住民によって機能が維持されている場合 維持
	(72) 生産補完機能	2. 他集落と合同で : 主に他集落の住民と当該集落の住民との合同によって機能が維持されている場合 維持
	(73) 生活扶助機能	3. ボランティア等 : 主にボランティアなど他の団体や組織等によって機能が維持されている場合 により維持
		4. その他 : 上記にあてはまらない場合(行政により維持管理されている、DIDのため機能自体がない、など)
	(74) 集落機能の維持の状況(H22時点)	前回調査での当該集落の集落機能の維持状況((75)と同区分)
	(75) 集落機能の維持の状況(H27時点)	現時点での当該集落の集落機能の維持状況(以下の3つに分類)
		1. 良好 : 全体的にみて、集落機能が良好に維持されている集落
		2. 機能低下 : 全体的にみて、集落機能が低下している集落
		3. 機能維持困難 : 全体的にみて、集落機能の維持が困難になっている集落
	(76) 今後の消滅の可能性(H22時点)	前回調査時点での当該集落の今後の消滅(無人化)可能性((78)と同区分)
	(77) 今後の消滅の可能性(H27時点)	現時点での当該集落の今後の消滅(無人化)可能性(以下の3つに分類)
		○ : 今後、いずれは消滅(無人化)する可能性のある集落
		◎ : 今後、10年以内に消滅(無人化)する可能性のある集落
		— : 消滅(無人化)する可能性がない(当面存続すると見込まれる)集落
	(78) 今後の人口動向(H22時点)	前回調査時点での当該集落の今後の集落の人口動向((79)と同区分)
	(79) 今後の人口動向(H27時点)	現時点での当該集落の今後の人口動向(以下の3つに分類)
		1. 増加 : 今後人口が増加すると想定される集落
		2. 横ばい : 今後人口が横ばいに推移すると想定される集落
		3. 減少 : 今後人口が減少すると想定される集落
★	(80)～(97) 複数集落で構成され、住民の一体性があり、集落機能の維持・活性化への取組を共同で行っている集落生活圏(集落ネットワーク圏)の形成状況	
	(80) 生活圏の形成状況	既に形成されている集落生活圏について、「1」から順に連番をつけ、同一生活圏を構成する集落全てに同じ番号を入力
	(81) 各生活圏の中心集落	各集落生活圏の中心集落((80)の番号ごとに1つずつ)に○を選択
	(82) 構成集落数	各集落生活圏を構成する集落数
	(83)～(88) 生活圏全体の人口・世帯数等	各集落生活圏の人口・0～14歳/65歳以上人口、世帯数等(自動計算)
	(89)～(96) 各生活圏の範囲	(89)～(96)の中から各生活圏の範囲として一致するものに○を選択(それぞれの圏域の定義は以下のとおり)
	(89) 平成の合併の旧市町村	平成11年4月1日以降に合併した市町村における、合併前の旧市町村の区域
	(90) 中学校区	当該市町村内の現在の中学校区
	(91) 小学校区	当該市町村内の現在の小学校区
	(92) 旧小学校区	当該市町村において小学校の統廃合が行われた結果、現在は休校・閉校となっている旧小学校の校区だった区域
	(93) 大字	市町村内の区画のひとつで、字(小字)を含む比較的広い地域
	(94) 昭和の合併前の旧市町村	昭和28年の町村合併促進法及び昭和31年の新市町村建設促進法により合併する前の旧市町村の区域
	(95) 字(小字)	市町村内の区画のひとつで、大字に内包される地域
	(96) その他	公民館区や投票区など、上記以外に行政が設定している圏域
	(97) 地域運営組織の状況	当該集落生活圏において、生活圏の課題解決に持続的に取り組む中心的組織(法人格のない任意団体含む)が存在する場合は、(81)で○をつけた各生活圏の中心集落の欄に○を選択。

(98)	集落機能の維持・再編成の見通し(H22時点)	前回調査時点での当該集落の集落機能の維持・再編成の検討状況(99)と同区分)
(99)	集落機能の維持・再編成の見通し(H27時点)	当該集落の今後の集落機能の維持・再編成の検討状況(以下の5つに分類) 1.空間的移転を予定 : 集落の空間的移転を予定している場合 2.行政的再編を予定 : 市町村行政において扱う行政区の区域の再編を予定している場合 3.機能の再編成を予定 : 複数集落による機能的な再編を予定している場合 4.検討中 : 集落住民へのヒアリングの実施など、集落機能の維持・再編成について検討段階にある場合 5.予定なし : 特に集落機能の維持・再編成について検討・予定していない場合
(100)~(112)	前回調査以降に消滅(無人化)した集落に関する調査項目	
(100)	H22.4以降に消滅(無人化)した集落の消滅理由	当該集落が消滅した理由(以下の6つに分類) 1.集落移転事業による移転 : 過疎地域集落再編整備事業など、国又は都道府県・市町村の集落移転事業による集落移転 ※ 東日本大震災の被災集落について「防災集団移転促進事業」等を活用して集団移転を行った場合も含む。 2.公共工事による集団移転 : ダム建設や道路建設に伴う集団移転など、公共工事による集落の集団移転 3.廃坑による廃村等 : 鉱山・炭坑などの採掘中止により廃村となったことによる集落の消滅など 4.自然災害等による分散転居 : 自然災害の発生により居住できなくなり住民が分散転居したことによる消滅 ※ 集落移転事業による集団移転を検討したものの、適地がない等により集落単位でまとまった形で移転ができず、各戸が分散転居したケースも含む。 5.自然消滅 : 集落住民がそれぞれ自市町村内の他集落や他市町村へ転居したり、住民が亡くなったことで居住者がいなくなったりしたことによる消滅 6.その他 : 上記以外の理由による消滅
(101)	H22.4以降に消滅した集落の住民の移転先	当該消滅集落の住民の主な移転先(以下の5つに分類) 1.自市町村内に転居 : 集落が消滅した当時の市町村単位でみて主に近隣集落など自市町村内の他の集落に転居した場合 2.他市町村に転居 : 集落が消滅した当時の市町村単位でみて主に他市町村に転居した場合 ※ 現在は、転居先となった他市町村と合併しひとつの自治体となっている場合でも、集落消滅当時の市町村単位でみて主に「他市町村に転居」した場合は選択。 3.各地に分散転居 : 集落が消滅した当時の市町村単位でみて自市町村内・他市町村ばらばらに分散転居した場合 ※現在は、分散転居先の他市町村と合併しひとつの自治体となっている場合でも、集落消滅当時の市町村単位でみて「自市町村と他市町村に分散転居」した場合は選択。 4.転居者なし : 住民が全て亡くなったことにより居住者がいなくなったため消滅した場合 5.不明 : 転居先が分からない場合
(102)	H22.4以降に消滅した集落の消滅時期	当該消滅集落の消滅した時期
(103)~(111)	H22.4以降に消滅した集落にある主な資源の管理方法(H27時点)	当該消滅集落の跡地の主な管理方法(それぞれ以下の6つに分類) 1.元住民が管理 : 主に転居した元集落住民により維持管理が継続されている場合 2.他集落が管理 : 主に他の集落等に維持管理を委託(依頼)している場合 3.ボランティア等が管理 : 主にボランティアなど他の団体や組織等により維持管理が継続されている場合 4.行政が管理 : 主に行政が維持管理を行っている場合 5.放置 : どの主体も消滅集落の跡地管理を行わない状態のまま放置されている場合 一.該当なし : 当該消滅集落に該当する資源や施設がない場合
(103)	森林・林地	
(104)	農地・田畑	
(105)	集会所・小学校等	
(106)	住宅	
(107)	集落道路・農道等	
(108)	用排水路等	
(109)	神社・仏閣等	
(110)	河川・湖沼・ため池等	
(111)	伝統的祭事・伝統芸能等	
(112)	消滅集落跡地の資源管理の状況(H27時点)	当該消滅集落の跡地の資源管理の状況(以下の3つに分類) 1.良好 : 全体的にみて、比較的良好に資源が管理されている場合 2.やや荒廃 : 全体的にみて、資源管理の状況がやや荒廃している場合 3.荒廃 : 全体的にみて、資源管理の状況が荒廃している場合
(113)	備考	※ 補足説明等



### 3. 過疎地域等における集落の現状

#### (1) 居住者のいる集落数

##### ① 市町村区分別集落数

- 回答が得られた 817 市町村の 1,555 区域※において現存する(居住者のいる)集落数は、全体で 65,440 集落であった。
- 市町村区分別に集落数をみると、全体では市が 40,661 集落(62.1%)、町が 22,100 集落(33.8%)、村が 2,679 集落(4.1%)となっており、6割超の集落が市に属している。
- 全集落数に対する各地方ブロックの集落数の割合(ブロック構成比)をみると、過疎地域の多い東北圏(22.3%)や九州圏(23.5%)、中国圏(19.6%)などで集落数も多くなっている。
- 地方ブロック別に市町村区分別の集落数をみると、中国圏では市における集落の割合が 77.4%となっており、他の地方ブロックと比べて最も高い。また、北海道では町における集落の割合が 74.2%となっており、他の地方ブロックと比べて最も高くなっている。
- 1市町村あたりの平均集落数をみると、全体では現市町村単位での平均は 80.1 集落である。現市町村の中には、一部の区域のみが対象地域となっている市町村もあるため、区域単位の平均集落数についても集計すると、42.7 集落となっている。
- 地方ブロック別に1市町村あたりの平均集落数をみると、中国圏では現市町村単位で 159.9 集落、区域単位では、61.3 集落となっており、他の地方ブロックと比べて特に大きくなっている。

※「区域」とは、平成 12 年 4 月 1 日時点の市町村(旧市町村)の範囲。

図表 3-1 地方ブロック別・市町村区分別 集落数及び1市町村あたり平均集落数

全体	市町村別 集落数				ブロック 構成比	1市町村あたり平均集落数	
	市	町	村	計		現市町村	旧市町村
1 北海道	789 (20.4%)	2,877 (74.2%)	210 (5.4%)	3,876 (100.0%)	(5.9%)	25.5 [26.7]	21.8 [22.7]
2 東北圏	9,794 (67.0%)	4,286 (29.3%)	538 (3.7%)	14,618 (100.0%)	(22.3%)	102.2 [100.5]	47.9 [47.7]
3 首都圏	901 (37.2%)	1,281 (52.9%)	241 (9.9%)	2,423 (100.0%)	(3.7%)	42.5 [44.8]	27.2 [292.0]
4 北陸圏	1,158 (63.9%)	654 (36.1%)	0 (0.0%)	1,812 (100.0%)	(2.8%)	100.7 [102.8]	49.0 [48.6]
5 中部圏	1,956 (50.1%)	1,251 (32.0%)	697 (17.9%)	3,904 (100.0%)	(6.0%)	50.7 [52.1]	27.9 [28.6]
6 近畿圏	1,708 (53.9%)	1,216 (38.4%)	244 (7.7%)	3,168 (100.0%)	(4.8%)	58.7 [61.8]	33.0 [33.9]
7 中国圏	9,902 (77.4%)	2,865 (22.4%)	27 (0.2%)	12,794 (100.0%)	(19.6%)	159.9 [158.7]	60.6 [61.3]
8 四国圏	3,732 (52.0%)	3,359 (46.8%)	86 (1.2%)	7,177 (100.0%)	(11.0%)	107.1 [107.7]	52.4 [52.7]
9 九州圏	10,616 (69.0%)	4,230 (27.5%)	539 (3.5%)	15,385 (100.0%)	(23.5%)	101.9 [104.8]	45.4 [46.4]
10 沖縄県	105 (37.1%)	81 (28.6%)	97 (34.3%)	283 (100.0%)	(0.4%)	15.7 [15.2]	12.3 [12.0]
合計	40,661 (62.1%)	22,100 (33.8%)	2,679 (4.1%)	65,440 (100.0%)	(100.0%)	80.1 [81.1]	42.1 [42.7]
参考: 前回調査	40,449 (62.3%)	21,816 (33.6%)	2,689 (4.1%)	64,954 (100.0%)	(100.0%)	81.1	42.7

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック ※下段〔 〕内は前回調査  
 ■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

## ②過疎区分別集落数

- 過疎区分別に集落数をみると、「過疎」にある集落が全集落の71.6%を占めており、1区域(平成12年4月1日時点の市町村(旧市町村)の範囲)あたりの平均集落数は「みなし過疎」が48.6集落と最も大きい。

図表 3-2 地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数

全体	過疎区分別 集落数					過疎区分別 区域あたり平均集落数			
	過疎	みなし過疎	一部過疎	前過疎・旧過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	前過疎・旧過疎
1 北海道	3,717 (95.9%)	0 (0.0%)	124 (3.2%)	35 (0.9%)	3,876 (100.0%)	22.4 [22.8]	[10.0]	13.8 [21.4]	11.7 [27.2]
2 東北圏	8,753 (59.9%)	3,461 (23.7%)	1,506 (10.3%)	898 (6.1%)	14,618 (100.0%)	47.6 [47.6]	55.8 [56.0]	32.0 [40.8]	898.0 [17.3]
3 首都圏	1,441 (59.5%)	0 (0.0%)	494 (20.4%)	488 (20.1%)	2,423 (100.0%)	30.0 [27.4]	[65.0]	16.5 [27.6]	97.6 [34.5]
4 北陸圏	1,000 (55.2%)	368 (20.3%)	343 (18.9%)	101 (5.6%)	1,812 (100.0%)	76.9 [78.0]	46.0 [46.1]	24.5 [28.6]	[14.0]
5 中部圏	2,115 (54.2%)	115 (2.9%)	1,328 (34.0%)	346 (8.9%)	3,904 (100.0%)	28.6 [30.3]	[16.7]	26.6 [28.4]	86.5 [32.4]
6 近畿圏	1,935 (61.1%)	532 (16.8%)	638 (20.1%)	63 (2.0%)	3,168 (100.0%)	32.3 [33.7]	35.5 [35.5]	35.4 [34.3]	[25.0]
7 中国圏	10,325 (80.7%)	874 (6.8%)	1,215 (9.5%)	380 (3.0%)	12,794 (100.0%)	67.5 [68.8]	97.1 [97.3]	28.3 [33.6]	380.0 [26.0]
8 四国圏	5,934 (82.7%)	253 (3.5%)	794 (11.1%)	196 (2.7%)	7,177 (100.0%)	56.0 [56.3]	84.3 [84.0]	34.5 [35.7]	196.0 [27.0]
9 九州圏	11,452 (74.4%)	1,043 (6.8%)	1,896 (12.3%)	994 (6.5%)	15,385 (100.0%)	49.6 [50.4]	32.6 [39.7]	32.1 [38.0]	142.0 [37.5]
10 沖縄県	159 (56.2%)	105 (37.1%)	0 (0.0%)	19 (6.7%)	283 (100.0%)	9.4 [9.2]	21.0 [21.0]	-	19.0 [19.0]
合計	46,831 (71.6%)	6,751 (10.3%)	8,338 (12.7%)	3,520 (5.4%)	65,440 (100.0%)	44.5 [45.3]	48.6 [48.3]	28.5 [33.7]	153.0 [31.0]
参考: 前回調査	45,145 (69.5%)	7,343 (11.3%)	11,195 (17.2%)	1,271 (2.0%)	64,954 (100.0%)	45.3	48.3	33.7	31.0

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック ※下段〔 〕内は前回調査  
■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

## ③過疎区分別・旧市町村区分別集落数

- 過疎区分別に、旧市町村区分別の集落数をみると、「一部過疎」では旧町部にある集落の割合が72.8%、旧村部にある集落の割合が25.1%となっており、「過疎地域」の中では他の過疎区分と比べて最も高くなっている。
- 1区域(平成12年4月1日時点の市町村(旧市町村)の範囲)あたりの平均集落数は、「現一部過疎の非過疎地域」が59.6集落と他の過疎区分と比べて最も大きくなっている。

図表 3-3 疎区分別・旧市町村区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数

過疎区分別	旧市町村の区分別 集落数				旧市町村の区分別 区域あたり平均集落数			
	市	町	村	計	市	町	村	計
過疎地域	12,074 (19.5%)	41,393 (66.8%)	8,453 (13.7%)	61,920 (100.0%)	109.8	42.2	21.5	41.7
過疎	9,621 (20.5%)	31,508 (67.3%)	5,702 (12.2%)	46,831 (100.0%)	108.1	44.3	22.7	44.5
みなし過疎	2,276 (33.7%)	3,819 (56.6%)	656 (9.7%)	6,751 (100.0%)	119.8	43.4	20.5	48.6
一部過疎	177 (2.1%)	6,066 (72.8%)	2,095 (25.1%)	8,338 (100.0%)	88.5	33.7	18.9	28.5
前過疎・旧過疎	1,337 (38.0%)	1,538 (43.7%)	645 (18.3%)	3,520 (100.0%)	167.1	38.5	28.0	49.6
現一部過疎の 非過疎地域	1,337 (46.7%)	1,086 (37.9%)	439 (15.3%)	2,862 (100.0%)	167.1	40.2	33.8	59.6
非過疎市町村 の旧過疎地域	0 (0.0%)	452 (68.7%)	206 (31.3%)	658 (100.0%)		34.8	20.6	28.6
合計	13,411 (20.5%)	42,931 (65.6%)	9,098 (13.9%)	65,440 (100.0%)	113.7	42.1	21.8	42.1

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

#### ④地域区分別集落数

- 地域区別に集落数をみると、山間地が30.6%、中間地が29.3%で、全体の59.9%が中山間地にある。
- 地方ブロック別に地域区分別集落数をみると、中部圏では、山間地集落の割合が54.8%となっており、他の地方ブロックと比べて高い。また、首都圏では、中間地集落の割合が33.7%であり、他の地方ブロックと比べて最も高い。北海道では、都市的地域における集落の割合が、他の地方ブロックと比べて最も高い。

図表 3-4 地方ブロック別・地域区分別 集落数

全体	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
1 北海道	642 (16.6%)	990 (25.5%)	1,697 (43.8%)	475 (12.3%)	72 (1.9%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	3,482 (23.8%)	3,830 (26.2%)	5,564 (38.1%)	1,600 (10.9%)	142 (1.0%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	944 (39.0%)	816 (33.7%)	593 (24.5%)	70 (2.9%)	0 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	612 (33.8%)	393 (21.7%)	718 (39.6%)	89 (4.9%)	0 (0.0%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	2,141 (54.8%)	1,069 (27.4%)	557 (14.3%)	83 (2.1%)	54 (1.4%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	1,427 (45.0%)	966 (30.5%)	581 (18.3%)	193 (6.1%)	1 (0.0%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	4,693 (36.7%)	4,272 (33.4%)	2,867 (22.4%)	957 (7.5%)	5 (0.0%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	2,576 (35.9%)	1,968 (27.4%)	2,093 (29.2%)	531 (7.4%)	9 (0.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	3,479 (22.6%)	4,815 (31.3%)	5,868 (38.1%)	1,173 (7.6%)	50 (0.3%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	35 (12.4%)	55 (19.4%)	187 (66.1%)	0 (0.0%)	6 (2.1%)	283 (100.0%)
合計	20,031 (30.6%)	19,174 (29.3%)	20,725 (31.7%)	5,171 (7.9%)	339 (0.5%)	65,440 (100.0%)
参考: 前回調査	20,113 (31.0%)	18,830 (29.0%)	20,392 (31.4%)	5,236 (8.1%)	383 (0.6%)	64,954 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区別に地域区分別集落数をみると、「一部過疎」では、山間地及び中間地の集落の割合が他の過疎区分と比べて最も高い。また、「非過疎市町村の旧過疎地域」では、平地集落の割合が他の過疎区分と比べて最も高く、「現一部過疎の非過疎地域」では、都市的地域にある集落の割合が他の過疎区分と比べて最も高い。

図表 3-5 過疎区分別・地域区分別 集落数

過疎区分別	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
過疎地域	19,529 (31.5%)	18,443 (29.8%)	19,392 (31.3%)	4,217 (6.8%)	339 (0.5%)	61,920 (100.0%)
過疎	14,557 (31.1%)	14,130 (30.2%)	14,785 (31.6%)	3,034 (6.5%)	325 (0.7%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	1,445 (21.4%)	1,461 (21.6%)	2,817 (41.7%)	1,026 (15.2%)	2 (0.0%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	3,527 (42.3%)	2,852 (34.2%)	1,790 (21.5%)	157 (1.9%)	12 (0.1%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	502 (14.3%)	731 (20.8%)	1,333 (37.9%)	954 (27.1%)	0 (0.0%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	371 (13.0%)	575 (20.1%)	980 (34.2%)	936 (32.7%)	0 (0.0%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	131 (19.9%)	156 (23.7%)	353 (53.6%)	18 (2.7%)	0 (0.0%)	658 (100.0%)
合計	20,031 (30.6%)	19,174 (29.3%)	20,725 (31.7%)	5,171 (7.9%)	339 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

### ⑤集落類型別集落数

- 集落類型別集落数をみると、全体では基礎集落が 82.6%、基幹集落が 10.4%、中心集落が 6.4%を占めている。
- 地方ブロック別に集落類型別集落数をみると、北陸圏では、基礎集落の割合が 88.7%となっており、他の地方ブロックと比べて最も高くなっている。また、北海道では、基幹集落の割合が 15.2%、中心集落の割合が 12.1%となっており、それぞれ他の地方ブロックと比べて最も高くなっている。

図表 3-6 地方ブロック別・集落類型別 集落数

全体	集落類型別 集落数				計
	基礎	基幹	中心	無回答	
1 北海道	2,785 (71.9%)	590 (15.2%)	468 (12.1%)	33 (0.9%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	11,526 (78.8%)	1,706 (11.7%)	1,295 (8.9%)	91 (0.6%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	2,127 (87.8%)	174 (7.2%)	118 (4.9%)	4 (0.2%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	1,607 (88.7%)	118 (6.5%)	86 (4.7%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	3,123 (80.0%)	495 (12.7%)	238 (6.1%)	48 (1.2%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	2,491 (78.6%)	393 (12.4%)	235 (7.4%)	49 (1.5%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	10,758 (84.1%)	1,348 (10.5%)	610 (4.8%)	78 (0.6%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	6,293 (87.7%)	485 (6.8%)	399 (5.6%)	0 (0.0%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	13,135 (85.4%)	1,473 (9.6%)	735 (4.8%)	42 (0.3%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	231 (81.6%)	24 (8.5%)	22 (7.8%)	6 (2.1%)	283 (100.0%)
合計	54,076 (82.6%)	6,806 (10.4%)	4,206 (6.4%)	352 (0.5%)	65,440 (100.0%)
参考: 前回調査	53,704 (82.7%)	6,519 (10.0%)	4,080 (6.3%)	651 (1.0%)	64,954 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

## (2) 集落の人口規模

### ① 地方ブロック別集落人口及び1集落あたり平均人口

- 居住者がいる全集落(64,964集落)のうち、集落ごとの人口について回答が得られた集落は64,270集落であり、その集落人口を合計すると、11,478,495人である。このうち市部が66.8%、町部が30.4%、村部が2.8%を占める。
- 地方ブロック別に市町村区分別集落人口をみると、中国圏では、市部における集落の人口の割合が、他の地方ブロックと比べて最も高い。北海道では町部における人口の割合が、沖縄県では村部における集落の人口割合が、それぞれ他の地方ブロックと比べて最も高くなっている。
- 1集落あたりの平均人口をみると、全体平均では177.3人/集落であり、市町村区分別にみると、市部は191.1人/集落、村部は121.6人/集落となっており、市部と村分では1集落あたり70人の差がみられる。
- 地方ブロック別の1集落あたりの平均人口を比較すると、沖縄県が401.7人/集落と最も大きく、次いで北海道の374.7人/集落となっている。これをさらに市町村区分別でみると、特に北海道では、市部における1集落あたり平均人口が920.7人/集落と突出して大きい。

図表 3-7 地方ブロック別・市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口

全体	市町村別 集落人口				ブロック 構成比	市町村別 集落あたり平均人口			
	市	町	村	計		市	町	村	全体
1 北海道	726,451 (51.1%)	669,459 (47.1%)	25,691 (1.8%)	1,421,601 (100.0%)	(12.4%)	920.7 [789]	239.5 [2,795]	122.3 [210]	374.7 [3,794]
2 東北圏	2,129,997 (71.7%)	759,251 (25.6%)	80,326 (2.7%)	2,969,574 (100.0%)	(25.9%)	219.1 [9,723]	177.1 [4,286]	155.1 [518]	204.4 [14,527]
3 首都圏	233,020 (48.7%)	209,995 (43.8%)	35,945 (7.5%)	478,960 (100.0%)	(4.2%)	271.9 [857]	163.9 [1,281]	149.1 [241]	201.3 [2,379]
4 北陸圏	153,267 (64.5%)	84,306 (35.5%)	0 (0.0%)	237,573 (100.0%)	(2.1%)	132.4 [1,158]	128.9 [654]	[0]	131.1 [1,812]
5 中部圏	356,181 (57.6%)	204,086 (33.0%)	57,730 (9.3%)	617,997 (100.0%)	(5.4%)	182.3 [1,954]	163.1 [1,251]	85.1 [678]	159.2 [3,883]
6 近畿圏	353,883 (56.2%)	250,589 (39.8%)	25,148 (4.0%)	629,620 (100.0%)	(5.5%)	209.4 [1,690]	210.8 [1,189]	103.1 [244]	201.6 [3,123]
7 中国圏	1,069,041 (77.8%)	301,147 (21.9%)	3,075 (0.2%)	1,373,263 (100.0%)	(12.0%)	108.5 [9,852]	105.2 [2,862]	113.9 [27]	107.8 [12,741]
8 四国圏	496,128 (61.0%)	310,547 (38.2%)	6,986 (0.9%)	813,661 (100.0%)	(7.1%)	133.0 [3,729]	92.5 [3,359]	81.2 [86]	113.4 [7,174]
9 九州圏	2,095,550 (74.2%)	672,632 (23.8%)	54,389 (1.9%)	2,822,571 (100.0%)	(24.6%)	204.2 [10,261]	159.0 [4,230]	100.9 [539]	187.8 [15,030]
10 沖縄県	54,421 (47.9%)	27,403 (24.1%)	31,850 (28.0%)	113,674 (100.0%)	(1.0%)	518.3 [105]	338.3 [81]	328.4 [97]	401.7 [283]
合計	7,667,940 (66.8%)	3,489,415 (30.4%)	321,140 (2.8%)	11,478,495 (100.0%)	(100.0%)	191.1 [40,118]	158.7 [21,988]	121.6 [2,640]	177.3 [64,746]
参考: 前回調査	7,913,350 (66.6%)	3,632,546 (30.6%)	341,819 (2.9%)	11,887,715 (100.0%)	(100.0%)	195.6 [40,449]	166.5 [21,816]	127.1 [2,689]	183.0 [64,954]

■ : 各区分において人口構成比が最も大きい地方ブロック

※上段は各区分における1集落あたり平均人口

■ : 各区分において人口構成比が2番目に大きい地方ブロック

※下段〔 〕内は人口の回答のあった集落数

## ②過疎区分別集落人口及び1集落あたり平均人口

- 過疎区分別に1集落あたりの平均人口をみると、「みなし過疎」が 230.7 人/集落となっており、全体の 1 集落あたりの平均人口 (177.3 人/集落) よりも大きくなっている。
- 地方ブロック別に過疎区分別の1集落あたりの平均人口をみると、「過疎」では北海道が 378.4 人/集落と最も大きく、中国圏が 90.4 人/集落と最も小規模である。「みなし過疎」では沖縄県(518.3 人/集落)が突出して大きいほか、近畿圏や中部圏でも 300 人以上と比較的規模が大きい。「一部過疎」については、北海道(244.9 人/集落)や首都圏(197.8 人/集落)で比較的規模が大きい。
- なお、いずれの地方ブロックでも、「前過疎・旧過疎」の方が「過疎」よりも1集落あたりの平均人口が大きくなっている。

図表 3-8 地方ブロック別・過疎区分別集落人口及び1集落あたり平均人口

全体	過疎区分別 集落人口					過疎区分別 集落あたり平均人口				
	過疎	みなし過疎	一部過疎	前過疎・旧過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	前過疎・旧過疎	全体
1 北海道	1,375,386 (96.7%)	0 (0.0%)	30,370 (2.1%)	15,845 (1.1%)	1,421,601 (100.0%)	378.4 [3,635]	[0]	244.9 [124]	452.7 [35]	374.7 [3,794]
2 東北圏	1,592,008 (53.6%)	796,130 (26.8%)	257,772 (8.7%)	323,664 (10.9%)	2,969,574 (100.0%)	182.3 [8,733]	230.3 [3,457]	179.1 [1,439]	360.4 [898]	204.4 [14,527]
3 首都圏	286,584 (59.8%)	0 (0.0%)	91,559 (19.1%)	100,817 (21.0%)	478,960 (100.0%)	198.9 [1,441]	[0]	197.8 [463]	212.2 [475]	201.3 [2,379]
4 北陸圏	122,365 (51.5%)	53,572 (22.5%)	46,413 (19.5%)	15,223 (6.4%)	237,573 (100.0%)	122.4 [1,000]	145.6 [368]	135.3 [343]	150.7 [101]	131.1 [1,812]
5 中部圏	351,753 (56.9%)	34,659 (5.6%)	150,084 (24.3%)	81,501 (13.2%)	617,997 (100.0%)	167.8 [2,096]	301.4 [115]	113.0 [1,328]	236.9 [344]	159.2 [3,883]
6 近畿圏	348,678 (55.4%)	169,505 (26.9%)	82,615 (13.1%)	28,822 (4.6%)	629,620 (100.0%)	182.0 [1,916]	323.5 [524]	133.3 [620]	457.5 [63]	201.6 [3,123]
7 中国圏	933,518 (68.0%)	132,085 (9.6%)	170,235 (12.4%)	137,425 (10.0%)	1,373,263 (100.0%)	90.4 [10,322]	151.1 [874]	146.1 [1,165]	361.6 [380]	107.8 [12,741]
8 四国圏	674,647 (82.9%)	38,399 (4.7%)	61,082 (7.5%)	39,533 (4.9%)	813,661 (100.0%)	113.7 [5,931]	151.8 [253]	76.9 [794]	201.7 [196]	113.4 [7,174]
9 九州圏	2,026,782 (71.8%)	276,249 (9.8%)	264,548 (9.4%)	254,992 (9.0%)	2,822,571 (100.0%)	177.0 [11,452]	264.9 [1,043]	145.5 [1,818]	355.6 [717]	187.8 [15,030]
10 沖縄県	49,656 (43.7%)	54,421 (47.9%)	0 (0.0%)	9,597 (8.4%)	113,674 (100.0%)	312.3 [159]	518.3 [105]	[0]	505.1 [19]	401.7 [283]
合計	7,761,377 (67.6%)	1,555,020 (13.5%)	1,154,678 (10.1%)	1,007,419 (8.8%)	11,478,495 (100.0%)	166.2 [46,685]	230.7 [6,739]	142.7 [8,094]	312.1 [3,228]	177.3 [64,746]

■ :各区分において人口構成比が最も大きい地方ブロック

※上段は各区分における1集落あたり平均人口

■ :各区分において人口構成比が2番目に大きい地方ブロック

※下段〔 〕内は人口の回答のあった集落数

### ③地域区分別集落人口及び1集落あたり平均人口

- 地域区別に1集落あたりの平均人口をみると、全体では、山間地では 84.3 人/集落と 100 人を下回っているのに対して、都市的地域にある集落では 520.0 人/集落となっており、大きな開きが見られる。
- 地方ブロック別に地域区別の1集落あたりの平均人口をみると、山間地、中間地及び平地にある集落では、1集落あたりの平均人口が最も大きいのはいずれも沖縄県である。また、都市的地域にある集落で1集落あたりの平均人口が最も大きいのは北海道である。
- 一方、1集落のあたり平均人口が最も小さいのは、山間地集落では四国圏の 55.1 人/集落、中間地集落では中国圏の 108.1 人/集落である。

図表 3-9 地方ブロック別・地域区分別集落人口及び1集落あたり平均人口

全体	地域区分別 集落人口					計	地域区分別 集落あたり平均人口					全体
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答		山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
1 北海道	71,483 (5.0%)	220,423 (15.5%)	382,537 (26.9%)	724,562 (51.0%)	22,596 (1.6%)	1,421,601 (100.0%)	114.0 [627]	225.2 [979]	229.3 [1,668]	1,525.4 [475]	502.1 [45]	374.7 [3,794]
2 東北圏	396,960 (13.4%)	700,512 (23.6%)	1,131,171 (38.1%)	714,177 (24.0%)	26,755 (0.9%)	2,969,574 (100.0%)	115.1 [3,449]	183.2 [3,824]	204.8 [5,524]	449.7 [1,588]	188.4 [142]	204.4 [14,527]
3 首都圏	106,530 (22.2%)	161,779 (33.8%)	157,725 (32.9%)	52,926 (11.1%)	0 (0.0%)	478,960 (100.0%)	114.8 [928]	198.7 [814]	278.2 [567]	756.1 [70]	0 [0]	201.3 [2,379]
4 北陸圏	41,246 (17.4%)	50,606 (21.3%)	114,358 (48.1%)	31,363 (13.2%)	0 (0.0%)	237,573 (100.0%)	67.4 [612]	128.8 [393]	159.3 [718]	352.4 [89]	0 [0]	131.1 [1,812]
5 中部圏	214,439 (34.7%)	194,816 (31.5%)	139,948 (22.6%)	61,770 (10.0%)	7,024 (1.1%)	617,997 (100.0%)	100.8 [2,128]	183.6 [1,061]	251.3 [557]	744.2 [83]	130.1 [54]	159.2 [3,883]
6 近畿圏	135,020 (21.4%)	194,150 (30.8%)	185,551 (29.5%)	114,686 (18.2%)	213 (0.0%)	629,620 (100.0%)	94.7 [1,426]	206.3 [941]	330.2 [562]	594.2 [193]	213.0 [1]	201.6 [3,123]
7 中国圏	284,677 (20.7%)	459,391 (33.5%)	400,369 (29.2%)	228,632 (16.6%)	194 (0.0%)	1,373,263 (100.0%)	60.8 [4,686]	108.1 [4,250]	140.7 [2,845]	238.9 [957]	64.7 [3]	107.8 [12,741]
8 四国圏	141,898 (17.4%)	230,463 (28.3%)	330,869 (40.7%)	107,218 (13.2%)	3,213 (0.4%)	813,661 (100.0%)	55.1 [2,575]	117.2 [1,966]	158.1 [2,093]	201.9 [531]	357.0 [9]	113.4 [7,174]
9 九州圏	276,091 (9.8%)	706,054 (25.0%)	1,298,712 (46.0%)	532,610 (18.9%)	9,104 (0.3%)	2,822,571 (100.0%)	80.8 [3,418]	147.8 [4,777]	222.6 [5,833]	559.5 [952]	182.1 [50]	187.8 [15,030]
10 沖縄県	7,584 (6.7%)	15,581 (13.7%)	89,237 (78.5%)	0 (0.0%)	1,272 (1.1%)	113,674 (100.0%)	216.7 [35]	283.3 [55]	477.2 [187]	0 [0]	212.0 [6]	401.7 [283]
合計	1,675,928 (14.6%)	2,933,775 (25.6%)	4,230,477 (36.9%)	2,567,944 (22.4%)	70,371 (0.6%)	11,478,495 (100.0%)	84.3 [19,884]	153.9 [19,060]	205.8 [20,554]	520.0 [4,938]	227.0 [310]	177.3 [64,746]

■ :各区分において人口構成比が最も大きい地方ブロック  
■ :各区分において人口構成比が2番目に大きい地方ブロック

※上段は各区分における1集落あたり平均人口  
 ※下段〔 〕内は人口の回答のあった集落数

参考: 前回調査	1,838,089 (15.5%)	3,032,721 (25.5%)	4,354,020 (36.6%)	2,558,119 (21.5%)	104,766 (0.9%)	11,887,715 (100.0%)	91.4 [20,113]	161.1 [18,830]	213.5 [20,392]	488.6 [5,236]	273.5 [383]	183.0 [64,954]
-------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-------------------	------------------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	----------------	-------------------

#### ④人口規模別 集落数

- 人口規模別の集落数をみると、人口 25 人未満の集落が全体の 12.8%を占め、人口 100 人未満の集落では 54.4%と半数以上を占めている。
- 地方ブロック別に人口規模別の集落数をみると、中国圏及び四国圏において、人口規模が小規模な集落の割合が他の地方ブロックより高くなっており、両地方ブロックとも人口 100 人未満の集落の割合が全体の7割前後を占めている。
- 一方、沖縄県では、人口が 200 人を超える集落の割合が他の地方ブロックと比べて最も高くなってきている。

図表 3-10 地方ブロック別・人口規模別 集落数

全体	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	130 (3.4%)	361 (9.3%)	677 (17.5%)	768 (19.8%)	762 (19.7%)	651 (16.8%)	244 (6.3%)	199 (5.1%)	84 (2.2%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	316 (2.2%)	713 (4.9%)	1,719 (11.8%)	3,521 (24.1%)	4,046 (27.7%)	3,174 (21.7%)	760 (5.2%)	268 (1.8%)	101 (0.7%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	42 (1.7%)	176 (7.3%)	365 (15.1%)	573 (23.6%)	544 (22.5%)	493 (20.3%)	126 (5.2%)	60 (2.5%)	44 (1.8%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	90 (5.0%)	160 (8.8%)	258 (14.2%)	525 (29.0%)	472 (26.0%)	243 (13.4%)	56 (3.1%)	7 (0.4%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	177 (4.5%)	399 (10.2%)	713 (18.3%)	893 (22.9%)	873 (22.4%)	600 (15.4%)	175 (4.5%)	52 (1.3%)	22 (0.6%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	105 (3.3%)	243 (7.7%)	450 (14.2%)	711 (22.4%)	858 (27.1%)	546 (17.2%)	141 (4.5%)	68 (2.1%)	46 (1.5%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	634 (5.0%)	1,929 (15.1%)	3,367 (26.3%)	3,439 (26.9%)	1,974 (15.4%)	1,013 (7.9%)	274 (2.1%)	110 (0.9%)	54 (0.4%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	462 (6.4%)	925 (12.9%)	1,591 (22.2%)	1,869 (26.0%)	1,390 (19.4%)	752 (10.5%)	129 (1.8%)	56 (0.8%)	3 (0.0%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	333 (2.2%)	1,151 (7.5%)	2,244 (14.6%)	3,538 (23.0%)	3,747 (24.4%)	2,979 (19.4%)	783 (5.1%)	254 (1.7%)	356 (2.3%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	2 (0.7%)	10 (3.5%)	21 (7.4%)	60 (21.2%)	117 (41.3%)	50 (17.7%)	21 (7.4%)	0 (0.0%)	283 (100.0%)
合計	2,291 (3.5%)	6,059 (9.3%)	11,394 (17.4%)	15,858 (24.2%)	14,726 (22.5%)	10,568 (16.1%)	2,738 (4.2%)	1,095 (1.7%)	711 (1.1%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

参考: 前回調査	1,801 (2.8%)	5,130 (7.9%)	10,649 (16.4%)	15,963 (24.6%)	15,424 (23.7%)	11,351 (17.5%)	3,029 (4.7%)	1,189 (1.8%)	418 (0.6%)	64,954 (100.0%)
-------------	-----------------	-----------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-----------------	-----------------	---------------	--------------------

- 過疎区分別に人口規模別の集落数をみると、特に「一部過疎」では人口の少ない集落が占める割合が高く、人口 25 人未満の集落の割合は 15.1%となっており、他の過疎区分に比べて高い。一方、「現一部過疎の非過疎地域」では、人口 200 人以上の規模の集落が 4 割強を占めている。

図表 3-11 過疎区分別・人口規模別 集落数

過疎区分別	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
過疎地域	2,237 (3.6%)	5,947 (9.6%)	11,098 (17.9%)	15,294 (24.7%)	14,024 (22.6%)	9,675 (15.6%)	2,299 (3.7%)	928 (1.5%)	418 (0.7%)	61,920 (100.0%)
過疎	1,735 (3.7%)	4,733 (10.1%)	8,884 (19.0%)	11,869 (25.3%)	10,313 (22.0%)	6,885 (14.7%)	1,580 (3.4%)	671 (1.4%)	161 (0.3%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	131 (1.9%)	322 (4.8%)	690 (10.2%)	1,464 (21.7%)	1,933 (28.6%)	1,595 (23.6%)	440 (6.5%)	164 (2.4%)	12 (0.2%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	371 (4.4%)	892 (10.7%)	1,524 (18.3%)	1,961 (23.5%)	1,778 (21.3%)	1,195 (14.3%)	279 (3.3%)	93 (1.1%)	245 (2.9%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	54 (1.5%)	112 (3.2%)	296 (8.4%)	564 (16.0%)	702 (19.9%)	893 (25.4%)	439 (12.5%)	167 (4.7%)	293 (8.3%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	39 (1.4%)	83 (2.9%)	236 (8.2%)	448 (15.7%)	546 (19.1%)	705 (24.6%)	378 (13.2%)	149 (5.2%)	278 (9.7%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	15 (2.3%)	29 (4.4%)	60 (9.1%)	116 (17.6%)	156 (23.7%)	188 (28.6%)	61 (9.3%)	18 (2.7%)	15 (2.3%)	658 (100.0%)
合計	2,291 (3.5%)	6,059 (9.3%)	11,394 (17.4%)	15,858 (24.2%)	14,726 (22.5%)	10,568 (16.1%)	2,738 (4.2%)	1,095 (1.7%)	711 (1.1%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域



- 集落類型別に人口規模別の集落数をみると、基礎集落では人口 100 人未満の集落が約6割を占めているのに対して、基幹集落や中心集落では、人口 100 人以上の集落が7割前後を占めている。

図表 3-12 集落類型別・人口規模別 集落数

全体	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
基礎集落	2,224 (4.1%)	5,719 (10.6%)	10,350 (19.1%)	13,882 (25.7%)	12,035 (22.3%)	7,415 (13.7%)	1,446 (2.7%)	401 (0.7%)	604 (1.1%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	27 (0.4%)	192 (2.8%)	675 (9.9%)	1,238 (18.2%)	1,768 (26.0%)	1,882 (27.7%)	688 (10.1%)	277 (4.1%)	59 (0.9%)	6,806 (100.0%)
中心集落	28 (0.7%)	123 (2.9%)	318 (7.6%)	661 (15.7%)	853 (20.3%)	1,198 (28.5%)	587 (14.0%)	415 (9.9%)	23 (0.5%)	4,206 (100.0%)
無回答	12 (3.4%)	25 (7.1%)	51 (14.5%)	77 (21.9%)	70 (19.9%)	73 (20.7%)	17 (4.8%)	2 (0.6%)	25 (7.1%)	352 (100.0%)
合計	2,291 (3.5%)	6,059 (9.3%)	11,394 (17.4%)	15,858 (24.2%)	14,726 (22.5%)	10,568 (16.1%)	2,738 (4.2%)	1,095 (1.7%)	711 (1.1%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に人口規模別の集落数をみると、山間地集落では、人口が 50 人未満の集落が約半数となっているのに対して、都市的地域の集落では、人口が 200 人以上の集落が約半数となっている。

図表 3-13 地域区分別・人口規模別 集落数

全体	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
山間地	1,562 (7.8%)	3,479 (17.4%)	5,026 (25.1%)	4,933 (24.6%)	3,169 (15.8%)	1,414 (7.1%)	238 (1.2%)	55 (0.3%)	155 (0.8%)	20,031 (100.0%)
中間地	404 (2.1%)	1,483 (7.7%)	3,419 (17.8%)	5,159 (26.9%)	4,757 (24.8%)	3,054 (15.9%)	556 (2.9%)	225 (1.2%)	117 (0.6%)	19,174 (100.0%)
平地	279 (1.3%)	936 (4.5%)	2,528 (12.2%)	4,906 (23.7%)	5,704 (27.5%)	4,605 (22.2%)	1,194 (5.8%)	400 (1.9%)	173 (0.8%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	44 (0.9%)	151 (2.9%)	398 (7.7%)	773 (14.9%)	1,010 (19.5%)	1,426 (27.6%)	730 (14.1%)	406 (7.9%)	233 (4.5%)	5,171 (100.0%)
無回答	2 (0.6%)	10 (2.9%)	23 (6.8%)	87 (25.7%)	86 (25.4%)	69 (20.4%)	20 (5.9%)	9 (2.7%)	33 (9.7%)	339 (100.0%)
合計	2,291 (3.5%)	6,059 (9.3%)	11,394 (17.4%)	15,858 (24.2%)	14,726 (22.5%)	10,568 (16.1%)	2,738 (4.2%)	1,095 (1.7%)	711 (1.1%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 役場(本庁)までの距離別に人口規模別の集落数をみると、本庁までの距離が遠いほど小規模な集落が占める割合が大きくなる傾向がみられ、「20km 以上」の区分では、人口規模が「～9 人」、「10 人～24 人」及び「25 人～49 人」の集落が占める割合が、それぞれ他の距離区分に比べて多くなっており、人口規模が 50 人未満の集落で5割近くを占めている。

図表 3-14 役場(本庁)までの距離別・人口規模別 集落数

全体	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
5km未満	221 (1.1%)	871 (4.4%)	2,355 (11.9%)	4,304 (21.7%)	5,061 (25.5%)	4,684 (23.6%)	1,518 (7.7%)	721 (3.6%)	77 (0.4%)	19,812 (100.0%)
5km以上 10km未満	384 (2.6%)	1,115 (7.7%)	2,409 (16.6%)	3,794 (26.1%)	3,678 (25.3%)	2,357 (16.2%)	520 (3.6%)	174 (1.2%)	78 (0.5%)	14,509 (100.0%)
10km以上 20km未満	745 (4.4%)	1,955 (11.5%)	3,491 (20.5%)	4,365 (25.6%)	3,618 (21.2%)	2,254 (13.2%)	446 (2.6%)	119 (0.7%)	75 (0.4%)	17,068 (100.0%)
20km以上	934 (7.1%)	2,080 (15.8%)	3,050 (23.2%)	3,241 (24.6%)	2,230 (16.9%)	1,174 (8.9%)	239 (1.8%)	79 (0.6%)	142 (1.1%)	13,169 (100.0%)
無回答	7 (0.8%)	38 (4.3%)	89 (10.1%)	154 (17.5%)	139 (15.8%)	99 (11.2%)	15 (1.7%)	2 (0.2%)	339 (38.4%)	882 (100.0%)
合計	2,291 (3.5%)	6,059 (9.3%)	11,394 (17.4%)	15,858 (24.2%)	14,726 (22.5%)	10,568 (16.1%)	2,738 (4.2%)	1,095 (1.7%)	711 (1.1%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい本庁までの距離区分

- 集落における高齢者(65歳以上人口)の割合別に人口規模別の集落数をみると、高齢者割合が高い集落ほど人口10人未満の小規模な集落が占める割合が高く、高齢者割合が100%(集落住民全員が65歳以上)の集落では、人口10人未満の集落が7割以上を占めている。また高齢者割合が75%以上100%未満の集落では、人口規模が25人未満の集落が約75%を占めている。

図表 3-15 高齢者割合別・人口規模別 集落数

全体	集落の人口規模 (人)								無回答	計
	~9	10~24	25~49	50~99	100~199	200~499	500~999	1000~		
50%未満	623 (1.3%)	2,378 (4.8%)	6,850 (14.0%)	12,481 (25.4%)	13,223 (26.9%)	9,862 (20.1%)	2,624 (5.3%)	1,058 (2.2%)	0 (0.0%)	49,099 (100.0%)
50%以上 75%未満	653 (5.4%)	2,734 (22.5%)	3,960 (32.7%)	2,949 (24.3%)	1,268 (10.5%)	493 (4.1%)	58 (0.5%)	10 (0.1%)	0 (0.0%)	12,125 (100.0%)
75%以上 100%未満	452 (27.8%)	774 (47.5%)	285 (17.5%)	93 (5.7%)	16 (1.0%)	8 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,628 (100.0%)
100%	534 (72.8%)	72 (9.8%)	61 (8.3%)	57 (7.8%)	10 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	734 (100.0%)
無回答	29 (1.6%)	101 (5.4%)	238 (12.8%)	278 (15.0%)	209 (11.3%)	205 (11.1%)	56 (3.0%)	27 (1.5%)	711 (38.3%)	1,854 (100.0%)
合計	2,291 (3.5%)	6,059 (9.3%)	11,394 (17.4%)	15,858 (24.2%)	14,726 (22.5%)	10,568 (16.1%)	2,738 (4.2%)	1,095 (1.7%)	711 (1.1%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 近年の転入者の有無別に人口規模別の集落数をみると、転入者がいるとされる集落は、その多くが人口50人以上500人未満の集落であるが、人口50人未満の比較的小規模な集落も約2割あり、そのうち10人未満の小規模な集落は324集落(1.2%)ある。

図表 3-16 転入者の有無別・人口規模別 集落数

全体	集落の人口規模 (人)								無回答	計
	~9	10~24	25~49	50~99	100~199	200~499	500~999	1000~		
転入者あり	324 (1.2%)	1,502 (5.8%)	3,965 (15.2%)	6,721 (25.8%)	6,824 (26.2%)	4,848 (18.6%)	1,234 (4.7%)	545 (2.1%)	76 (0.3%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	859 (20.7%)	1,266 (30.5%)	1,178 (28.4%)	583 (14.1%)	179 (4.3%)	56 (1.4%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	20 (0.5%)	4,145 (100.0%)
わからない	1,061 (3.2%)	3,155 (9.4%)	5,944 (17.8%)	8,115 (24.2%)	7,347 (21.9%)	5,419 (16.2%)	1,426 (4.3%)	509 (1.5%)	496 (1.5%)	33,472 (100.0%)
無回答	47 (2.6%)	136 (7.6%)	307 (17.2%)	439 (24.6%)	376 (21.1%)	245 (13.7%)	75 (4.2%)	40 (2.2%)	119 (6.7%)	1,784 (100.0%)
合計	2,291 (3.5%)	6,059 (9.3%)	11,394 (17.4%)	15,858 (24.2%)	14,726 (22.5%)	10,568 (16.1%)	2,738 (4.2%)	1,095 (1.7%)	711 (1.1%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

### (3) 集落の世帯数規模

#### ① 地方ブロック別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数

- 1集落あたりの平均世帯数をみると、全体平均で75.2世帯であり、市部(81.0世帯/集落)と村部(49.3世帯/集落)では31.7世帯の差がみられる。
- 地方ブロック別に1集落あたりの平均世帯数をみると、最も大きいのは北海道(191.8世帯/集落)であり、次いで沖縄県(189.7世帯/集落)となっている。
- 一方、1集落あたりの平均世帯数が小さいのは、中国圏や北陸圏、四国圏であり、特に中国圏では45.0世帯/集落と最も小規模である。
- なお、市町村区分別でみると、北陸圏、中国圏及び四国圏の3ブロックでは、市部、町部、村部を問わず、1集落あたりの平均世帯数が比較的小さい。1集落あたりの平均世帯数が最も小さいのは中部圏の村部であり、32.4世帯/集落と全体平均(75.2世帯/集落)の4割程度の規模である。

図表 3-17 地方ブロック別・市町村別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数

全体	市町村別 集落世帯数				ブロック 構成比	市町村別 集落あたり平均世帯数			
	市	町	村	計		市	町	村	全体
1 北海道	372,455 (53.6%)	311,189 (44.8%)	11,283 (1.6%)	694,927 (100.0%)	(14.5%)	494.0 [754]	116.5 [2,671]	57.0 [198]	191.8 [3,623]
2 東北圏	811,103 (72.3%)	282,798 (25.2%)	28,500 (2.5%)	1,122,401 (100.0%)	(23.3%)	83.4 [9,723]	66.4 [4,261]	55.0 [518]	77.4 [14,502]
3 首都圏	96,182 (49.2%)	84,561 (43.2%)	14,799 (7.6%)	195,542 (100.0%)	(4.1%)	113.4 [848]	66.0 [1,281]	61.4 [241]	82.5 [2,370]
4 北陸圏	57,386 (68.1%)	26,866 (31.9%)	0 (0.0%)	84,252 (100.0%)	(1.8%)	49.6 [1,158]	47.1 [571]	0 [0]	48.7 [1,729]
5 中部圏	139,897 (58.0%)	79,133 (32.8%)	21,987 (9.1%)	241,017 (100.0%)	(5.0%)	71.6 [1,954]	66.6 [1,188]	32.4 [678]	63.1 [3,820]
6 近畿圏	148,270 (55.6%)	107,125 (40.1%)	11,475 (4.3%)	266,870 (100.0%)	(5.6%)	91.0 [1,630]	90.1 [1,189]	47.0 [244]	87.1 [3,063]
7 中国圏	444,464 (77.7%)	125,930 (22.0%)	1,297 (0.2%)	571,691 (100.0%)	(11.9%)	45.3 [9,804]	44.0 [2,862]	48.0 [27]	45.0 [12,693]
8 四国圏	216,028 (59.7%)	143,037 (39.5%)	3,042 (0.8%)	362,107 (100.0%)	(7.5%)	58.7 [3,682]	42.6 [3,359]	35.4 [86]	50.8 [7,127]
9 九州圏	923,773 (76.0%)	269,869 (22.2%)	22,005 (1.8%)	1,215,647 (100.0%)	(25.3%)	89.9 [10,280]	68.7 [3,931]	40.8 [539]	82.4 [14,750]
10 沖縄県	25,324 (47.2%)	13,156 (24.5%)	15,207 (28.3%)	53,687 (100.0%)	(1.1%)	241.2 [105]	162.4 [81]	156.8 [97]	189.7 [283]
合計	3,234,882 (67.3%)	1,443,664 (30.0%)	129,595 (2.7%)	4,808,141 (100.0%)	(100.0%)	81.0 [39,938]	67.5 [21,394]	49.3 [2,628]	75.2 [63,960]
参考: 前回調査	3,103,690 (66.3%)	1,446,761 (30.9%)	129,270 (2.8%)	4,679,721 (100.0%)	(100.0%)	76.7 [40,449]	66.3 [21,816]	48.1 [2,689]	72.0 [64,954]

■ : 各区分において世帯構成比が最も大きい地方ブロック  
 ■ : 各区分において世帯構成比が2番目に大きい地方ブロック

※上段は各区分における1集落あたり平均世帯数  
 ※下段〔 〕内は世帯数の回答のあった集落数

## ②過疎区分別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数

- 過疎区分別に1集落あたりの平均世帯数をみると、「過疎」、「みなし過疎」、及び「一部過疎」の中では、「みなし過疎」が88.7世帯/集落と最も大きく、「一部過疎」(59.0世帯/集落)と30世帯近くの差がみられる。
- 地方ブロック別でみると、四国圏の「一部過疎」(35.4世帯/集落)や、中国圏の「過疎」(37.1世帯/集落)で特に1集落あたりの平均世帯数が小さくなっている。

図表 3-18 地方ブロック別・過疎区分別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数

全体	過疎区分別 集落世帯数					過疎区分別 集落あたり平均世帯数				
	過疎	みなし過疎	一部過疎	前過疎・旧過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	前過疎・旧過疎	全体
1 北海道	673,423 (96.9%)	0 (0.0%)	14,573 (2.1%)	6,931 (1.0%)	694,927 (100.0%)	194.4 [3,464]	[0]	117.5 [124]	198.0 [35]	191.8 [3,623]
2 東北圏	608,398 (54.2%)	295,024 (26.3%)	93,850 (8.4%)	125,129 (11.1%)	1,122,401 (100.0%)	69.9 [8,708]	85.3 [3,457]	65.2 [1,439]	139.3 [898]	77.4 [14,502]
3 首都圏	118,465 (60.6%)	0 (0.0%)	37,378 (19.1%)	39,699 (20.3%)	195,542 (100.0%)	82.3 [1,440]	[0]	82.1 [455]	83.6 [475]	82.5 [2,370]
4 北陸圏	43,799 (52.0%)	17,754 (21.1%)	17,315 (20.6%)	5,384 (6.4%)	84,252 (100.0%)	47.8 [917]	48.2 [368]	50.5 [343]	53.3 [101]	48.7 [1,729]
5 中部圏	138,772 (57.6%)	12,424 (5.2%)	59,841 (24.8%)	29,980 (12.4%)	241,017 (100.0%)	68.3 [2,033]	108.0 [115]	45.1 [1,328]	87.2 [344]	63.1 [3,820]
6 近畿圏	151,434 (56.7%)	72,688 (27.2%)	29,526 (11.1%)	13,222 (5.0%)	266,870 (100.0%)	79.0 [1,916]	138.7 [524]	52.7 [560]	209.9 [63]	87.1 [3,063]
7 中国圏	381,146 (66.7%)	52,376 (9.2%)	73,784 (12.9%)	64,385 (11.3%)	571,691 (100.0%)	37.1 [10,274]	59.9 [874]	63.3 [1,165]	169.4 [380]	45.0 [12,693]
8 四国圏	302,030 (83.4%)	15,798 (4.4%)	27,023 (7.5%)	17,256 (4.8%)	362,107 (100.0%)	51.1 [5,914]	62.4 [253]	35.4 [764]	88.0 [196]	50.8 [7,127]
9 九州圏	887,816 (73.0%)	106,111 (8.7%)	119,303 (9.8%)	102,417 (8.4%)	1,215,647 (100.0%)	79.4 [11,186]	101.7 [1,043]	64.9 [1,837]	149.7 [684]	82.4 [14,750]
10 沖縄県	24,159 (45.0%)	25,324 (47.2%)	0 (0.0%)	4,204 (7.8%)	53,687 (100.0%)	151.9 [159]	241.2 [105]	[0]	221.3 [19]	189.7 [283]
合計	3,329,442 (69.2%)	597,499 (12.4%)	472,593 (9.8%)	408,607 (8.5%)	4,808,141 (100.0%)	72.4 [46,011]	88.7 [6,739]	59.0 [8,015]	127.9 [3,195]	75.2 [63,960]

■ :各区分において世帯構成比が最も大きい地方ブロック

※上段は各区分における1集落あたり平均世帯数

■ :各区分において世帯構成比が2番目に大きい地方ブロック

※下段〔 〕内は世帯数の回答のあった集落数

### ③地域区分別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数

- 地域区別に1集落あたりの平均世帯数をみると、山間地集落は 35.1 世帯/集落であり、1集落あたりの平均世帯数が最も小さい。また、中間地集落は 63.5 世帯/集落である。山間地集落及び中間地集落のいずれも、全体平均(75.2 世帯/集落)より小さい規模となっている。
- 地方ブロック別でみると、中国圏、四国圏及び北陸圏の山間地集落では、1集落あたりの平均世帯数はいずれも1集落あたり約 25 世帯であり、他の地方ブロックと比べて小さくなっている。
- このほか、北陸圏と中国圏では、中間地集落についても1集落あたり 50 世帯を下回っている。

図表 3-19 地方ブロック別・地域区分別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数

全体	地域区分別 集落世帯数					計	地域区分別 集落あたり平均世帯数					全体
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答		山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
1 北海道	33,311 (4.8%)	102,473 (14.7%)	172,051 (24.8%)	376,757 (54.2%)	10,335 (1.5%)	694,927 (100.0%)	55.8 [597]	115.4 [888]	105.6 [1,630]	812.0 [464]	234.9 [44]	191.8 [3,623]
2 東北圏	148,024 (13.2%)	254,619 (22.7%)	407,872 (36.3%)	303,209 (27.0%)	8,677 (0.8%)	1,122,401 (100.0%)	43.0 [3,441]	66.8 [3,813]	73.9 [5,518]	190.9 [1,588]	61.1 [142]	77.4 [14,502]
3 首都圏	45,531 (23.3%)	64,652 (33.1%)	62,924 (32.2%)	22,435 (11.5%)	0 (0.0%)	195,542 (100.0%)	49.4 [922]	79.6 [812]	111.2 [566]	320.5 [70]	0 [0]	82.5 [2,370]
4 北陸圏	15,622 (18.5%)	18,863 (22.4%)	37,440 (44.4%)	12,327 (14.6%)	0 (0.0%)	84,252 (100.0%)	25.6 [610]	48.0 [393]	58.8 [637]	138.5 [89]	0 [0]	48.7 [1,729]
5 中部圏	86,261 (35.8%)	75,378 (31.3%)	52,212 (21.7%)	26,107 (10.8%)	1,059 (0.4%)	241,017 (100.0%)	41.0 [2,106]	71.2 [1,058]	94.4 [553]	314.5 [83]	53.0 [20]	63.1 [3,820]
6 近畿圏	58,217 (21.8%)	77,201 (28.9%)	77,153 (28.9%)	54,219 (20.3%)	80 (0.0%)	266,870 (100.0%)	41.4 [1,407]	84.8 [910]	139.8 [552]	280.9 [193]	80.0 [1]	87.1 [3,063]
7 中国圏	117,587 (20.6%)	190,404 (33.3%)	162,670 (28.5%)	100,926 (17.7%)	104 (0.0%)	571,691 (100.0%)	25.2 [4,664]	44.9 [4,239]	57.4 [2,834]	105.8 [954]	52.0 [2]	45.0 [12,693]
8 四国圏	63,947 (17.7%)	105,271 (29.1%)	144,592 (39.9%)	46,711 (12.9%)	1,586 (0.4%)	362,107 (100.0%)	25.2 [2,533]	53.6 [1,965]	69.2 [2,090]	88.1 [530]	176.2 [9]	50.8 [7,127]
9 九州圏	120,418 (9.9%)	300,631 (24.7%)	545,788 (44.9%)	244,370 (20.1%)	4,440 (0.4%)	1,215,647 (100.0%)	35.2 [3,419]	63.9 [4,702]	96.9 [5,631]	257.8 [948]	88.8 [50]	82.4 [14,750]
10 沖縄県	3,807 (7.1%)	7,451 (13.9%)	41,781 (77.8%)	0 (0.0%)	648 (1.2%)	53,687 (100.0%)	108.8 [35]	135.5 [55]	223.4 [187]	0 [0]	108.0 [6]	189.7 [283]
合計	692,725 (14.4%)	1,196,943 (24.9%)	1,704,483 (35.4%)	1,187,061 (24.7%)	26,929 (0.6%)	4,808,141 (100.0%)	35.1 [19,734]	63.5 [18,835]	84.4 [20,198]	241.3 [4,919]	98.3 [274]	75.2 [63,960]

■ : 各区分において世帯構成比が最も大きい地方ブロック  
 ■ : 各区分において世帯構成比が2番目に大きい地方ブロック

※上段は各区分における1集落あたり平均世帯数  
 ※下段〔 〕内は世帯数の回答のあった集落数

参考: 前回調査	708,530 (15.1%)	1,160,007 (24.8%)	1,658,044 (35.4%)	1,109,807 (23.7%)	43,333 (0.9%)	4,679,721 (100.0%)	35.2 [20,113]	61.6 [18,830]	81.3 [20,392]	212.0 [5,236]	113.1 [383]	72.0 [64,954]
-------------	--------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------	-----------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	----------------	------------------

#### ④世帯数規模別 集落数

- 世帯数規模の別集落数をみると、20 世帯未満の集落が全体の 28.4%を占め、30 世帯未満の集落は 42.9%と4割強を占める。
- 地方ブロック別に世帯数規模別の集落数をみると、中国圏及び四国圏では30 世帯未満の集落が占める割合が、他の地方ブロックに比べて高い。30 世帯未満の集落が占める割合は、中国圏では 61.1%、四国圏では 52.2%となっている。
- 一方、沖縄県や北海道では、集落の人口規模と同様に、世帯数も大きい集落が占める割合が他の地方ブロックと比べて高い。

図表 3-20 地方ブロック別・世帯数規模別 集落数

全体	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	418 (10.8%)	645 (16.6%)	413 (10.7%)	517 (13.3%)	624 (16.1%)	442 (11.4%)	369 (9.5%)	194 (5.0%)	254 (6.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	1,041 (7.1%)	2,172 (14.9%)	2,190 (15.0%)	3,018 (20.6%)	3,297 (22.6%)	1,783 (12.2%)	823 (5.6%)	168 (1.1%)	126 (0.9%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	167 (6.9%)	405 (16.7%)	316 (13.0%)	465 (19.2%)	484 (20.0%)	327 (13.5%)	163 (6.7%)	43 (1.8%)	53 (2.2%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	210 (11.6%)	320 (17.7%)	280 (15.5%)	405 (22.4%)	332 (18.3%)	136 (7.5%)	40 (2.2%)	5 (0.3%)	84 (4.6%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	477 (12.2%)	736 (18.9%)	568 (14.5%)	726 (18.6%)	756 (19.4%)	335 (8.6%)	190 (4.9%)	31 (0.8%)	85 (2.2%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	230 (7.3%)	411 (13.0%)	447 (14.1%)	640 (20.2%)	730 (23.0%)	376 (11.9%)	172 (5.4%)	56 (1.8%)	106 (3.3%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	2,074 (16.2%)	3,577 (28.0%)	2,221 (17.4%)	2,124 (16.6%)	1,559 (12.2%)	714 (5.6%)	345 (2.7%)	79 (0.6%)	101 (0.8%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	965 (13.4%)	1,592 (22.2%)	1,191 (16.6%)	1,338 (18.6%)	1,251 (17.4%)	554 (7.7%)	193 (2.7%)	43 (0.6%)	50 (0.7%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	1,127 (7.3%)	2,016 (13.1%)	1,873 (12.2%)	2,904 (18.9%)	3,557 (23.1%)	2,070 (13.5%)	1,011 (6.6%)	191 (1.2%)	636 (4.1%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	3 (1.1%)	9 (3.2%)	19 (6.7%)	65 (23.0%)	88 (31.1%)	81 (28.6%)	16 (5.7%)	0 (0.0%)	283 (100.0%)
合計	6,711 (10.3%)	11,877 (18.1%)	9,508 (14.5%)	12,156 (18.6%)	12,655 (19.3%)	6,825 (10.4%)	3,387 (5.2%)	826 (1.3%)	1,495 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

参考: 前回調査	6,214 (9.6%)	11,801 (18.2%)	9,687 (14.9%)	12,544 (19.3%)	12,656 (19.5%)	6,846 (10.5%)	3,328 (5.1%)	835 (1.3%)	1,043 (1.6%)	64,954 (100.0%)
-------------	-----------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	-----------------	---------------	-----------------	--------------------

- 過疎区分別に世帯数規模別の集落数をみると、「一部過疎」では、10 世帯未満の集落が占める割合が他の過疎区分と比べて最も高く、「過疎」では、10 世帯以上 30 世帯未満の集落が占める割合が他の過疎区分と比べて最も高くなっている。

図表 3-21 過疎区分別・世帯数規模別 集落数

過疎区分別	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
過疎地域	6,571 (10.6%)	11,544 (18.6%)	9,204 (14.9%)	11,682 (18.9%)	11,961 (19.3%)	6,205 (10.0%)	2,867 (4.6%)	717 (1.2%)	1,169 (1.9%)	61,920 (100.0%)
過疎	5,168 (11.0%)	9,070 (19.4%)	7,101 (15.2%)	8,744 (18.7%)	8,812 (18.8%)	4,517 (9.6%)	2,037 (4.3%)	549 (1.2%)	833 (1.8%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	426 (6.3%)	887 (13.1%)	887 (13.1%)	1,370 (20.3%)	1,646 (24.4%)	937 (13.9%)	479 (7.1%)	107 (1.6%)	12 (0.2%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	977 (11.7%)	1,587 (19.0%)	1,216 (14.6%)	1,568 (18.8%)	1,503 (18.0%)	751 (9.0%)	351 (4.2%)	61 (0.7%)	324 (3.9%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	140 (4.0%)	333 (9.5%)	304 (8.6%)	474 (13.5%)	694 (19.7%)	620 (17.6%)	520 (14.8%)	109 (3.1%)	326 (9.3%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	108 (3.8%)	268 (9.4%)	249 (8.7%)	363 (12.7%)	542 (18.9%)	503 (17.6%)	452 (15.8%)	99 (3.5%)	278 (9.7%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	32 (4.9%)	65 (9.9%)	55 (8.4%)	111 (16.9%)	152 (23.1%)	117 (17.8%)	68 (10.3%)	10 (1.5%)	48 (7.3%)	658 (100.0%)
合計	6,711 (10.3%)	11,877 (18.1%)	9,508 (14.5%)	12,156 (18.6%)	12,655 (19.3%)	6,825 (10.4%)	3,387 (5.2%)	826 (1.3%)	1,495 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に世帯数規模別の集落数をみると、基礎集落では50世帯未満の集落が約3分の2を占めており、20世帯未満の集落も約3割強みられる。一方、中心集落では、100世帯以上の比較的規模の大きい集落が半数近くを占めている。

図表 3-22 集落類型別・世帯数規模別 集落数

全体	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
基礎集落	6,429 (11.9%)	10,938 (20.2%)	8,493 (15.7%)	10,356 (19.2%)	9,949 (18.4%)	4,587 (8.5%)	1,793 (3.3%)	296 (0.5%)	1,235 (2.3%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	167 (2.5%)	610 (9.0%)	653 (9.6%)	1,189 (17.5%)	1,751 (25.7%)	1,321 (19.4%)	793 (11.7%)	205 (3.0%)	117 (1.7%)	6,806 (100.0%)
中心集落	90 (2.1%)	280 (6.7%)	328 (7.8%)	554 (13.2%)	887 (21.1%)	878 (20.9%)	782 (18.6%)	323 (7.7%)	84 (2.0%)	4,206 (100.0%)
無回答	25 (7.1%)	49 (13.9%)	34 (9.7%)	57 (16.2%)	68 (19.3%)	39 (11.1%)	19 (5.4%)	2 (0.6%)	59 (16.8%)	352 (100.0%)
合計	6,711 (10.3%)	11,877 (18.1%)	9,508 (14.5%)	12,156 (18.6%)	12,655 (19.3%)	6,825 (10.4%)	3,387 (5.2%)	826 (1.3%)	1,495 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■: 各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に世帯数規模別の集落数をみると、山間地や中間地では、世帯数規模の小さい集落が占める割合が他の地域区分に比べて高く、30世帯未満の集落が占める割合は、山間地では6割超、中間地では4割超となっている。

図表 3-23 地域区分別・世帯数規模別 集落数

全体	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
山間地	4,070 (20.3%)	5,436 (27.1%)	3,307 (16.5%)	3,275 (16.3%)	2,491 (12.4%)	833 (4.2%)	276 (1.4%)	39 (0.2%)	304 (1.5%)	20,031 (100.0%)
中間地	1,514 (7.9%)	3,512 (18.3%)	3,055 (15.9%)	3,962 (20.7%)	4,012 (20.9%)	1,914 (10.0%)	693 (3.6%)	171 (0.9%)	341 (1.8%)	19,174 (100.0%)
平地	1,007 (4.9%)	2,594 (12.5%)	2,727 (13.2%)	4,173 (20.1%)	5,032 (24.3%)	2,973 (14.3%)	1,414 (6.8%)	276 (1.3%)	529 (2.6%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	113 (2.2%)	319 (6.2%)	374 (7.2%)	672 (13.0%)	1,058 (20.5%)	1,070 (20.7%)	979 (18.9%)	334 (6.5%)	252 (4.9%)	5,171 (100.0%)
無回答	7 (2.1%)	16 (4.7%)	45 (13.3%)	74 (21.8%)	62 (18.3%)	35 (10.3%)	25 (7.4%)	6 (1.8%)	69 (20.4%)	339 (100.0%)
合計	6,711 (10.3%)	11,877 (18.1%)	9,508 (14.5%)	12,156 (18.6%)	12,655 (19.3%)	6,825 (10.4%)	3,387 (5.2%)	826 (1.3%)	1,495 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■: 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 役場(本庁)までの距離別に世帯数規模別の集落数をみると、本庁から20km以上離れた集落では、30世帯未満の集落が約6割を占め、他の距離区分よりも最も高い割合となっており、本庁までの距離が遠いほど世帯数の少ない集落が占める割合が高くなる傾向がみられる。

図表 3-24 役場(本庁)までの距離別・世帯数規模別 集落数

全体	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
5km未満	817 (4.1%)	2,285 (11.5%)	2,336 (11.8%)	3,569 (18.0%)	4,657 (23.5%)	3,149 (15.9%)	1,936 (9.8%)	558 (2.8%)	505 (2.5%)	19,812 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,225 (8.4%)	2,585 (17.8%)	2,285 (15.7%)	3,048 (21.0%)	2,955 (20.4%)	1,468 (10.1%)	611 (4.2%)	127 (0.9%)	205 (1.4%)	14,509 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,292 (13.4%)	3,604 (21.1%)	2,699 (15.8%)	3,250 (19.0%)	3,090 (18.1%)	1,356 (7.9%)	501 (2.9%)	82 (0.5%)	194 (1.1%)	17,068 (100.0%)
20km以上	2,346 (17.8%)	3,302 (25.1%)	2,102 (16.0%)	2,195 (16.7%)	1,835 (13.9%)	798 (6.1%)	316 (2.4%)	57 (0.4%)	218 (1.7%)	13,169 (100.0%)
無回答	31 (3.5%)	101 (11.5%)	86 (9.8%)	94 (10.7%)	118 (13.4%)	54 (6.1%)	23 (2.6%)	2 (0.2%)	373 (42.3%)	882 (100.0%)
合計	6,711 (10.3%)	11,877 (18.1%)	9,508 (14.5%)	12,156 (18.6%)	12,655 (19.3%)	6,825 (10.4%)	3,387 (5.2%)	826 (1.3%)	1,495 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■: 各区分において該当集落数の割合が最も大きい本庁までの距離区分

- 高齢者(65歳以上人口)の割合別に世帯規模別の集落数をみると、高齢者割合が高い集落ほど、世帯数規模が小さい集落の割合が高くなる傾向がみられる。
- 特に高齢者割合が100%(集落住民全員が65歳以上)の集落では、10世帯未満の集落が76.7%を占めており、前出の、集落人口が10人未満の集落の割合(72.6%)にも近いことから、世帯の多くが高齢者の一人暮らし世帯であることが推察される。
- 一方、高齢者割合が50%未満の集落では、50世帯以上の規模の集落が4割強となっている。

図表 3-25 高齢者割合別・世帯数規模別 集落数

全体	集落の世帯数規模 (世帯)									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
50%未満	2,943 (6.0%)	7,245 (14.8%)	6,991 (14.2%)	9,994 (20.4%)	11,129 (22.7%)	6,213 (12.7%)	3,185 (6.5%)	797 (1.6%)	602 (1.2%)	49,099 (100.0%)
50%以上	2,271 (18.7%)	3,825 (31.5%)	2,209 (18.2%)	1,887 (15.6%)	1,220 (10.1%)	433 (3.6%)	126 (1.0%)	8 (0.1%)	146 (1.2%)	12,125 (100.0%)
75%未満	829 (50.9%)	522 (32.1%)	132 (8.1%)	55 (3.4%)	63 (3.9%)	11 (0.7%)	3 (0.2%)	0 (0.0%)	13 (0.8%)	1,628 (100.0%)
75%以上	563 (76.7%)	30 (4.1%)	21 (2.9%)	46 (6.3%)	58 (7.9%)	9 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (1.0%)	734 (100.0%)
100%未満	105 (5.7%)	255 (13.8%)	155 (8.4%)	174 (9.4%)	185 (10.0%)	159 (8.6%)	73 (3.9%)	21 (1.1%)	727 (39.2%)	1,854 (100.0%)
100%	6,711 (10.3%)	11,877 (18.1%)	9,508 (14.5%)	12,156 (18.6%)	12,655 (19.3%)	6,825 (10.4%)	3,387 (5.2%)	826 (1.3%)	1,495 (2.3%)	65,440 (100.0%)
無回答										
合計										

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に世帯数規模別の集落数をみると、転入者がいるとされる集落では、30世帯以上200世帯未満の集落が6割近くあるが、比較的世帯数規模の小さい30世帯未満の集落も3割強を占めている。また、10世帯未満の集落でも転入者がいるとされる集落が存在している。

図表 3-26 転入者の有無別・世帯数規模別 集落数

全体	集落の世帯数規模 (世帯)									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
転入者あり	1,288 (4.9%)	3,812 (14.6%)	3,828 (14.7%)	5,400 (20.7%)	6,065 (23.3%)	3,171 (12.2%)	1,544 (5.9%)	422 (1.6%)	509 (2.0%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	1,790 (43.2%)	1,353 (32.6%)	481 (11.6%)	274 (6.6%)	137 (3.3%)	34 (0.8%)	7 (0.2%)	1 (0.0%)	68 (1.6%)	4,145 (100.0%)
わからない	3,476 (10.4%)	6,408 (19.1%)	4,934 (14.7%)	6,140 (18.3%)	6,142 (18.3%)	3,487 (10.4%)	1,749 (5.2%)	371 (1.1%)	765 (2.3%)	33,472 (100.0%)
無回答	157 (8.8%)	304 (17.0%)	265 (14.9%)	342 (19.2%)	311 (17.4%)	133 (7.5%)	87 (4.9%)	32 (1.8%)	153 (8.6%)	1,784 (100.0%)
合計	6,711 (10.3%)	11,877 (18.1%)	9,508 (14.5%)	12,156 (18.6%)	12,655 (19.3%)	6,825 (10.4%)	3,387 (5.2%)	826 (1.3%)	1,495 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)



#### (4) 集落の年齢構成

##### ①0～14歳人口割合別 集落数

- 集落人口に占める0～14歳人口割合別の集落数をみると、全体では、0%、すなわち0～14歳が一人もないという集落が14.3%あり、10%に満たない集落は59.8%と約6割を占めている。
- 地方ブロック別に0～14歳人口割合別の集落数をみると、特に四国圏及び中国圏で0～14歳人口割合が0%の集落が2割以上存在している。一方、沖縄県では0～14歳人口割合が15%以上の集落が、3分の1強を占めている。

図表 3-27 地方ブロック別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
1 北海道	466 (12.0%)	505 (13.0%)	1,261 (32.5%)	1,047 (27.0%)	305 (7.9%)	157 (4.1%)	135 (3.5%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	1,153 (7.9%)	1,688 (11.5%)	5,648 (38.6%)	4,630 (31.7%)	1,025 (7.0%)	311 (2.1%)	163 (1.1%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	265 (10.9%)	365 (15.1%)	847 (35.0%)	429 (17.7%)	95 (3.9%)	48 (2.0%)	374 (15.4%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	308 (17.0%)	300 (16.6%)	639 (35.3%)	410 (22.6%)	111 (6.1%)	43 (2.4%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	625 (16.0%)	586 (15.0%)	1,246 (31.9%)	897 (23.0%)	249 (6.4%)	112 (2.9%)	189 (4.8%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	459 (14.5%)	475 (15.0%)	1,097 (34.6%)	752 (23.7%)	191 (6.0%)	79 (2.5%)	115 (3.6%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	2,634 (20.6%)	1,671 (13.1%)	3,679 (28.8%)	2,907 (22.7%)	1,107 (8.7%)	702 (5.5%)	94 (0.7%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	1,580 (22.0%)	1,038 (14.5%)	2,061 (28.7%)	1,397 (19.5%)	468 (6.5%)	228 (3.2%)	405 (5.6%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	1,850 (12.0%)	1,986 (12.9%)	4,592 (29.8%)	4,076 (26.5%)	1,588 (10.3%)	749 (4.9%)	544 (3.5%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	5 (1.8%)	14 (4.9%)	46 (16.3%)	89 (31.4%)	67 (23.7%)	30 (10.6%)	32 (11.3%)	283 (100.0%)
合計	9,345 (14.3%)	8,628 (13.2%)	21,116 (32.3%)	16,634 (25.4%)	5,206 (8.0%)	2,459 (3.8%)	2,052 (3.1%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
 ■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に0～14歳人口割合別の集落数をみると、「一部過疎」では0～14歳人口の割合が5%未満の集落が、約3分の1を占めているのに対し、「非過疎市町村の旧過疎地域」では0～14歳人口の割合が15%を超える集落の割合が、他の過疎区分と比べて高い。

図表 3-28 過疎区分別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数

過疎区分別	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
過疎地域	9,190 (14.8%)	8,407 (13.6%)	20,250 (32.7%)	15,330 (24.8%)	4,850 (7.8%)	2,326 (3.8%)	1,567 (2.5%)	61,920 (100.0%)
過疎	7,107 (15.2%)	6,428 (13.7%)	15,131 (32.3%)	11,561 (24.7%)	3,787 (8.1%)	1,867 (4.0%)	950 (2.0%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	559 (8.3%)	680 (10.1%)	2,467 (36.5%)	2,159 (32.0%)	629 (9.3%)	208 (3.1%)	49 (0.7%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	1,524 (18.3%)	1,299 (15.6%)	2,652 (31.8%)	1,610 (19.3%)	434 (5.2%)	251 (3.0%)	568 (6.8%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	155 (4.4%)	221 (6.3%)	866 (24.6%)	1,304 (37.0%)	356 (10.1%)	133 (3.8%)	485 (13.8%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	116 (4.1%)	170 (5.9%)	669 (23.4%)	1,108 (38.7%)	263 (9.2%)	97 (3.4%)	439 (15.3%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	39 (5.9%)	51 (7.8%)	197 (29.9%)	196 (29.8%)	93 (14.1%)	36 (5.5%)	46 (7.0%)	658 (100.0%)
合計	9,345 (14.3%)	8,628 (13.2%)	21,116 (32.3%)	16,634 (25.4%)	5,206 (8.0%)	2,459 (3.8%)	2,052 (3.1%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に0～14歳人口割合別の集落数をみると、基礎集落では、0～14歳人口割合が5%未満の集落が占める割合は30.1%となっており、他の集落類型に比べて最も高くなっている。一方で、基礎集落には、0～14歳人口割合が20%以上と高い集落も2,123集落(3.9%)みられる。
- それぞれの集落類型において0～14歳人口割合が10%以上20%未満の集落が占める割合は、基礎・基幹・中心の順に高くなっており、中心集落では50.5%と約半数を占めている。

図表 3-29 集落類型別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
基礎集落	8,817 (16.3%)	7,445 (13.8%)	17,148 (31.7%)	12,676 (23.4%)	4,124 (7.6%)	2,123 (3.9%)	1,743 (3.2%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	339 (5.0%)	808 (11.9%)	2,474 (36.4%)	2,202 (32.4%)	609 (8.9%)	202 (3.0%)	172 (2.5%)	6,806 (100.0%)
中心集落	150 (3.6%)	343 (8.2%)	1,389 (33.0%)	1,675 (39.8%)	451 (10.7%)	123 (2.9%)	75 (1.8%)	4,206 (100.0%)
無回答	39 (11.1%)	32 (9.1%)	105 (29.8%)	81 (23.0%)	22 (6.3%)	11 (3.1%)	62 (17.6%)	352 (100.0%)
合計	9,345 (14.3%)	8,628 (13.2%)	21,116 (32.3%)	16,634 (25.4%)	5,206 (8.0%)	2,459 (3.8%)	2,052 (3.1%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に0～14歳人口割合別の集落数をみると、山間地集落では、0～14歳人口割合が5%未満の集落が占める割合は44.6%と他の地域区分と比べて最も高く、次いで中間地集落が26.3%となっている。
- これに対し、平地集落や都市的地域にある集落では、0～14歳人口割合が10%以上の集落の割合が、山間地集落や中間地集落と比べて高く、都市的地域では、0～14歳人口割合が10%以上20%未満の集落が約半数となっている。

図表 3-30 地域区分別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
山間地	5,566 (27.8%)	3,361 (16.8%)	5,943 (29.7%)	3,191 (15.9%)	983 (4.9%)	477 (2.4%)	510 (2.5%)	20,031 (100.0%)
中間地	2,270 (11.8%)	2,784 (14.5%)	6,689 (34.9%)	4,815 (25.1%)	1,350 (7.0%)	677 (3.5%)	589 (3.1%)	19,174 (100.0%)
平地	1,286 (6.2%)	2,085 (10.1%)	6,870 (33.1%)	6,562 (31.7%)	2,202 (10.6%)	1,070 (5.2%)	650 (3.1%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	213 (4.1%)	365 (7.1%)	1,503 (29.1%)	1,980 (38.3%)	650 (12.6%)	224 (4.3%)	236 (4.6%)	5,171 (100.0%)
無回答	10 (2.9%)	33 (9.7%)	111 (32.7%)	86 (25.4%)	21 (6.2%)	11 (3.2%)	67 (19.8%)	339 (100.0%)
合計	9,345 (14.3%)	8,628 (13.2%)	21,116 (32.3%)	16,634 (25.4%)	5,206 (8.0%)	2,459 (3.8%)	2,052 (3.1%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 役場(本庁)までの距離別に 0～14 歳人口割合別の集落数をみると、役場(本庁)からの距離が遠くなるほど、0～14 歳人口割合が 5%未満の集落が占める割合は高くなる傾向がみられる。
- 一方、役場(本庁)から 5 km未満と最も近い集落では、0～14 歳人口割合が 10%以上の集落が、約半数を占めている。

図表 3-31 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 0～14 歳の割合						無回答	計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～		
5km未満	1,243 (6.3%)	1,894 (9.6%)	6,304 (31.8%)	6,567 (33.1%)	2,359 (11.9%)	989 (5.0%)	456 (2.3%)	19,812 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,661 (11.4%)	1,908 (13.2%)	4,993 (34.4%)	3,919 (27.0%)	1,129 (7.8%)	533 (3.7%)	366 (2.5%)	14,509 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,996 (17.6%)	2,532 (14.8%)	5,711 (33.5%)	3,788 (22.2%)	1,101 (6.5%)	546 (3.2%)	394 (2.3%)	17,068 (100.0%)
20km以上	3,392 (25.8%)	2,218 (16.8%)	3,920 (29.8%)	2,220 (16.9%)	587 (4.5%)	375 (2.8%)	457 (3.5%)	13,169 (100.0%)
無回答	53 (6.0%)	76 (8.6%)	188 (21.3%)	140 (15.9%)	30 (3.4%)	16 (1.8%)	379 (43.0%)	882 (100.0%)
合計	9,345 (14.3%)	8,628 (13.2%)	21,116 (32.3%)	16,634 (25.4%)	5,206 (8.0%)	2,459 (3.8%)	2,052 (3.1%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい本庁までの距離区分

- 転入者の有無別に 0～14 歳人口割合別の集落数をみると、転入者がいるとされる集落では、0～14 歳人口割合が 5%以上 15%未満の集落が 6 割強あり、0～14 歳人口割合が 5%未満の集落も約 4 分の 1 を占めている。

図表 3-32 転入者の有無別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 0～14 歳の割合						無回答	計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～		
転入者あり	2,570 (9.9%)	3,693 (14.2%)	9,223 (35.4%)	6,984 (26.8%)	2,071 (8.0%)	925 (3.6%)	573 (2.2%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	2,045 (49.3%)	439 (10.6%)	768 (18.5%)	466 (11.2%)	170 (4.1%)	136 (3.3%)	121 (2.9%)	4,145 (100.0%)
わからない	4,538 (13.6%)	4,293 (12.8%)	10,603 (31.7%)	8,758 (26.2%)	2,829 (8.5%)	1,334 (4.0%)	1,117 (3.3%)	33,472 (100.0%)
無回答	192 (10.8%)	203 (11.4%)	522 (29.3%)	426 (23.9%)	136 (7.6%)	64 (3.6%)	241 (13.5%)	1,784 (100.0%)
合計	9,345 (14.3%)	8,628 (13.2%)	21,116 (32.3%)	16,634 (25.4%)	5,206 (8.0%)	2,459 (3.8%)	2,052 (3.1%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

②15～29 歳人口割合別 集落数

- 集落人口に占める15～29歳人口割合別の集落数をみると、全体では、15～29歳割合が0%、すなわち15～29歳が一人もないという集落が8.7%あり、10%に満たない集落は全体の44.9%を占めている。
- 地方ブロック別に15～29歳人口割合別の集落数をみると、四国圏及び中国圏において15～29歳人口の割合が5%未満の集落が占める割合が、他の地方ブロックに比べて高い。また、北海道でも15～29歳人口割合が10%に満たない集落が約半数近くを占めている。

図表 3-33 地方ブロック別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 15～29歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
1 北海道	288 (7.4%)	338 (8.7%)	1,288 (33.2%)	1,287 (33.2%)	358 (9.2%)	176 (4.5%)	141 (3.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	668 (4.6%)	776 (5.3%)	4,300 (29.4%)	6,373 (43.6%)	1,937 (13.3%)	401 (2.7%)	163 (1.1%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	144 (5.9%)	123 (5.1%)	520 (21.5%)	844 (34.8%)	331 (13.7%)	87 (3.6%)	374 (15.4%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	190 (10.5%)	137 (7.6%)	489 (27.0%)	648 (35.8%)	261 (14.4%)	86 (4.7%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	362 (9.3%)	299 (7.7%)	951 (24.4%)	1,306 (33.5%)	492 (12.6%)	177 (4.5%)	317 (8.1%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	260 (8.2%)	211 (6.7%)	765 (24.1%)	1,172 (37.0%)	502 (15.8%)	107 (3.4%)	151 (4.8%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	1,620 (12.7%)	1,170 (9.1%)	3,598 (28.1%)	3,907 (30.5%)	1,587 (12.4%)	818 (6.4%)	94 (0.7%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	1,081 (15.1%)	658 (9.2%)	2,062 (28.7%)	1,972 (27.5%)	720 (10.0%)	279 (3.9%)	405 (5.6%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	1,103 (7.2%)	1,333 (8.7%)	4,622 (30.0%)	5,548 (36.1%)	1,701 (11.1%)	534 (3.5%)	544 (3.5%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	4 (1.4%)	11 (3.9%)	73 (25.8%)	120 (42.4%)	35 (12.4%)	8 (2.8%)	32 (11.3%)	283 (100.0%)
合計	5,720 (8.7%)	5,056 (7.7%)	18,668 (28.5%)	23,177 (35.4%)	7,924 (12.1%)	2,673 (4.1%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
- :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に15～29歳人口割合別の集落数をみると、「一部過疎」や「過疎」では、15～29歳人口割合が5%未満の集落が占める割合が、他の過疎区分と比べて高く、「一部過疎」では、15～29歳人口割合が0%の集落が約1割を占めている。

図表 3-34 過疎区分別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数

過疎区分別	集落人口に占める 15～29歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
過疎地域	5,615 (9.1%)	4,963 (8.0%)	18,057 (29.2%)	21,807 (35.2%)	7,206 (11.6%)	2,550 (4.1%)	1,722 (2.8%)	61,920 (100.0%)
過疎	4,406 (9.4%)	3,961 (8.5%)	14,046 (30.0%)	16,140 (34.5%)	5,304 (11.3%)	2,018 (4.3%)	956 (2.0%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	311 (4.6%)	329 (4.9%)	1,849 (27.4%)	2,953 (43.7%)	1,024 (15.2%)	236 (3.5%)	49 (0.7%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	898 (10.8%)	673 (8.1%)	2,162 (25.9%)	2,714 (32.5%)	878 (10.5%)	296 (3.6%)	717 (8.6%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	105 (3.0%)	93 (2.6%)	611 (17.4%)	1,370 (38.9%)	718 (20.4%)	123 (3.5%)	500 (14.2%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	80 (2.8%)	68 (2.4%)	460 (16.1%)	1,085 (37.9%)	616 (21.5%)	99 (3.5%)	454 (15.9%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	25 (3.8%)	25 (3.8%)	151 (22.9%)	285 (43.3%)	102 (15.5%)	24 (3.6%)	46 (7.0%)	658 (100.0%)
合計	5,720 (8.7%)	5,056 (7.7%)	18,668 (28.5%)	23,177 (35.4%)	7,924 (12.1%)	2,673 (4.1%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に 15～29 歳人口割合別の集落数をみると、基礎集落では、0～14 歳人口割合別の集落数をみたときと同様に、15～29 歳人口の割合が 5%未満の集落が占める割合が 18.2%と他の集落類型に比べて最も高くなっている。
- それぞれの集落類型において、15～29 歳人口割合が 10%以上 20%未満の集落が占める割合は、基礎・基幹・中心の順に高くなっており、中心集落では 62.8%となっている。

図表 3-35 集落類型別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
基礎集落	5,407 (10.0%)	4,423 (8.2%)	15,438 (28.5%)	18,128 (33.5%)	6,393 (11.8%)	2,408 (4.5%)	1,879 (3.5%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	183 (2.7%)	443 (6.5%)	2,036 (29.9%)	2,984 (43.8%)	808 (11.9%)	162 (2.4%)	190 (2.8%)	6,806 (100.0%)
中心集落	97 (2.3%)	170 (4.0%)	1,112 (26.4%)	1,953 (46.4%)	689 (16.4%)	94 (2.2%)	91 (2.2%)	4,206 (100.0%)
無回答	33 (9.4%)	20 (5.7%)	82 (23.3%)	112 (31.8%)	34 (9.7%)	9 (2.6%)	62 (17.6%)	352 (100.0%)
合計	5,720 (8.7%)	5,056 (7.7%)	18,668 (28.5%)	23,177 (35.4%)	7,924 (12.1%)	2,673 (4.1%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に 15～29 歳人口割合別の集落数をみると、山間地集落では、15～29 歳人口割合が 5%未満の集落が占める割合は、28.9%と3割近くを占めており、他の過疎区分と比べて最も高い。
- 山間地集落では、15～29 歳人口割合が 5%以上 10%未満の集落の占める割合が高いが、平地集落や都市的地域にある集落では、15～29 歳人口割合が 10%以上 15%未満の集落が4割を占めている。また、都市的地域にある集落は、15～29 歳人口割合が 15%以上の集落の割合が 22.9%となっている。

図表 3-36 地域区分別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
山間地	3,650 (18.2%)	2,138 (10.7%)	5,788 (28.9%)	5,276 (26.3%)	1,813 (9.1%)	735 (3.7%)	631 (3.2%)	20,031 (100.0%)
中間地	1,219 (6.4%)	1,549 (8.1%)	5,877 (30.7%)	6,959 (36.3%)	2,210 (11.5%)	743 (3.9%)	617 (3.2%)	19,174 (100.0%)
平地	746 (3.6%)	1,174 (5.7%)	5,799 (28.0%)	8,482 (40.9%)	2,933 (14.2%)	920 (4.4%)	671 (3.2%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	98 (1.9%)	181 (3.5%)	1,148 (22.2%)	2,327 (45.0%)	914 (17.7%)	267 (5.2%)	236 (4.6%)	5,171 (100.0%)
無回答	7 (2.1%)	14 (4.1%)	56 (16.5%)	133 (39.2%)	54 (15.9%)	8 (2.4%)	67 (19.8%)	339 (100.0%)
合計	5,720 (8.7%)	5,056 (7.7%)	18,668 (28.5%)	23,177 (35.4%)	7,924 (12.1%)	2,673 (4.1%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 役場(本庁)までの距離別に15～29歳人口割合別の集落数をみると、役場(本庁)から遠くなるほど15～29歳人口割合が10%未満の集落が占める割合は高くなる傾向がある。
- 一方、役場(本庁)から5km未満と最も近い集落では、15～29歳人口割合が10%以上である集落が約3分の2を占めている。

図表 3-37 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 15～29歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	664 (3.4%)	1,003 (5.1%)	5,055 (25.5%)	8,449 (42.6%)	3,242 (16.4%)	938 (4.7%)	461 (2.3%)	19,812 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,001 (6.9%)	1,070 (7.4%)	4,296 (29.6%)	5,446 (37.5%)	1,755 (12.1%)	565 (3.9%)	376 (2.6%)	14,509 (100.0%)
10km以上 20km未満	1,800 (10.5%)	1,501 (8.8%)	5,180 (30.3%)	5,653 (33.1%)	1,804 (10.6%)	728 (4.3%)	402 (2.4%)	17,068 (100.0%)
20km以上	2,225 (16.9%)	1,453 (11.0%)	3,987 (30.3%)	3,432 (26.1%)	1,046 (7.9%)	422 (3.2%)	604 (4.6%)	13,169 (100.0%)
無回答	30 (3.4%)	29 (3.3%)	150 (17.0%)	197 (22.3%)	77 (8.7%)	20 (2.3%)	379 (43.0%)	882 (100.0%)
合計	5,720 (8.7%)	5,056 (7.7%)	18,668 (28.5%)	23,177 (35.4%)	7,924 (12.1%)	2,673 (4.1%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい本庁までの距離区分

- 転入者の有無別に15～29歳人口割合別の集落数をみると、転入者がいるとされる集落では、15～29歳人口割合が5%以上15%未満の集落が7割近くを占めている。

図表 3-38 転入者の有無別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 15～29歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
転入者あり	1,368 (5.3%)	2,148 (8.2%)	8,187 (31.4%)	9,860 (37.9%)	2,887 (11.1%)	933 (3.6%)	656 (2.5%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	1,517 (36.6%)	360 (8.7%)	902 (21.8%)	689 (16.6%)	291 (7.0%)	197 (4.8%)	189 (4.6%)	4,145 (100.0%)
わからない	2,715 (8.1%)	2,435 (7.3%)	9,101 (27.2%)	12,033 (35.9%)	4,548 (13.6%)	1,504 (4.5%)	1,136 (3.4%)	33,472 (100.0%)
無回答	120 (6.7%)	113 (6.3%)	478 (26.8%)	595 (33.4%)	198 (11.1%)	39 (2.2%)	241 (13.5%)	1,784 (100.0%)
合計	5,720 (8.7%)	5,056 (7.7%)	18,668 (28.5%)	23,177 (35.4%)	7,924 (12.1%)	2,673 (4.1%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

### ③30～64 歳人口割合別 集落数

- 集落人口に占める 30～64 歳人口割合別の集落数をみると、全体では 30～64 歳人口割合が 40～49%の集落が最も多く、46.5%と半数近くを占めている。
- 地方ブロック別に 30～64 歳人口割合別の集落数をみると、四国圏及び中国圏において、30～64 歳人口割合が 30%未満の集落の割合が、他の地方ブロックに比べて特に高い。これに対し、沖縄県や東北圏、北海道では 30～64 歳人口割合が 40%以上の集落の割合が他の地方ブロックに比べて高い。

図表 3-39 地方ブロック別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 30～64 歳の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
1 北海道	25 (0.6%)	5 (0.1%)	233 (6.0%)	1,025 (26.4%)	1,930 (49.8%)	517 (13.3%)	141 (3.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	93 (0.6%)	27 (0.2%)	518 (3.5%)	3,546 (24.3%)	9,043 (61.9%)	1,228 (8.4%)	163 (1.1%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	16 (0.7%)	11 (0.5%)	145 (6.0%)	599 (24.7%)	1,143 (47.2%)	135 (5.6%)	374 (15.4%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	36 (2.0%)	13 (0.7%)	184 (10.2%)	727 (40.1%)	736 (40.6%)	115 (6.3%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	44 (1.1%)	20 (0.5%)	418 (10.7%)	1,450 (37.1%)	1,429 (36.6%)	226 (5.8%)	317 (8.1%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	40 (1.3%)	12 (0.4%)	328 (10.4%)	1,236 (39.0%)	1,256 (39.6%)	145 (4.6%)	151 (4.8%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	259 (2.0%)	60 (0.5%)	1,682 (13.1%)	5,089 (39.8%)	4,668 (36.5%)	942 (7.4%)	94 (0.7%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	168 (2.3%)	38 (0.5%)	1,021 (14.2%)	2,419 (33.7%)	2,652 (37.0%)	474 (6.6%)	405 (5.6%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	114 (0.7%)	28 (0.2%)	1,099 (7.1%)	5,212 (33.9%)	7,403 (48.1%)	985 (6.4%)	544 (3.5%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.4%)	14 (4.9%)	190 (67.1%)	43 (15.2%)	32 (11.3%)	283 (100.0%)
合計	795 (1.2%)	214 (0.3%)	5,632 (8.6%)	21,317 (32.6%)	30,450 (46.5%)	4,810 (7.4%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
- :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に 30～64 歳人口割合別の集落数をみると、「一部過疎」では、30～64 歳人口割合が 30%未満の集落が占める割合が、他の過疎区分と比べて最も高い。一方で、「みなし過疎」では、30～64 歳人口割合が 40%以上と比較的高い集落が占める割合が他の過疎区分と比べて高くなっている。

図表 3-40 過疎区分別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数

過疎区分別	集落人口に占める 30～64 歳の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
過疎地域	775 (1.3%)	209 (0.3%)	5,537 (8.9%)	20,675 (33.4%)	28,401 (45.9%)	4,601 (7.4%)	1,722 (2.8%)	61,920 (100.0%)
過疎	588 (1.3%)	155 (0.3%)	4,384 (9.4%)	16,112 (34.4%)	21,100 (45.1%)	3,536 (7.6%)	956 (2.0%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	65 (1.0%)	14 (0.2%)	257 (3.8%)	1,773 (26.3%)	4,054 (60.1%)	539 (8.0%)	49 (0.7%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	122 (1.5%)	40 (0.5%)	896 (10.7%)	2,790 (33.5%)	3,247 (38.9%)	526 (6.3%)	717 (8.6%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	20 (0.6%)	5 (0.1%)	95 (2.7%)	642 (18.2%)	2,049 (58.2%)	209 (5.9%)	500 (14.2%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	18 (0.6%)	2 (0.1%)	68 (2.4%)	484 (16.9%)	1,677 (58.6%)	159 (5.6%)	454 (15.9%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	2 (0.3%)	3 (0.5%)	27 (4.1%)	158 (24.0%)	372 (56.5%)	50 (7.6%)	46 (7.0%)	658 (100.0%)
合計	795 (1.2%)	214 (0.3%)	5,632 (8.6%)	21,317 (32.6%)	30,450 (46.5%)	4,810 (7.4%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に30～64歳人口割合別の集落数をみると、中心集落では、30～64歳人口割合が40～49%の集落が占める割合が他の集落類型と比べて高く、58.2%となっている。
- 基礎集落では、30～64歳人口の割合が30%未満の集落の割合が11.2%と他の集落類型と比べて高くなっており、30～64歳人口の割合が50%以上の集落の割合も、8.0%と他の集落類型と比べて最も高くなっている。

図表 3-41 集落類型別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
基礎集落	773 (1.4%)	202 (0.4%)	5,064 (9.4%)	17,608 (32.6%)	24,234 (44.8%)	4,316 (8.0%)	1,879 (3.5%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	12 (0.2%)	6 (0.1%)	391 (5.7%)	2,276 (33.4%)	3,639 (53.5%)	292 (4.3%)	190 (2.8%)	6,806 (100.0%)
中心集落	7 (0.2%)	5 (0.1%)	157 (3.7%)	1,328 (31.6%)	2,448 (58.2%)	170 (4.0%)	91 (2.2%)	4,206 (100.0%)
無回答	3 (0.9%)	1 (0.3%)	20 (5.7%)	105 (29.8%)	129 (36.6%)	32 (9.1%)	62 (17.6%)	352 (100.0%)
合計	795 (1.2%)	214 (0.3%)	5,632 (8.6%)	21,317 (32.6%)	30,450 (46.5%)	4,810 (7.4%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に30～64歳人口割合別の集落数をみると、平地集落や都市的地域にある集落では、30～64歳人口割合が40%以上と比較的高い集落が6割以上を占めている。
- 一方、山間地集落では、30～64歳人口割合が40%未満の集落が56.4%と半数以上を占めている。

図表 3-42 地域区分別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
山間地	490 (2.4%)	117 (0.6%)	3,279 (16.4%)	7,421 (37.0%)	6,640 (33.1%)	1,453 (7.3%)	631 (3.2%)	20,031 (100.0%)
中間地	137 (0.7%)	49 (0.3%)	1,418 (7.4%)	6,687 (34.9%)	8,945 (46.7%)	1,321 (6.9%)	617 (3.2%)	19,174 (100.0%)
平地	128 (0.6%)	35 (0.2%)	799 (3.9%)	5,855 (28.3%)	11,572 (55.8%)	1,665 (8.0%)	671 (3.2%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	38 (0.7%)	13 (0.3%)	129 (2.5%)	1,277 (24.7%)	3,129 (60.5%)	349 (6.7%)	236 (4.6%)	5,171 (100.0%)
無回答	2 (0.6%)	0 (0.0%)	7 (2.1%)	77 (22.7%)	164 (48.4%)	22 (6.5%)	67 (19.8%)	339 (100.0%)
合計	795 (1.2%)	214 (0.3%)	5,632 (8.6%)	21,317 (32.6%)	30,450 (46.5%)	4,810 (7.4%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分



- 役場(本庁)までの距離別に 30～64 歳人口割合別の集落数をみると、役場(本庁)からの距離が近い集落ほど、30～64 歳人口割合が 40%以上の集落が占める割合は、高くなる傾向がある。
- 一方、役場(本庁)から 20 km以上と遠い集落では、30～64 歳人口割合が 40%未満の集落が半数以上を占めている。

図表 3-43 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 30～64 歳の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
5km未満	124 (0.6%)	42 (0.2%)	828 (4.2%)	5,590 (28.2%)	11,261 (56.8%)	1,506 (7.6%)	461 (2.3%)	19,812 (100.0%)
5km以上 10km未満	138 (1.0%)	27 (0.2%)	957 (6.6%)	4,730 (32.6%)	7,182 (49.5%)	1,099 (7.6%)	376 (2.6%)	14,509 (100.0%)
10km以上 20km未満	224 (1.3%)	59 (0.3%)	1,698 (9.9%)	6,011 (35.2%)	7,368 (43.2%)	1,306 (7.7%)	402 (2.4%)	17,068 (100.0%)
20km以上	305 (2.3%)	85 (0.6%)	2,135 (16.2%)	4,808 (36.5%)	4,377 (33.2%)	855 (6.5%)	604 (4.6%)	13,169 (100.0%)
無回答	4 (0.5%)	1 (0.1%)	14 (1.6%)	178 (20.2%)	262 (29.7%)	44 (5.0%)	379 (43.0%)	882 (100.0%)
合計	795 (1.2%)	214 (0.3%)	5,632 (8.6%)	21,317 (32.6%)	30,450 (46.5%)	4,810 (7.4%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい本庁までの距離区分

- 転入者の有無別に 30～64 歳人口割合別の集落数をみると、転入者がいるとされる集落では、30～64 歳人口割合が 40%以上の集落が半数以上となっている。

図表 3-44 転入者の有無別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 30～64 歳の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
転入者あり	99 (0.4%)	57 (0.2%)	1,829 (7.0%)	8,913 (34.2%)	12,729 (48.9%)	1,756 (6.7%)	656 (2.5%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	288 (6.9%)	48 (1.2%)	921 (22.2%)	1,248 (30.1%)	975 (23.5%)	476 (11.5%)	189 (4.6%)	4,145 (100.0%)
わからない	392 (1.2%)	107 (0.3%)	2,770 (8.3%)	10,666 (31.9%)	15,946 (47.6%)	2,455 (7.3%)	1,136 (3.4%)	33,472 (100.0%)
無回答	16 (0.9%)	2 (0.1%)	112 (6.3%)	490 (27.5%)	800 (44.8%)	123 (6.9%)	241 (13.5%)	1,784 (100.0%)
合計	795 (1.2%)	214 (0.3%)	5,632 (8.6%)	21,317 (32.6%)	30,450 (46.5%)	4,810 (7.4%)	2,222 (3.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

#### ④65歳以上人口割合別 集落数

- 集落人口に占める65歳以上人口割合別の集落数をみると、全体では、65歳以上人口割合が50%以上である集落が、22.2%を占めており、100%（集落住民全員が65歳以上）という集落も734集落（1.1%）みられる。
- 地方ブロック別に65歳以上人口割合別の集落数をみると、四国圏や中国圏で、65歳以上人口の割合が高い集落の割合が、他の地方ブロックと比べて高くなっている一方、東北圏や沖縄県、北海道では、65歳以上人口の割合が低い集落の割合が、他の地方ブロックと比べて高くなっている。

図表 3-45 地方ブロック別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 65歳以上 の割合							【再掲】65歳以上割合			
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	46 (1.2%)	171 (4.4%)	1,887 (48.7%)	932 (24.0%)	611 (15.8%)	94 (2.4%)	135 (3.5%)	3,876 (100.0%)	3,036 (78.3%)	705 (18.2%)	23 (0.6%)
2 東北圏	63 (0.4%)	410 (2.8%)	8,878 (60.7%)	3,437 (23.5%)	1,377 (9.4%)	290 (2.0%)	163 (1.1%)	14,618 (100.0%)	12,788 (87.5%)	1,667 (11.4%)	90 (0.6%)
3 首都圏	4 (0.2%)	61 (2.5%)	1,069 (44.1%)	532 (22.0%)	280 (11.6%)	103 (4.3%)	374 (15.4%)	2,423 (100.0%)	1,666 (68.8%)	383 (15.8%)	14 (0.6%)
4 北陸圏	17 (0.9%)	43 (2.4%)	747 (41.2%)	492 (27.2%)	403 (22.2%)	109 (6.0%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)	1,299 (71.7%)	512 (28.3%)	34 (1.9%)
5 中部圏	35 (0.9%)	79 (2.0%)	1,518 (38.9%)	1,021 (26.2%)	819 (21.0%)	243 (6.2%)	189 (4.8%)	3,904 (100.0%)	2,653 (68.0%)	1,062 (27.2%)	44 (1.1%)
6 近畿圏	9 (0.3%)	92 (2.9%)	1,294 (40.8%)	889 (28.1%)	571 (18.0%)	198 (6.3%)	115 (3.6%)	3,168 (100.0%)	2,284 (72.1%)	769 (24.3%)	40 (1.3%)
7 中国圏	189 (1.5%)	544 (4.3%)	4,629 (36.2%)	3,477 (27.2%)	3,007 (23.5%)	853 (6.7%)	95 (0.7%)	12,794 (100.0%)	8,839 (69.1%)	3,860 (30.2%)	219 (1.7%)
8 四国圏	59 (0.8%)	206 (2.9%)	2,538 (35.4%)	1,857 (25.9%)	1,715 (23.9%)	711 (9.9%)	91 (1.3%)	7,177 (100.0%)	4,660 (64.9%)	2,426 (33.8%)	162 (2.3%)
9 九州圏	82 (0.5%)	599 (3.9%)	7,064 (45.9%)	3,885 (25.3%)	2,567 (16.7%)	529 (3.4%)	659 (4.3%)	15,385 (100.0%)	11,630 (75.6%)	3,096 (20.1%)	108 (0.7%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	42 (14.8%)	184 (65.0%)	17 (6.0%)	5 (1.8%)	2 (0.7%)	32 (11.3%)	283 (100.0%)	244 (86.2%)	7 (2.5%)	0 (0.0%)
合計	505 (0.8%)	2,247 (3.4%)	29,808 (45.6%)	16,539 (25.3%)	11,355 (17.4%)	3,132 (4.8%)	1,854 (2.8%)	65,440 (100.0%)	49,099 (75.0%)	14,487 (22.1%)	734 (1.1%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
- :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に65歳以上人口割合別の集落数をみると、「一部過疎」では65歳以上人口割合が50%以上の集落が占める割合が他の過疎区分と比べて高く、3割近くを占めている。
- 一方、「みなし過疎」では、65歳以上人口割合が50%未満の集落が88.0%と約9割を占めている。

図表 3-46 過疎区分別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数

過疎区分別	集落人口に占める 65歳以上 の割合							【再掲】65歳以上割合			
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
過疎地域	486 (0.8%)	2,075 (3.4%)	27,671 (44.7%)	16,097 (26.0%)	11,151 (18.0%)	3,071 (5.0%)	1,369 (2.2%)	61,920 (100.0%)	46,329 (74.8%)	14,222 (23.0%)	716 (1.2%)
過疎	395 (0.8%)	1,607 (3.4%)	20,469 (43.7%)	12,501 (26.7%)	8,901 (19.0%)	2,322 (5.0%)	636 (1.4%)	46,831 (100.0%)	34,972 (74.7%)	11,223 (24.0%)	533 (1.1%)
みなし過疎	28 (0.4%)	282 (4.2%)	4,119 (61.0%)	1,510 (22.4%)	594 (8.8%)	169 (2.5%)	49 (0.7%)	6,751 (100.0%)	5,939 (88.0%)	763 (11.3%)	65 (1.0%)
一部過疎	63 (0.8%)	186 (2.2%)	3,083 (37.0%)	2,086 (25.0%)	1,656 (19.9%)	580 (7.0%)	684 (8.2%)	8,338 (100.0%)	5,418 (65.0%)	2,236 (26.8%)	118 (1.4%)
前過疎・旧過疎	19 (0.5%)	172 (4.9%)	2,137 (60.7%)	442 (12.6%)	204 (5.8%)	61 (1.7%)	485 (13.8%)	3,520 (100.0%)	2,770 (78.7%)	265 (7.5%)	18 (0.5%)
現一部過疎の 非過疎地域	16 (0.6%)	132 (4.6%)	1,747 (61.0%)	330 (11.5%)	150 (5.2%)	48 (1.7%)	439 (15.3%)	2,862 (100.0%)	2,225 (77.7%)	198 (6.9%)	16 (0.6%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	3 (0.5%)	40 (6.1%)	390 (59.3%)	112 (17.0%)	54 (8.2%)	13 (2.0%)	46 (7.0%)	658 (100.0%)	545 (82.8%)	67 (10.2%)	2 (0.3%)
合計	505 (0.8%)	2,247 (3.4%)	29,808 (45.6%)	16,539 (25.3%)	11,355 (17.4%)	3,132 (4.8%)	1,854 (2.8%)	65,440 (100.0%)	49,099 (75.0%)	14,487 (22.1%)	734 (1.1%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に65歳以上人口割合別の集落数をみると、中心集落では、65歳以上人口割合が40%未満の集落が6割超であるのに対して、基礎集落では、65歳以上人口割合が50%以上の集落が24.0%を占めている。

図表 3-47 集落類型別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
基礎集落	463 (0.9%)	1,909 (3.5%)	23,556 (43.6%)	13,590 (25.1%)	10,030 (18.5%)	2,970 (5.5%)	1,558 (2.9%)	54,076 (100.0%)	39,518 (73.1%)	13,000 (24.0%)	712 (1.3%)
基幹集落	23 (0.3%)	193 (2.8%)	3,626 (53.3%)	1,802 (26.5%)	892 (13.1%)	111 (1.6%)	159 (2.3%)	6,806 (100.0%)	5,644 (82.9%)	1,003 (14.7%)	12 (0.2%)
中心集落	17 (0.4%)	131 (3.1%)	2,500 (59.4%)	1,060 (25.2%)	383 (9.1%)	40 (1.0%)	75 (1.8%)	4,206 (100.0%)	3,708 (88.2%)	423 (10.1%)	7 (0.2%)
無回答	2 (0.6%)	14 (4.0%)	126 (35.8%)	87 (24.7%)	50 (14.2%)	11 (3.1%)	62 (17.6%)	352 (100.0%)	229 (65.1%)	61 (17.3%)	3 (0.9%)
合計	505 (0.8%)	2,247 (3.4%)	29,808 (45.6%)	16,539 (25.3%)	11,355 (17.4%)	3,132 (4.8%)	1,854 (2.8%)	65,440 (100.0%)	49,099 (75.0%)	14,487 (22.1%)	734 (1.1%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に65歳以上人口割合別の集落数をみると、山間地集落では65歳以上人口割合が50%以上の集落の割合は、39.5%と他の過疎区分と比べて特になくなっている。
- 都市的地域にある集落や平地集落では、65歳以上人口割合が50%未満の集落が9割近くを占めている。

図表 3-48 地域区分別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
山間地	121 (0.6%)	255 (1.3%)	5,764 (28.8%)	5,522 (27.6%)	5,758 (28.7%)	2,147 (10.7%)	464 (2.3%)	20,031 (100.0%)	11,662 (58.2%)	7,905 (39.5%)	473 (2.4%)
中間地	118 (0.6%)	501 (2.6%)	8,873 (46.3%)	5,315 (27.7%)	3,204 (16.7%)	614 (3.2%)	549 (2.9%)	19,174 (100.0%)	14,807 (77.2%)	3,818 (19.9%)	128 (0.7%)
平地	186 (0.9%)	1,134 (5.5%)	11,884 (57.3%)	4,614 (22.3%)	2,045 (9.9%)	324 (1.6%)	538 (2.6%)	20,725 (100.0%)	17,818 (86.0%)	2,369 (11.4%)	117 (0.6%)
都市的地域	78 (1.5%)	344 (6.7%)	3,113 (60.2%)	1,029 (19.9%)	327 (6.3%)	44 (0.9%)	236 (4.6%)	5,171 (100.0%)	4,564 (88.3%)	371 (7.2%)	14 (0.3%)
無回答	2 (0.6%)	13 (3.8%)	174 (51.3%)	59 (17.4%)	21 (6.2%)	3 (0.9%)	67 (19.8%)	339 (100.0%)	248 (73.2%)	24 (7.1%)	2 (0.6%)
合計	505 (0.8%)	2,247 (3.4%)	29,808 (45.6%)	16,539 (25.3%)	11,355 (17.4%)	3,132 (4.8%)	1,854 (2.8%)	65,440 (100.0%)	49,099 (75.0%)	14,487 (22.1%)	734 (1.1%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 役場(本庁)までの距離別に65歳以上人口割合別の集落数をみると、役場(本庁)に近い集落ほど65歳以上人口割合が40%未満の集落が占める割合は高くなる傾向がみられる。
- 一方、役場(本庁)から20km以上離れた集落では、65歳以上人口割合が50%以上を占める集落が、38.9%と4割近くを占めている。

図表 3-49 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	196 (1.0%)	1,189 (6.0%)	11,505 (58.1%)	4,376 (22.1%)	1,900 (9.6%)	299 (1.5%)	347 (1.8%)	19,812 (100.0%)	17,266 (87.1%)	2,199 (11.1%)	91 (0.5%)
5km以上 10km未満	119 (0.8%)	411 (2.8%)	7,290 (50.2%)	3,741 (25.8%)	2,158 (14.9%)	480 (3.3%)	310 (2.1%)	14,509 (100.0%)	11,561 (79.7%)	2,638 (18.2%)	128 (0.9%)
10km以上 20km未満	100 (0.6%)	423 (2.5%)	7,076 (41.5%)	4,709 (27.6%)	3,492 (20.5%)	955 (5.6%)	313 (1.8%)	17,068 (100.0%)	12,308 (72.1%)	4,447 (26.1%)	212 (1.2%)
20km以上	86 (0.7%)	207 (1.6%)	3,687 (28.0%)	3,566 (27.1%)	3,728 (28.3%)	1,390 (10.6%)	505 (3.8%)	13,169 (100.0%)	7,546 (57.3%)	5,118 (38.9%)	299 (2.3%)
無回答	4 (0.5%)	17 (1.9%)	250 (28.3%)	147 (16.7%)	77 (8.7%)	8 (0.9%)	379 (43.0%)	882 (100.0%)	418 (47.4%)	85 (9.6%)	4 (0.5%)
合計	505 (0.8%)	2,247 (3.4%)	29,808 (45.6%)	16,539 (25.3%)	11,355 (17.4%)	3,132 (4.8%)	1,854 (2.8%)	65,440 (100.0%)	49,099 (75.0%)	14,487 (22.1%)	734 (1.1%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい本庁までの距離区分

- 転入者の有無別に65歳以上人口割合別の集落数をみると、転入者がいるとされる集落では、65歳以上人口割合が50%未満の集落が約8割を占めている。

図表 3-50 転入者の有無別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
転入者あり	138 (0.5%)	877 (3.4%)	12,432 (47.7%)	7,213 (27.7%)	4,330 (16.6%)	690 (2.6%)	359 (1.4%)	26,039 (100.0%)	20,660 (79.3%)	5,020 (19.3%)	87 (0.3%)
転入者なし	65 (1.6%)	57 (1.4%)	870 (21.0%)	783 (18.9%)	1,406 (33.9%)	897 (21.6%)	67 (1.6%)	4,145 (100.0%)	1,775 (42.8%)	2,303 (55.6%)	285 (6.9%)
わからない	293 (0.9%)	1,251 (3.7%)	15,736 (47.0%)	8,141 (24.3%)	5,375 (16.1%)	1,489 (4.4%)	1,187 (3.5%)	33,472 (100.0%)	25,421 (75.9%)	6,864 (20.5%)	349 (1.0%)
無回答	9 (0.5%)	62 (3.5%)	770 (43.2%)	402 (22.5%)	244 (13.7%)	56 (3.1%)	241 (13.5%)	1,784 (100.0%)	1,243 (69.7%)	300 (16.8%)	13 (0.7%)
合計	505 (0.8%)	2,247 (3.4%)	29,808 (45.6%)	16,539 (25.3%)	11,355 (17.4%)	3,132 (4.8%)	1,854 (2.8%)	65,440 (100.0%)	49,099 (75.0%)	14,487 (22.1%)	734 (1.1%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

⑤65歳以上人口割合の高い集落の特性

- 65歳以上人口の割合が50%以上の集落の特性をみると、人口規模、世帯数規模ともに小さく、役場(本庁)から遠距離にあり、山間地集落や基礎集落が多いといえる。
- また、65歳以上の人口割合が75%以上の集落では、集落機能が低下している、あるいは維持が困難である集落の割合が、他の65歳以上人口割合の区分と比べて高くなっている。
- 65歳以上人口割合の高い集落では、集落支援員や地域おこし協力隊等のサポート人材が活動している集落の割合が、65歳以上人口割合が低い集落と比べて高い傾向にある。

図表 3-51 65歳以上人口割合が高い集落の主要特性

		65歳以上人口割合の区分別 集落数						計
		100%	75%以上 100%未満	50%以上 75%未満	25%以上 50%未満	25%未満	無回答	
集落 類型	基礎集落	712 (97.0%)	1,548 (95.1%)	10,740 (88.6%)	35,170 (80.2%)	4,348 (83.2%)	1,558 (84.0%)	54,076 (82.6%)
	基幹集落	12 (1.6%)	57 (3.5%)	934 (7.7%)	5,143 (11.7%)	501 (9.6%)	159 (8.6%)	6,806 (10.4%)
	中心集落	7 (1.0%)	17 (1.0%)	399 (3.3%)	3,359 (7.7%)	349 (6.7%)	75 (4.0%)	4,206 (6.4%)
人口 規模	～9	534 (72.8%)	452 (27.8%)	653 (5.4%)	318 (0.7%)	305 (5.8%)	29 (1.6%)	2,291 (3.5%)
	10～24	72 (9.8%)	774 (47.5%)	2,734 (22.5%)	1,922 (4.4%)	456 (8.7%)	101 (5.4%)	6,059 (9.3%)
	25～49	61 (8.3%)	285 (17.5%)	3,960 (32.7%)	6,174 (14.1%)	676 (12.9%)	238 (12.8%)	11,394 (17.4%)
	50～99	57 (7.8%)	93 (5.7%)	2,949 (24.3%)	11,595 (26.4%)	886 (17.0%)	278 (15.0%)	15,858 (24.2%)
	100～199	10 (1.4%)	16 (1.0%)	1,268 (10.5%)	12,144 (27.7%)	1,079 (20.6%)	209 (11.3%)	14,726 (22.5%)
	200～499	0 (0.0%)	8 (0.5%)	493 (4.1%)	8,731 (19.9%)	1,131 (21.6%)	205 (11.1%)	10,568 (16.1%)
	500～999	0 (0.0%)	0 (0.0%)	58 (0.5%)	2,145 (4.9%)	479 (9.2%)	56 (3.0%)	2,738 (4.2%)
1000～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (0.1%)	844 (1.9%)	214 (4.1%)	27 (1.5%)	1,095 (1.7%)	
世帯 数規模	～9	563 (76.7%)	829 (50.9%)	2,271 (18.7%)	2,198 (5.0%)	745 (14.3%)	105 (5.7%)	6,711 (10.3%)
	10～19	30 (4.1%)	522 (32.1%)	3,825 (31.5%)	6,556 (14.9%)	689 (13.2%)	255 (13.8%)	11,877 (18.1%)
	20～29	21 (2.9%)	132 (8.1%)	2,209 (18.2%)	6,465 (14.7%)	526 (10.1%)	155 (8.4%)	9,508 (14.5%)
	30～49	46 (6.3%)	55 (3.4%)	1,887 (15.6%)	9,321 (21.2%)	673 (12.9%)	174 (9.4%)	12,156 (18.6%)
	50～99	58 (7.9%)	63 (3.9%)	1,220 (10.1%)	10,117 (23.1%)	1,012 (19.4%)	185 (10.0%)	12,655 (19.3%)
	100～199	9 (1.2%)	11 (0.7%)	433 (3.6%)	5,426 (12.4%)	787 (15.1%)	159 (8.6%)	6,825 (10.4%)
	200～499	0 (0.0%)	3 (0.2%)	126 (1.0%)	2,637 (6.0%)	548 (10.5%)	73 (3.9%)	3,387 (5.2%)
500～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (0.1%)	639 (1.5%)	158 (3.0%)	21 (1.1%)	826 (1.3%)	
地域 区分	山間地	473 (64.4%)	1,157 (71.1%)	6,275 (51.8%)	10,946 (24.9%)	716 (13.7%)	464 (25.0%)	20,031 (30.6%)
	中間地	128 (17.4%)	320 (19.7%)	3,370 (27.8%)	13,603 (31.0%)	1,204 (23.0%)	549 (29.6%)	19,174 (29.3%)
	平地	117 (15.9%)	129 (7.9%)	2,123 (17.5%)	15,367 (35.0%)	2,451 (46.9%)	538 (29.0%)	20,725 (31.7%)
	都市的地域	14 (1.9%)	21 (1.3%)	336 (2.8%)	3,742 (8.5%)	822 (15.7%)	236 (12.7%)	5,171 (7.9%)
転入 者	転入者がいる	87 (11.9%)	378 (23.2%)	4,555 (37.6%)	18,651 (42.5%)	2,009 (38.4%)	359 (19.4%)	26,039 (39.8%)
	転入者がいない	285 (38.8%)	476 (29.2%)	1,542 (12.7%)	1,570 (3.6%)	205 (3.9%)	67 (3.6%)	4,145 (6.3%)
サポ ート 人材	集落支援員	140 (19.1%)	366 (22.5%)	2,418 (19.9%)	5,743 (13.1%)	635 (12.2%)	211 (11.4%)	9,513 (14.5%)
	地域おこし協力隊	179 (24.4%)	369 (22.7%)	2,626 (21.7%)	6,953 (15.8%)	772 (14.8%)	140 (7.6%)	11,039 (16.9%)
	その他のサポート人材	42 (5.7%)	88 (5.4%)	390 (3.2%)	1,110 (2.5%)	93 (1.8%)	27 (1.5%)	1,750 (2.7%)
集落 機能	良好	222 (30.2%)	593 (36.4%)	7,751 (63.9%)	38,899 (88.7%)	4,726 (90.4%)	1,530 (82.5%)	53,721 (82.1%)
	機能低下	121 (16.5%)	553 (34.0%)	3,266 (26.9%)	4,128 (9.4%)	324 (6.2%)	209 (11.3%)	8,601 (13.1%)
	機能維持困難	377 (51.4%)	477 (29.3%)	1,063 (8.8%)	690 (1.6%)	158 (3.0%)	34 (1.8%)	2,799 (4.3%)
本庁 まで の 距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	91 (12.4%)	138 (8.5%)	1,970 (16.2%)	14,567 (33.2%)	2,699 (51.6%)	347 (18.7%)	19,812 (30.3%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	128 (17.4%)	231 (14.2%)	2,279 (18.8%)	10,541 (24.0%)	1,020 (19.5%)	310 (16.7%)	14,509 (22.2%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	212 (28.9%)	490 (30.1%)	3,745 (30.9%)	11,367 (25.9%)	941 (18.0%)	313 (16.9%)	17,068 (26.1%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	299 (40.7%)	765 (47.0%)	4,054 (33.4%)	7,020 (16.0%)	526 (10.1%)	505 (27.2%)	13,169 (20.1%)
地形	地形的末端である	200 (27.2%)	346 (21.3%)	1,366 (11.3%)	1,915 (4.4%)	128 (2.4%)	78 (4.2%)	4,033 (6.2%)
	地形的末端でない	534 (72.8%)	1,282 (78.7%)	10,759 (88.7%)	41,958 (95.6%)	5,098 (97.6%)	1,776 (95.8%)	61,407 (93.8%)
全体(割合の基数)		734 (100.0%)	1,628 (100.0%)	12,125 (100.0%)	43,873 (100.0%)	5,226 (100.0%)	1,854 (100.0%)	65,440 (100.0%)

■:65歳以上人口割合が50%以上の集落に特に顕著な特性

※不明・無回答は掲載していない

### ⑥75歳以上人口割合別 集落数

- 集落人口に占める75歳以上人口割合別の集落数をみると、全体では75歳以上人口割合が50%以上の集落は4.9%であり、100%(集落住民全員が75歳以上)という集落も280集落(0.4%)みられた。
- 地方ブロック別に75歳以上人口割合別の集落数をみると、四国圏及び中国圏において、75歳以上人口割合が30%以上と高い集落が占める割合が、他の地方ブロックに比べて高い。一方で、東北圏や北海道、沖縄県では、75歳以上人口割合が比較的低い集落が占める割合が、他の地方ブロックより高くなっている。

図表 3-52 地方ブロック別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 75歳以上 の割合							計	【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	72 (1.9%)	215 (5.5%)	1,356 (35.0%)	1,440 (37.2%)	553 (14.3%)	99 (2.6%)	141 (3.6%)	3,876 (100.0%)	3,636 (93.8%)	99 (2.6%)	8 (0.2%)
2 東北圏	130 (0.9%)	546 (3.7%)	5,500 (37.6%)	6,195 (42.4%)	1,769 (12.1%)	315 (2.2%)	163 (1.1%)	14,618 (100.0%)	14,140 (96.7%)	315 (2.2%)	28 (0.2%)
3 首都圏	11 (0.5%)	86 (3.5%)	682 (28.1%)	812 (33.5%)	348 (14.4%)	110 (4.5%)	374 (15.4%)	2,423 (100.0%)	1,939 (80.0%)	110 (4.5%)	4 (0.2%)
4 北陸圏	35 (1.9%)	68 (3.2%)	529 (29.2%)	724 (40.0%)	356 (19.6%)	99 (5.5%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)	1,712 (94.5%)	99 (5.5%)	18 (1.0%)
5 中部圏	60 (1.5%)	109 (2.8%)	989 (25.3%)	1,396 (35.8%)	927 (23.7%)	234 (6.0%)	189 (4.8%)	3,904 (100.0%)	3,481 (89.2%)	234 (6.0%)	23 (0.6%)
6 近畿圏	22 (0.7%)	100 (3.2%)	839 (26.5%)	1,254 (39.6%)	637 (20.1%)	201 (6.3%)	115 (3.6%)	3,168 (100.0%)	2,852 (90.0%)	201 (6.3%)	15 (0.5%)
7 中国圏	340 (2.7%)	626 (4.9%)	3,046 (23.8%)	4,673 (36.5%)	3,146 (24.6%)	868 (6.8%)	95 (0.7%)	12,794 (100.0%)	11,831 (92.5%)	868 (6.8%)	80 (0.6%)
8 四国圏	112 (1.6%)	301 (4.2%)	1,749 (24.4%)	2,488 (34.7%)	1,724 (24.0%)	712 (9.9%)	91 (1.3%)	7,177 (100.0%)	6,374 (88.8%)	712 (9.9%)	68 (0.9%)
9 九州圏	184 (1.2%)	700 (4.5%)	4,538 (29.5%)	5,812 (37.8%)	2,944 (19.1%)	548 (3.6%)	659 (4.3%)	15,385 (100.0%)	14,178 (92.2%)	548 (3.6%)	36 (0.2%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	35 (12.4%)	133 (47.0%)	64 (22.6%)	15 (5.3%)	3 (1.1%)	32 (11.3%)	283 (100.0%)	248 (87.6%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)
合計	967 (1.5%)	2,786 (4.3%)	19,361 (29.6%)	24,858 (38.0%)	12,419 (19.0%)	3,189 (4.9%)	1,860 (2.8%)	65,440 (100.0%)	60,391 (92.3%)	3,189 (4.9%)	280 (0.4%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
- :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に75歳以上人口割合別の集落数をみると、が占める割合は、「一部過疎」では、75歳以上人口割合が50%以上の集落の割合が6.6%と他の過疎区分と比べて最も高くなっている。

図表 3-53 過疎区分別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数

過疎区分別	集落人口に占める 75歳以上 の割合							計	【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
過疎地域	936 (1.5%)	2,545 (4.1%)	17,669 (28.5%)	24,047 (38.8%)	12,225 (19.7%)	3,123 (5.0%)	1,375 (2.2%)	61,920 (100.0%)	57,422 (92.7%)	3,123 (5.0%)	276 (0.4%)
過疎	751 (1.6%)	1,938 (4.1%)	13,125 (28.0%)	18,288 (39.1%)	9,699 (20.7%)	2,388 (5.1%)	642 (1.4%)	46,831 (100.0%)	43,801 (93.5%)	2,388 (5.1%)	208 (0.4%)
みなし過疎	60 (0.9%)	368 (5.5%)	2,658 (39.4%)	2,705 (40.1%)	726 (10.8%)	185 (2.7%)	49 (0.7%)	6,751 (100.0%)	6,517 (96.5%)	185 (2.7%)	22 (0.3%)
一部過疎	125 (1.5%)	239 (2.9%)	1,886 (22.6%)	3,054 (36.6%)	1,800 (21.6%)	550 (6.6%)	684 (8.2%)	8,338 (100.0%)	7,104 (85.2%)	550 (6.6%)	46 (0.6%)
前過疎・旧過疎	31 (0.9%)	241 (6.8%)	1,692 (48.1%)	811 (23.0%)	194 (5.5%)	66 (1.9%)	485 (13.8%)	3,520 (100.0%)	2,969 (84.3%)	66 (1.9%)	4 (0.1%)
現一部過疎の 非過疎地域	24 (0.8%)	196 (6.8%)	1,413 (49.4%)	588 (20.5%)	148 (5.2%)	54 (1.9%)	439 (15.3%)	2,862 (100.0%)	2,369 (82.8%)	54 (1.9%)	2 (0.1%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	7 (1.1%)	45 (6.8%)	279 (42.4%)	223 (33.9%)	46 (7.0%)	12 (1.8%)	46 (7.0%)	658 (100.0%)	600 (91.2%)	12 (1.8%)	2 (0.3%)
合計	967 (1.5%)	2,786 (4.3%)	19,361 (29.6%)	24,858 (38.0%)	12,419 (19.0%)	3,189 (4.9%)	1,860 (2.8%)	65,440 (100.0%)	60,391 (92.3%)	3,189 (4.9%)	280 (0.4%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

■ 集落類型別に75歳以上人口割合別の集落数をみると、基礎集落では、75歳以上人口割合が30%以上の集落が占める割合が25.8%と他の集落類型と比べて最も大きく、75歳以上人口割合が50%を超えている集落は5.6%を占めている。

■ 一方、中心集落では、75歳以上人口割合が20%未満の集落が、半数近くとなっている。

図表 3-54 集落類型別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 75歳以上 の割合							計	【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
基礎集落	897 (1.7%)	2,348 (4.3%)	15,056 (27.8%)	20,276 (37.5%)	10,897 (20.2%)	3,039 (5.6%)	1,563 (2.9%)	54,076 (100.0%)	49,474 (91.5%)	3,039 (5.6%)	276 (0.5%)
基幹集落	37 (0.5%)	255 (3.7%)	2,406 (35.4%)	2,828 (41.6%)	1,021 (15.0%)	100 (1.5%)	159 (2.3%)	6,806 (100.0%)	6,547 (96.2%)	100 (1.5%)	2 (0.0%)
中心集落	28 (0.7%)	167 (4.0%)	1,805 (42.9%)	1,645 (39.1%)	449 (10.7%)	36 (0.9%)	76 (1.8%)	4,206 (100.0%)	4,094 (97.3%)	36 (0.9%)	1 (0.0%)
無回答	5 (1.4%)	16 (4.5%)	94 (26.7%)	109 (31.0%)	52 (14.8%)	14 (4.0%)	62 (17.6%)	352 (100.0%)	276 (78.4%)	14 (4.0%)	1 (0.3%)
合計	967 (1.5%)	2,786 (4.3%)	19,361 (29.6%)	24,858 (38.0%)	12,419 (19.0%)	3,189 (4.9%)	1,860 (2.8%)	65,440 (100.0%)	60,391 (92.3%)	3,189 (4.9%)	280 (0.4%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

■ 地域区別に75歳以上人口割合別の集落数をみると、都市的地域にある集落では、75歳以上人口割合が20%未満の集落が6割近くを占めているのに対して、山間地集落では、75歳以上人口割合が30%以上の集落が4割超を占めており、100%(集落住民全員が75歳以上)という集落も1.1%ある。

図表 3-55 地域区分別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 75歳以上 の割合							計	【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
山間地	266 (1.3%)	323 (1.6%)	3,154 (15.7%)	7,288 (36.4%)	6,298 (31.4%)	2,238 (11.2%)	464 (2.3%)	20,031 (100.0%)	17,329 (86.5%)	2,238 (11.2%)	211 (1.1%)
中間地	238 (1.2%)	635 (3.3%)	5,500 (28.7%)	8,033 (41.9%)	3,620 (18.9%)	599 (3.1%)	549 (2.9%)	19,174 (100.0%)	18,026 (94.0%)	599 (3.1%)	41 (0.2%)
平地	352 (1.7%)	1,360 (6.6%)	8,184 (39.5%)	7,843 (37.8%)	2,126 (10.3%)	316 (1.5%)	544 (2.6%)	20,725 (100.0%)	19,865 (95.9%)	316 (1.5%)	24 (0.1%)
都市的地域	109 (2.1%)	453 (8.8%)	2,422 (46.8%)	1,570 (30.4%)	348 (6.7%)	33 (0.6%)	236 (4.6%)	5,171 (100.0%)	4,902 (94.8%)	33 (0.6%)	4 (0.1%)
無回答	2 (0.6%)	15 (4.4%)	101 (29.8%)	124 (36.6%)	27 (8.0%)	3 (0.9%)	67 (19.8%)	339 (100.0%)	269 (79.4%)	3 (0.9%)	0 (0.0%)
合計	967 (1.5%)	2,786 (4.3%)	19,361 (29.6%)	24,858 (38.0%)	12,419 (19.0%)	3,189 (4.9%)	1,860 (2.8%)	65,440 (100.0%)	60,391 (92.3%)	3,189 (4.9%)	280 (0.4%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 役場(本庁)までの距離別に 75 歳以上人口割合別の集落数をみると、役場(本庁)から遠距離にある集落ほど、75 歳以上人口割合が 30%以上の集落が占める割合は高くなる傾向がみられる。

図表 3-56 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 75歳以上 の割合							【再掲】75歳以上割合			
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	325 (1.6%)	1,485 (7.5%)	8,385 (42.3%)	7,026 (35.5%)	1,951 (9.8%)	292 (1.5%)	348 (1.8%)	19,812 (100.0%)	19,172 (96.8%)	292 (1.5%)	25 (0.1%)
5km以上 10km未満	219 (1.5%)	537 (3.7%)	4,529 (31.2%)	6,022 (41.5%)	2,401 (16.5%)	491 (3.4%)	310 (2.1%)	14,509 (100.0%)	13,708 (94.5%)	491 (3.4%)	41 (0.3%)
10km以上 20km未満	225 (1.3%)	505 (3.0%)	4,200 (24.6%)	6,869 (40.2%)	3,944 (23.1%)	1,007 (5.9%)	318 (1.9%)	17,068 (100.0%)	15,743 (92.2%)	1,007 (5.9%)	85 (0.5%)
20km以上	191 (1.5%)	226 (1.7%)	2,065 (15.7%)	4,739 (36.0%)	4,052 (30.8%)	1,391 (10.6%)	505 (3.8%)	13,169 (100.0%)	11,273 (85.6%)	1,391 (10.6%)	127 (1.0%)
無回答	7 (0.8%)	33 (3.7%)	182 (20.6%)	202 (22.9%)	71 (8.0%)	8 (0.9%)	379 (43.0%)	882 (100.0%)	495 (56.1%)	8 (0.9%)	2 (0.2%)
合計	967 (1.5%)	2,786 (4.3%)	19,361 (29.6%)	24,858 (38.0%)	12,419 (19.0%)	3,189 (4.9%)	1,860 (2.8%)	65,440 (100.0%)	60,391 (92.3%)	3,189 (4.9%)	280 (0.4%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい本庁までの距離区分

- 転入者の有無別に 75 歳以上人口割合別の集落数をみると、転入者がいるとされる集落では、75 歳以上人口割合が 30%未満の集落が 8 割近くを占める。

図表 3-57 転入者の有無別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数

全体	集落人口に占める 75歳以上 の割合							【再掲】75歳以上割合			
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
転入者あり	258 (1.0%)	1,084 (4.2%)	7,875 (30.2%)	10,832 (41.6%)	4,918 (18.9%)	713 (2.7%)	359 (1.4%)	26,039 (100.0%)	24,967 (95.9%)	713 (2.7%)	17 (0.1%)
転入者なし	161 (3.9%)	81 (2.0%)	524 (12.6%)	1,084 (26.2%)	1,309 (31.6%)	919 (22.2%)	67 (1.6%)	4,145 (100.0%)	3,159 (76.2%)	919 (22.2%)	136 (3.3%)
わからない	527 (1.6%)	1,544 (4.6%)	10,487 (31.3%)	12,315 (36.8%)	5,907 (17.6%)	1,499 (4.5%)	1,193 (3.6%)	33,472 (100.0%)	30,780 (92.0%)	1,499 (4.5%)	124 (0.4%)
無回答	21 (1.2%)	77 (4.3%)	475 (26.6%)	627 (35.1%)	285 (16.0%)	58 (3.3%)	241 (13.5%)	1,784 (100.0%)	1,485 (83.2%)	58 (3.3%)	3 (0.2%)
合計	967 (1.5%)	2,786 (4.3%)	19,361 (29.6%)	24,858 (38.0%)	12,419 (19.0%)	3,189 (4.9%)	1,860 (2.8%)	65,440 (100.0%)	60,391 (92.3%)	3,189 (4.9%)	280 (0.4%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)



⑦75歳以上人口割合の高い集落の特性

- 75歳以上人口の割合が50%以上の集落の特性をみると、人口規模、世帯数規模ともに小さく、役場(本庁)から遠距離にあり、山間地集落や基礎集落が多いといえる。また、集落機能の維持が困難、もしくは低下している集落の割合や、集落支援員や地域おこし協力隊等のサポート人材が活動している集落の割合も、75歳以上人口割合が50%以下の区分と比較して高くなっている。
- 75歳以上人口割合が100%(集落住民全員が75歳以上)の集落のほとんどが、人口10人未満、世帯数10世帯未満の基礎集落で、集落機能の維持が困難な状況にある集落の割合が67.9%と7割近くにのぼっている。

図表 3-58 75歳以上人口割合の高い集落の主要特性

		75歳以上人口割合の区分別 集落数				計
		100%	50%以上 100%未満	50%未満	無回答	
集落 類型	基礎集落	276 (98.6%)	2,763 (95.0%)	49,474 (81.9%)	1,563 (84.0%)	54,076 (82.6%)
	基幹集落	2 (0.7%)	98 (3.4%)	6,547 (10.8%)	159 (8.5%)	6,806 (10.4%)
	中心集落	1 (0.4%)	35 (1.2%)	4,094 (6.8%)	76 (4.1%)	4,206 (6.4%)
人口 規模	～9	258 (92.1%)	798 (27.4%)	1,206 (2.0%)	29 (1.6%)	2,291 (3.5%)
	10～24	12 (4.3%)	1,185 (40.7%)	4,761 (7.9%)	101 (5.4%)	6,059 (9.3%)
	25～49	7 (2.5%)	578 (19.9%)	10,571 (17.5%)	238 (12.8%)	11,394 (17.4%)
	50～99	3 (1.1%)	259 (8.9%)	15,318 (25.4%)	278 (14.9%)	15,858 (24.2%)
	100～199	0 (0.0%)	69 (2.4%)	14,447 (23.9%)	210 (11.3%)	14,726 (22.5%)
	200～499	0 (0.0%)	20 (0.7%)	10,341 (17.1%)	207 (11.1%)	10,568 (16.1%)
	500～999	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2,681 (4.4%)	57 (3.1%)	2,738 (4.2%)
	1000～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,066 (1.8%)	29 (1.6%)	1,095 (1.7%)
世帯 数規模	～9	258 (92.1%)	1,408 (48.4%)	4,940 (8.2%)	105 (5.6%)	6,711 (10.3%)
	10～19	5 (1.8%)	822 (28.3%)	10,795 (17.9%)	255 (13.7%)	11,877 (18.1%)
	20～29	5 (1.8%)	269 (9.2%)	9,079 (15.0%)	155 (8.3%)	9,508 (14.5%)
	30～49	4 (1.4%)	165 (5.7%)	11,813 (19.6%)	174 (9.4%)	12,156 (18.6%)
	50～99	3 (1.1%)	178 (6.1%)	12,288 (20.3%)	186 (10.0%)	12,655 (19.3%)
	100～199	0 (0.0%)	40 (1.4%)	6,624 (11.0%)	161 (8.7%)	6,825 (10.4%)
	200～499	0 (0.0%)	6 (0.2%)	3,307 (5.5%)	74 (4.0%)	3,387 (5.2%)
	500～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	803 (1.3%)	23 (1.2%)	826 (1.3%)
地域 区分	山間地	211 (75.4%)	2,027 (69.7%)	17,329 (28.7%)	464 (24.9%)	20,031 (30.6%)
	中間地	41 (14.6%)	558 (19.2%)	18,026 (29.8%)	549 (29.5%)	19,174 (29.3%)
	平地	24 (8.6%)	292 (10.0%)	19,865 (32.9%)	544 (29.2%)	20,725 (31.7%)
	都市的地域	4 (1.4%)	29 (1.0%)	4,902 (8.1%)	236 (12.7%)	5,171 (7.9%)
転入 者	転入者がいる	17 (6.1%)	696 (23.9%)	24,967 (41.3%)	359 (19.3%)	26,039 (39.8%)
	転入者はいない	136 (48.6%)	783 (26.9%)	3,159 (5.2%)	67 (3.6%)	4,145 (6.3%)
サ ポ ー ト 人 材	集落支援員	57 (20.4%)	638 (21.9%)	8,607 (14.3%)	211 (11.3%)	9,513 (14.5%)
	地域おこし協力隊	77 (27.5%)	662 (22.8%)	10,160 (16.8%)	140 (7.5%)	11,039 (16.9%)
	その他のサポート人材	13 (4.6%)	143 (4.9%)	1,567 (2.6%)	27 (1.5%)	1,750 (2.7%)
集落 機能	良好	44 (15.7%)	1,085 (37.3%)	51,056 (84.5%)	1,536 (82.6%)	53,721 (82.1%)
	機能低下	43 (15.4%)	977 (33.6%)	7,372 (12.2%)	209 (11.2%)	8,601 (13.1%)
	機能維持困難	190 (67.9%)	827 (28.4%)	1,748 (2.9%)	34 (1.8%)	2,799 (4.3%)
本 庁 ま で の 距 離	5 <sup>世帯</sup> 未満	25 (8.9%)	267 (9.2%)	19,172 (31.7%)	348 (18.7%)	19,812 (30.3%)
	5 <sup>世帯</sup> 以上10 <sup>世帯</sup> 未満	41 (14.6%)	450 (15.5%)	13,708 (22.7%)	310 (16.7%)	14,509 (22.2%)
	10 <sup>世帯</sup> 以上20 <sup>世帯</sup> 未満	85 (30.4%)	922 (31.7%)	15,743 (26.1%)	318 (17.1%)	17,068 (26.1%)
	20 <sup>世帯</sup> 以上	127 (45.4%)	1,264 (43.5%)	11,273 (18.7%)	505 (27.2%)	13,169 (20.1%)
地 形	地形的末端である	98 (35.0%)	607 (20.9%)	3,249 (5.4%)	79 (4.2%)	4,033 (6.2%)
	地形的末端でない	182 (65.0%)	2,302 (79.1%)	57,142 (94.6%)	1,781 (95.8%)	61,407 (93.8%)
全体(割合の基数)		280 (100.0%)	2,909 (100.0%)	60,391 (100.0%)	1,860 (100.0%)	65,440 (100.0%)

75歳以上人口割合が50%以上の集落に特に顕著な特性

※不明・無回答は掲載していない

(5) 近年の転入の状況

① 転入の有無別 集落数

- 平成 22 年以降の転入状況を見ると、全体では、転入者の有無について「わからない」(近年の転入の有無について把握されていない)という集落が5割超であり、近年転入してきた者がいるとされる集落が39.8%ある。
- 地方ブロック別に転入者の有無別集落数を見ると、北陸圏や中部圏で、転入者がいるとされる集落の割合が、他の地方ブロックと比べて高くなっている。

図表 3-59 地方ブロック別・転入者の有無別 集落数

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
1 北海道	1,763 (45.5%)	276 (7.1%)	1,656 (42.7%)	181 (4.7%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	5,529 (37.8%)	712 (4.9%)	7,948 (54.4%)	429 (2.9%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	799 (33.0%)	43 (1.8%)	1,377 (56.8%)	204 (8.4%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	1,001 (55.2%)	206 (11.4%)	605 (33.4%)	0 (0.0%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	1,792 (45.9%)	296 (7.6%)	1,782 (45.6%)	34 (0.9%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	1,164 (36.7%)	136 (4.3%)	1,847 (58.3%)	21 (0.7%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	4,538 (35.5%)	1,123 (8.8%)	6,953 (54.3%)	180 (1.4%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	3,062 (42.7%)	614 (8.6%)	3,277 (45.7%)	224 (3.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	6,302 (41.0%)	731 (4.8%)	7,949 (51.7%)	403 (2.6%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	89 (31.4%)	8 (2.8%)	78 (27.6%)	108 (38.2%)	283 (100.0%)
合計	26,039 (39.8%)	4,145 (6.3%)	33,472 (51.1%)	1,784 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
 ■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に転入者の有無別集落数を見ると、「過疎」では転入者がいるとされる集落の割合が 41.7%と他の過疎区分と比べて最も高く、次いで、「一部過疎」が40.8%となっている。一方、「現一部過疎の非過疎地域」は「わからない」の割合が他の過疎区分と比べて高くなっている。

図表 3-60 過疎区分別・転入者の有無別 集落数

過疎区分別	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
過疎地域	25,374 (41.0%)	4,111 (6.6%)	30,664 (49.5%)	1,771 (2.9%)	61,920 (100.0%)
過疎	19,534 (41.7%)	2,864 (6.1%)	22,870 (48.8%)	1,563 (3.3%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	2,434 (36.1%)	303 (4.5%)	3,839 (56.9%)	175 (2.6%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	3,406 (40.8%)	944 (11.3%)	3,955 (47.4%)	33 (0.4%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	665 (18.9%)	34 (1.0%)	2,808 (79.8%)	13 (0.4%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	413 (14.4%)	9 (0.3%)	2,440 (85.3%)	0 (0.0%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	252 (38.3%)	25 (3.8%)	368 (55.9%)	13 (2.0%)	658 (100.0%)
合計	26,039 (39.8%)	4,145 (6.3%)	33,472 (51.1%)	1,784 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に転入者の有無別集落数をみると、中心集落では、転入者がいるとされる集落の割合が42.9%と他の集落類型と比べて最も高くなっている。また、基幹集落では43.7%の集落で、基礎集落でも39%の集落で、近年転入者がいるとされている。

図表 3-61 集落類型別・転入者の有無別 集落数

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
基礎集落	21,095 (39.0%)	3,864 (7.1%)	27,588 (51.0%)	1,529 (2.8%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	2,973 (43.7%)	196 (2.9%)	3,500 (51.4%)	137 (2.0%)	6,806 (100.0%)
中心集落	1,806 (42.9%)	78 (1.9%)	2,257 (53.7%)	65 (1.5%)	4,206 (100.0%)
無回答	165 (46.9%)	7 (2.0%)	127 (36.1%)	53 (15.1%)	352 (100.0%)
合計	26,039 (39.8%)	4,145 (6.3%)	33,472 (51.1%)	1,784 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に転入者の有無別集落数をみると、平地集落では、転入者がいるとされる集落の割合が42.5%と他の地域区分と比べて最も高くなっており、中間地集落においても4割を超えている。また山間地集落においても、近年転入者がいるとされる集落が37.1%ある。
- 都市的地域にある集落では、「わからない」が6割超を占めており、転入者がいるとされる集落の割合は32.8%と、山間地集落における割合よりも低くなっている。

図表 3-62 地域区分別・転入者の有無別 集落数

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
山間地	7,435 (37.1%)	2,378 (11.9%)	9,745 (48.6%)	473 (2.4%)	20,031 (100.0%)
中間地	7,914 (41.3%)	1,035 (5.4%)	9,559 (49.9%)	666 (3.5%)	19,174 (100.0%)
平地	8,799 (42.5%)	675 (3.3%)	10,746 (51.9%)	505 (2.4%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	1,697 (32.8%)	42 (0.8%)	3,367 (65.1%)	65 (1.3%)	5,171 (100.0%)
無回答	194 (57.2%)	15 (4.4%)	55 (16.2%)	75 (22.1%)	339 (100.0%)
合計	26,039 (39.8%)	4,145 (6.3%)	33,472 (51.1%)	1,784 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 集落の人口規模別に転入者の有無別集落数をみると、人口 100 人以上の集落では、転入者がいるとされる集落の割合が 45%を超えており、人口 1,000 人以上の集落では 49.8%と、他の人口規模区分と比べて最も高くなっている。
- 人口 10 人以上 100 人未満の人口規模の集落においても、転入者がいるとされる集落の割合が、転入者がいないとされる集落の割合よりも多く、約3～4割で近年転入者がいるとされている。

図表 3-63 集落の人口規模別・転入者の有無別 集落数

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
～9	324 (14.1%)	859 (37.5%)	1,061 (46.3%)	47 (2.1%)	2,291 (100.0%)
10～24	1,502 (24.8%)	1,266 (20.9%)	3,155 (52.1%)	136 (2.2%)	6,059 (100.0%)
25～49	3,965 (34.8%)	1,178 (10.3%)	5,944 (52.2%)	307 (2.7%)	11,394 (100.0%)
50～99	6,721 (42.4%)	583 (3.7%)	8,115 (51.2%)	439 (2.8%)	15,858 (100.0%)
100～199	6,824 (46.3%)	179 (1.2%)	7,347 (49.9%)	376 (2.6%)	14,726 (100.0%)
200～499	4,848 (45.9%)	56 (0.5%)	5,419 (51.3%)	245 (2.3%)	10,568 (100.0%)
500～999	1,234 (45.1%)	3 (0.1%)	1,426 (52.1%)	75 (2.7%)	2,738 (100.0%)
1000～	545 (49.8%)	1 (0.1%)	509 (46.5%)	40 (3.7%)	1,095 (100.0%)
無回答	76 (10.7%)	20 (2.8%)	496 (69.8%)	119 (16.7%)	711 (100.0%)
合計	26,039 (39.8%)	4,145 (6.3%)	33,472 (51.1%)	1,784 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別に転入者の有無別集落数をみると、20 世帯以上の集落では、転入者がいるとされる集落の割合が4割を超えており、特に 500 世帯以上の規模の集落では 51.1%と他の世帯規模区分と比べて最も高くなっている。

図表 3-64 集落の世帯数規模別・転入者の有無別 集落数

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
～9	1,288 (19.2%)	1,790 (26.7%)	3,476 (51.8%)	157 (2.3%)	6,711 (100.0%)
10～19	3,812 (32.1%)	1,353 (11.4%)	6,408 (54.0%)	304 (2.6%)	11,877 (100.0%)
20～29	3,828 (40.3%)	481 (5.1%)	4,934 (51.9%)	265 (2.8%)	9,508 (100.0%)
30～49	5,400 (44.4%)	274 (2.3%)	6,140 (50.5%)	342 (2.8%)	12,156 (100.0%)
50～99	6,065 (47.9%)	137 (1.1%)	6,142 (48.5%)	311 (2.5%)	12,655 (100.0%)
100～199	3,171 (46.5%)	34 (0.5%)	3,487 (51.1%)	133 (1.9%)	6,825 (100.0%)
200～499	1,544 (45.6%)	7 (0.2%)	1,749 (51.6%)	87 (2.6%)	3,387 (100.0%)
500～	422 (51.1%)	1 (0.1%)	371 (44.9%)	32 (3.9%)	826 (100.0%)
無回答	509 (34.0%)	68 (4.5%)	765 (51.2%)	153 (10.2%)	1,495 (100.0%)
合計	26,039 (39.8%)	4,145 (6.3%)	33,472 (51.1%)	1,784 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者(65歳以上人口)の割合別に転入者の有無別集落数をみると、高齢者割合が低い集落の方が、転入者がいるとされる集落の割合が高く、高齢者割合50%未満の集落では42.1%と4割強の集落で近年転入者がいるとされている。
- ただし、高齢者割合が高い集落においても、近年転入者がいるとされる集落は存在しており、高齢者割合が100%(集落住民全員が65歳以上)の集落でも、1割強(11.9%)で転入者がいるとされている。

図表 3-65 高齢者割合別・転入者の有無別 集落数

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
50%未満	20,660 (42.1%)	1,775 (3.6%)	25,421 (51.8%)	1,243 (2.5%)	49,099 (100.0%)
50%以上	4,555 (37.6%)	1,542 (12.7%)	5,765 (47.5%)	263 (2.2%)	12,125 (100.0%)
75%未満	378 (23.2%)	476 (29.2%)	750 (46.1%)	24 (1.5%)	1,628 (100.0%)
75%以上	87 (11.9%)	285 (38.8%)	349 (47.5%)	13 (1.8%)	734 (100.0%)
100%未満	359 (19.4%)	67 (3.6%)	1,187 (64.0%)	241 (13.0%)	1,854 (100.0%)
100%	26,039 (39.8%)	4,145 (6.3%)	33,472 (51.1%)	1,784 (2.7%)	65,440 (100.0%)
無回答					
合計					

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 役場(本庁)までの距離別に転入者の有無別集落数をみると、役場(本庁)から20km未満の集落では、近年転入者がいるとされる集落の割合が4割超となっており、特に役場(本庁)から5km未満の集落では、42.5%と他の距離区分と比べて最も高くなっている。
- なお、役場(本庁)から20km以上と遠距離にある集落においても、約3分の1の集落では転入者がいるとされている。

図表 3-66 役場(本庁)までの距離別・転入者の有無別 集落数

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
5km未満	8,415 (42.5%)	543 (2.7%)	10,130 (51.1%)	724 (3.7%)	19,812 (100.0%)
5km以上	5,890 (40.6%)	781 (5.4%)	7,385 (50.9%)	453 (3.1%)	14,509 (100.0%)
10km未満	7,146 (41.9%)	1,336 (7.8%)	8,145 (47.7%)	441 (2.6%)	17,068 (100.0%)
10km以上	4,504 (34.2%)	1,463 (11.1%)	7,079 (53.8%)	123 (0.9%)	13,169 (100.0%)
20km未満	84 (9.5%)	22 (2.5%)	733 (83.1%)	43 (4.9%)	882 (100.0%)
20km以上	26,039 (39.8%)	4,145 (6.3%)	33,472 (51.1%)	1,784 (2.7%)	65,440 (100.0%)
無回答					
合計					

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい本庁までの距離区分

②近年転入がみられる集落の特性

■ 転入者がいるとされる集落の特性をみると、集落類型では基礎集落が 8 割を占めており、地域的には、山間地、中間地、平地のいずれにおいても一定の転入がみられる。また人口 100 人以上、世帯数 50 世帯以上の集落が半数前後を占めているが、約 2割は人口 50 人未満、20 世帯未満の比較的小規模な集落である。

図表 3-67 近年転入がみられる集落の主要特性

		転入者の有無別 集落数				計
		転入者がいる	転入者はいない	わからない	無回答	
集落類型	基礎集落	21,095 (81.0%)	3,864 (93.2%)	27,588 (82.4%)	1,529 (85.7%)	54,076 (82.6%)
	基幹集落	2,973 (11.4%)	196 (4.7%)	3,500 (10.5%)	137 (7.7%)	6,806 (10.4%)
	中心集落	1,806 (6.9%)	78 (1.9%)	2,257 (6.7%)	65 (3.6%)	4,206 (6.4%)
人口規模	～9	324 (1.2%)	859 (20.7%)	1,061 (3.2%)	47 (2.6%)	2,291 (3.5%)
	10～24	1,502 (5.8%)	1,266 (30.5%)	3,155 (9.4%)	136 (7.6%)	6,059 (9.3%)
	25～49	3,965 (15.2%)	1,178 (28.4%)	5,944 (17.8%)	307 (17.2%)	11,394 (17.4%)
	50～99	6,721 (25.8%)	583 (14.1%)	8,115 (24.2%)	439 (24.6%)	15,858 (24.2%)
	100～199	6,824 (26.2%)	179 (4.3%)	7,347 (21.9%)	376 (21.1%)	14,726 (22.5%)
	200～499	4,848 (18.6%)	56 (1.4%)	5,419 (16.2%)	245 (13.7%)	10,568 (16.1%)
	500～999	1,234 (4.7%)	3 (0.1%)	1,426 (4.3%)	75 (4.2%)	2,738 (4.2%)
	1000～	545 (2.1%)	1 (0.0%)	509 (1.5%)	40 (2.2%)	1,095 (1.7%)
世帯数規模	～9	1,288 (4.9%)	1,790 (43.2%)	3,476 (10.4%)	157 (8.8%)	6,711 (10.3%)
	10～19	3,812 (14.6%)	1,353 (32.6%)	6,408 (19.1%)	304 (17.0%)	11,877 (18.1%)
	20～29	3,828 (14.7%)	481 (11.6%)	4,934 (14.7%)	265 (14.9%)	9,508 (14.5%)
	30～49	5,400 (20.7%)	274 (6.6%)	6,140 (18.3%)	342 (19.2%)	12,156 (18.6%)
	50～99	6,065 (23.3%)	137 (3.3%)	6,142 (18.3%)	311 (17.4%)	12,655 (19.3%)
	100～199	3,171 (12.2%)	34 (0.8%)	3,487 (10.4%)	133 (7.5%)	6,825 (10.4%)
	200～499	1,544 (5.9%)	7 (0.2%)	1,749 (5.2%)	87 (4.9%)	3,387 (5.2%)
500～	422 (1.6%)	1 (0.0%)	371 (1.1%)	32 (1.8%)	826 (1.3%)	
地域区分	山間地	7,435 (28.6%)	2,378 (57.4%)	9,745 (29.1%)	473 (26.5%)	20,031 (30.6%)
	中間地	7,914 (30.4%)	1,035 (25.0%)	9,559 (28.6%)	666 (37.3%)	19,174 (29.3%)
	平地	8,799 (33.8%)	675 (16.3%)	10,746 (32.1%)	505 (28.3%)	20,725 (31.7%)
	都市的地域	1,697 (6.5%)	42 (1.0%)	3,367 (10.1%)	65 (3.6%)	5,171 (7.9%)
65歳以上割合	100%	87 (0.3%)	285 (6.9%)	349 (1.0%)	13 (0.7%)	734 (1.1%)
	75%以上100%未満	378 (1.5%)	476 (11.5%)	750 (2.2%)	24 (1.3%)	1,628 (2.5%)
	50%以上75%未満	4,555 (17.5%)	1,542 (37.2%)	5,765 (17.2%)	263 (14.7%)	12,125 (18.5%)
	25%以上50%未満	18,651 (71.6%)	1,570 (37.9%)	22,547 (67.4%)	1,105 (61.9%)	43,873 (67.0%)
	25%未満	2,009 (7.7%)	205 (4.9%)	2,874 (8.6%)	138 (7.7%)	5,226 (8.0%)
75歳以上	100%	17 (0.1%)	136 (3.3%)	124 (0.4%)	3 (0.2%)	280 (0.4%)
	50%以上100%未満	696 (2.7%)	783 (18.9%)	1,375 (4.1%)	55 (3.1%)	2,909 (4.4%)
	50%未満	24,967 (95.9%)	3,159 (76.2%)	30,780 (92.0%)	1,485 (83.2%)	60,391 (92.3%)
本庁までの距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	8,415 (32.3%)	543 (13.1%)	10,130 (30.3%)	724 (40.6%)	19,812 (30.3%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	5,890 (22.6%)	781 (18.8%)	7,385 (22.1%)	453 (25.4%)	14,509 (22.2%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	7,146 (27.4%)	1,336 (32.2%)	8,145 (24.3%)	441 (24.7%)	17,068 (26.1%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	4,504 (17.3%)	1,463 (35.3%)	7,079 (21.1%)	123 (6.9%)	13,169 (20.1%)
地形	地形的末端である	1,303 (5.0%)	567 (13.7%)	2,080 (6.2%)	83 (4.7%)	4,033 (6.2%)
	地形的末端でない	24,736 (95.0%)	3,578 (86.3%)	31,392 (93.8%)	1,701 (95.3%)	61,407 (93.8%)
全体(割合の基数)		26,039 (100.0%)	4,145 (100.0%)	33,472 (100.0%)	1,784 (100.0%)	65,440 (100.0%)

■: 転入者がいる集落において特徴的な特性

※不明・無回答は掲載していない

### ③子育て世帯の転入の有無別 集落数

- 平成22年以降に転入してきた世帯のうち、子育て世帯(高校生までの子どもがいる世帯)の転入があるかどうかをみると、全体の25.0%の集落で近年子育て世帯の転入があるとされている。
- 地方ブロック別に子育て世帯の転入の有無別集落数をみると、首都圏を除く全てのブロックで子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が2割を超えており、特に九州圏や北海道では3割近くと他の地方ブロックと比べて比較的高くなっている。

図表 3-68 地方ブロック別・子育て世帯の転入の有無別 集落数

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
1 北海道	1,093 (28.2%)	430 (11.1%)	1,708 (44.1%)	645 (16.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	3,403 (23.3%)	2,484 (17.0%)	7,856 (53.7%)	875 (6.0%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	360 (14.9%)	200 (8.3%)	1,614 (66.6%)	249 (10.3%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	505 (27.9%)	555 (30.6%)	582 (32.1%)	170 (9.4%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	997 (25.5%)	649 (16.6%)	2,116 (54.2%)	142 (3.6%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	763 (24.1%)	512 (16.2%)	1,663 (52.5%)	230 (7.3%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	2,916 (22.8%)	2,156 (16.9%)	6,021 (47.1%)	1,701 (13.3%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	1,702 (23.7%)	1,675 (23.3%)	3,243 (45.2%)	557 (7.8%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	4,530 (29.4%)	2,390 (15.5%)	7,431 (48.3%)	1,034 (6.7%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	80 (28.3%)	15 (5.3%)	80 (28.3%)	108 (38.2%)	283 (100.0%)
合計	16,349 (25.0%)	11,066 (16.9%)	32,314 (49.4%)	5,711 (8.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に子育て世帯の転入の有無別集落数をみると、「みなし過疎」では、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合は27.2%と他の過疎区分と比べて最も高く、「過疎」でも26.6%と比較的高い。

図表 3-69 過疎区分別・子育て世帯の転入の有無別 集落数

過疎区分別	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
過疎地域	15,947 (25.8%)	10,919 (17.6%)	29,532 (47.7%)	5,522 (8.9%)	61,920 (100.0%)
過疎	12,453 (26.6%)	7,952 (17.0%)	21,914 (46.8%)	4,512 (9.6%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	1,833 (27.2%)	1,048 (15.5%)	3,505 (51.9%)	365 (5.4%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	1,661 (19.9%)	1,919 (23.0%)	4,113 (49.3%)	645 (7.7%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	402 (11.4%)	147 (4.2%)	2,782 (79.0%)	189 (5.4%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の非過疎地域	255 (8.9%)	88 (3.1%)	2,345 (81.9%)	174 (6.1%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村の旧過疎地域	147 (22.3%)	59 (9.0%)	437 (66.4%)	15 (2.3%)	658 (100.0%)
合計	16,349 (25.0%)	11,066 (16.9%)	32,314 (49.4%)	5,711 (8.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に子育て世帯の転入の有無別集落数をみると、中心集落では子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が34.3%と他の集落類型に比べて最も高くなっているが、基礎集落においても、4分の1近くでは子育て世帯の転入があるとされている。

図表 3-70 集落類型別・子育て世帯の転入の有無別 集落数

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	計
基礎集落	12,598 (23.3%)	9,940 (18.4%)	26,467 (48.9%)	5,071 (9.4%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	2,156 (31.7%)	696 (10.2%)	3,581 (52.6%)	373 (5.5%)	6,806 (100.0%)
中心集落	1,444 (34.3%)	377 (9.0%)	2,175 (51.7%)	210 (5.0%)	4,206 (100.0%)
無回答	151 (42.9%)	53 (15.1%)	91 (25.9%)	57 (16.2%)	352 (100.0%)
合計	16,349 (25.0%)	11,066 (16.9%)	32,314 (49.4%)	5,711 (8.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に子育て世帯の転入の有無別集落数をみると、平地及び都市的地域では子育て世帯の転入があるとされる集落の割合は、3割近く、特に平地集落では29.0%となっており、山間地集落(17.6%)との開きが大きい。

図表 3-71 地域区分別・子育て世帯の転入の有無別 集落数

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	計
山間地	3,533 (17.6%)	4,675 (23.3%)	9,937 (49.6%)	1,886 (9.4%)	20,031 (100.0%)
中間地	5,241 (27.3%)	3,209 (16.7%)	8,709 (45.4%)	2,015 (10.5%)	19,174 (100.0%)
平地	6,012 (29.0%)	2,816 (13.6%)	10,325 (49.8%)	1,572 (7.6%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	1,454 (28.1%)	303 (5.9%)	3,257 (63.0%)	157 (3.0%)	5,171 (100.0%)
無回答	109 (32.2%)	63 (18.6%)	86 (25.4%)	81 (23.9%)	339 (100.0%)
合計	16,349 (25.0%)	11,066 (16.9%)	32,314 (49.4%)	5,711 (8.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 役場(本庁)までの距離別に子育て世帯の転入の有無別集落数をみると、役場に近くなるほど子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が高くなっているが、役場から20km以上離れた集落でも、14.3%で子育て世帯の転入があるとされている。

図表 3-72 役場(本庁)までの距離別・子育て世帯の転入の有無別 集落数

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	計
5km未満	6,572 (33.2%)	2,199 (11.1%)	9,558 (48.2%)	1,483 (7.5%)	19,812 (100.0%)
5km以上	3,833 (26.4%)	2,361 (16.3%)	7,076 (48.8%)	1,239 (8.5%)	14,509 (100.0%)
10km未満	3,910 (22.9%)	3,509 (20.6%)	7,971 (46.7%)	1,678 (9.8%)	17,068 (100.0%)
10km以上	1,878 (14.3%)	2,960 (22.5%)	7,083 (53.8%)	1,248 (9.5%)	13,169 (100.0%)
20km未満	156 (17.7%)	37 (4.2%)	626 (71.0%)	63 (7.1%)	882 (100.0%)
20km以上	16,349 (25.0%)	11,066 (16.9%)	32,314 (49.4%)	5,711 (8.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい本庁までの距離区分



- 集落の人口規模別に子育て世帯の転入の有無別集落数をみると、人口規模が100人以上の集落では、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が3割を超えている。また、人口規模100人未満の集落においても、子育て世帯の転入があるとされる集落は一定程度存在する。

図表 3-73 集落の人口規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	計
～9	51 (2.2%)	811 (35.4%)	991 (43.3%)	438 (19.1%)	2,291 (100.0%)
10～24	491 (8.1%)	1,769 (29.2%)	2,909 (48.0%)	890 (14.7%)	6,059 (100.0%)
25～49	1,745 (15.3%)	2,863 (25.1%)	5,496 (48.2%)	1,290 (11.3%)	11,394 (100.0%)
50～99	3,715 (23.4%)	3,224 (20.3%)	7,657 (48.3%)	1,262 (8.0%)	15,858 (100.0%)
100～199	4,812 (32.7%)	1,823 (12.4%)	7,176 (48.7%)	915 (6.2%)	14,726 (100.0%)
200～499	3,956 (37.4%)	521 (4.9%)	5,501 (52.1%)	590 (5.6%)	10,568 (100.0%)
500～999	1,067 (39.0%)	22 (0.8%)	1,506 (55.0%)	143 (5.2%)	2,738 (100.0%)
1000～	477 (43.6%)	2 (0.2%)	554 (50.6%)	62 (5.7%)	1,095 (100.0%)
無回答	35 (4.9%)	31 (4.4%)	524 (73.7%)	121 (17.0%)	711 (100.0%)
合計	16,349 (25.0%)	11,066 (16.9%)	32,314 (49.4%)	5,711 (8.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別に子育て世帯の転入の有無別集落数をみると、世帯数が20世帯以上の規模の集落では、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が2割を超えており、100世帯以上の規模の集落では約4割と高い割合となっている。

図表 3-74 集落の世帯数規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	計
～9	389 (5.8%)	1,989 (29.6%)	3,255 (48.5%)	1,078 (16.1%)	6,711 (100.0%)
10～19	1,714 (14.4%)	2,925 (24.6%)	5,782 (48.7%)	1,456 (12.3%)	11,877 (100.0%)
20～29	1,979 (20.8%)	2,114 (22.2%)	4,616 (48.5%)	799 (8.4%)	9,508 (100.0%)
30～49	3,189 (26.2%)	2,205 (18.1%)	5,895 (48.5%)	867 (7.1%)	12,156 (100.0%)
50～99	4,388 (34.7%)	1,369 (10.8%)	6,156 (48.6%)	742 (5.9%)	12,655 (100.0%)
100～199	2,647 (38.8%)	276 (4.0%)	3,550 (52.0%)	352 (5.2%)	6,825 (100.0%)
200～499	1,320 (39.0%)	46 (1.4%)	1,837 (54.2%)	184 (5.4%)	3,387 (100.0%)
500～	368 (44.6%)	1 (0.1%)	407 (49.3%)	50 (6.1%)	826 (100.0%)
無回答	355 (23.7%)	141 (9.4%)	816 (54.6%)	183 (12.2%)	1,495 (100.0%)
合計	16,349 (25.0%)	11,066 (16.9%)	32,314 (49.4%)	5,711 (8.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

#### ④近年子育て世帯の転入がみられる集落の特性

- 近年子育て世帯の転入があるとされる集落の特性をみると、集落類型では基礎集落が8割近くを占めており、地域的には平地集落の割合が最も高いが、山間地と中間地集落も2～3割を占めている。また、人口100人以上、世帯数50世帯以上の比較的規模の大きい集落が過半を占めるものの、人口50人未満、世帯数20世帯未満と比較的小規模な集落も1割強を占めている。
- また、役場(本庁)からの距離については、5km未満の集落が約4割となっているが、20km以上の集落も1割強を占めるなど、地理的・地形的条件の悪い集落においても一定程度子育て世帯の転入がみられる。

図表 3-75 近年子育て世帯の転入がみられる集落の主要特性

		子育て世帯の転入の有無別 集落数				計
		子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
集落類型	基礎集落	12,598 (77.1%)	9,940 (89.8%)	26,467 (81.9%)	5,071 (88.8%)	54,076 (82.6%)
	基幹集落	2,156 (13.2%)	696 (6.3%)	3,581 (11.1%)	373 (6.5%)	6,806 (10.4%)
	中心集落	1,444 (8.8%)	377 (3.4%)	2,175 (6.7%)	210 (3.7%)	4,206 (6.4%)
人口規模	～9	51 (0.3%)	811 (7.3%)	991 (3.1%)	438 (7.7%)	2,291 (3.5%)
	10～24	491 (3.0%)	1,769 (16.0%)	2,909 (9.0%)	890 (15.6%)	6,059 (9.3%)
	25～49	1,745 (10.7%)	2,863 (25.9%)	5,496 (17.0%)	1,290 (22.6%)	11,394 (17.4%)
	50～99	3,715 (22.7%)	3,224 (29.1%)	7,657 (23.7%)	1,262 (22.1%)	15,858 (24.2%)
	100～199	4,812 (29.4%)	1,823 (16.5%)	7,176 (22.2%)	915 (16.0%)	14,726 (22.5%)
	200～499	3,956 (24.2%)	521 (4.7%)	5,501 (17.0%)	590 (10.3%)	10,568 (16.1%)
	500～999	1,067 (6.5%)	22 (0.2%)	1,506 (4.7%)	143 (2.5%)	2,738 (4.2%)
	1000～	477 (2.9%)	2 (0.0%)	554 (1.7%)	62 (1.1%)	1,095 (1.7%)
世帯数規模	～9	389 (2.4%)	1,989 (18.0%)	3,255 (10.1%)	1,078 (18.9%)	6,711 (10.3%)
	10～19	1,714 (10.5%)	2,925 (26.4%)	5,782 (17.9%)	1,456 (25.5%)	11,877 (18.1%)
	20～29	1,979 (12.1%)	2,114 (19.1%)	4,616 (14.3%)	799 (14.0%)	9,508 (14.5%)
	30～49	3,189 (19.5%)	2,205 (19.9%)	5,895 (18.2%)	867 (15.2%)	12,156 (18.6%)
	50～99	4,388 (26.8%)	1,369 (12.4%)	6,156 (19.1%)	742 (13.0%)	12,655 (19.3%)
	100～199	2,647 (16.2%)	276 (2.5%)	3,550 (11.0%)	352 (6.2%)	6,825 (10.4%)
	200～499	1,320 (8.1%)	46 (0.4%)	1,837 (5.7%)	184 (3.2%)	3,387 (5.2%)
	500～	368 (2.3%)	1 (0.0%)	407 (1.3%)	50 (0.9%)	826 (1.3%)
地域区分	山間地	3,533 (21.6%)	4,675 (42.2%)	9,937 (30.8%)	1,886 (33.0%)	20,031 (30.6%)
	中間地	5,241 (32.1%)	3,209 (29.0%)	8,709 (27.0%)	2,015 (35.3%)	19,174 (29.3%)
	平地	6,012 (36.8%)	2,816 (25.4%)	10,325 (32.0%)	1,572 (27.5%)	20,725 (31.7%)
	都市的地域	1,454 (8.9%)	303 (2.7%)	3,257 (10.1%)	157 (2.7%)	5,171 (7.9%)
65歳以上割合	100%	5 (0.0%)	289 (2.6%)	288 (0.9%)	152 (2.7%)	734 (1.1%)
	75%以上100%未満	39 (0.2%)	650 (5.9%)	687 (2.1%)	252 (4.4%)	1,628 (2.5%)
	50%以上75%未満	1,872 (11.5%)	3,392 (30.7%)	5,601 (17.3%)	1,260 (22.1%)	12,125 (18.5%)
	25%以上50%未満	12,599 (77.1%)	6,160 (55.7%)	21,735 (67.3%)	3,379 (59.2%)	43,873 (67.0%)
	25%未満	1,663 (10.2%)	465 (4.2%)	2,695 (8.3%)	403 (7.1%)	5,226 (8.0%)
75歳以上	100%	3 (0.0%)	104 (0.9%)	104 (0.3%)	69 (1.2%)	280 (0.4%)
	50%以上100%未満	126 (0.8%)	1,102 (10.0%)	1,257 (3.9%)	424 (7.4%)	2,909 (4.4%)
	50%未満	16,043 (98.1%)	9,750 (88.1%)	29,645 (91.7%)	4,953 (86.7%)	60,391 (92.3%)
本庁までの距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	6,572 (40.2%)	2,199 (19.9%)	9,558 (29.6%)	1,483 (26.0%)	19,812 (30.3%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	3,833 (23.4%)	2,361 (21.3%)	7,076 (21.9%)	1,239 (21.7%)	14,509 (22.2%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	3,910 (23.9%)	3,509 (31.7%)	7,971 (24.7%)	1,678 (29.4%)	17,068 (26.1%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	1,878 (11.5%)	2,960 (26.7%)	7,083 (21.9%)	1,248 (21.9%)	13,169 (20.1%)
地形	地形的末端である	594 (3.6%)	970 (8.8%)	2,007 (6.2%)	462 (8.1%)	4,033 (6.2%)
	地形的末端でない	15,755 (96.4%)	10,096 (91.2%)	30,307 (93.8%)	5,249 (91.9%)	61,407 (93.8%)
全体(割合の基数)		16,349 (100.0%)	11,066 (100.0%)	32,314 (100.0%)	5,711 (100.0%)	65,440 (100.0%)

子育て世帯の転入がある集落において特徴的な特性

※不明・無回答は掲載していない

(6) 集落の立地特性

① 地形的な末端集落

- 地形的に末端にある集落は全体の6.2%である。
- 地方ブロック別に地形的な末端集落の数をみると、四国圏や中部圏において、地形的な末端集落の割合が他の地方ブロックと比べて比較的高い。

図表 3-76 地方ブロック別・地形的末端集落数

全体	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な末端集落である	地形的な末端集落ではない	
1 北海道	210 (5.4%)	3,666 (94.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	589 (4.0%)	14,029 (96.0%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	156 (6.4%)	2,267 (93.6%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	128 (7.1%)	1,684 (92.9%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	317 (8.1%)	3,587 (91.9%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	233 (7.4%)	2,935 (92.6%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	898 (7.0%)	11,896 (93.0%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	701 (9.8%)	6,476 (90.2%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	799 (5.2%)	14,586 (94.8%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	281 (99.3%)	283 (100.0%)
合計	4,033 (6.2%)	61,407 (93.8%)	65,440 (100.0%)
参考: 前回調査	3,971 (6.1%)	60,983 (93.9%)	64,954 (100.0%)

:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
 :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に地形的な末端集落の数をみると、「一部過疎」では地形的な末端集落の割合が7.5%となっており、他の過疎区分と比べてやや高い。

図表 3-77 過疎区分別・地形的末端集落数

過疎区分別	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な末端集落である	地形的な末端集落ではない	
過疎地域	3,887 (6.3%)	58,033 (93.7%)	61,920 (100.0%)
過疎	2,963 (6.3%)	43,868 (93.7%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	297 (4.4%)	6,454 (95.6%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	627 (7.5%)	7,711 (92.5%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	146 (4.1%)	3,374 (95.9%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	122 (4.3%)	2,740 (95.7%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	24 (3.6%)	634 (96.4%)	658 (100.0%)
合計	4,033 (6.2%)	61,407 (93.8%)	65,440 (100.0%)

:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に地形的な末端集落の数をみると、基礎集落では、地形的な末端集落の割合が7.1%となっており、他の集落類型と比べて最も高くなっている。
- 一方、中心集落においては、地形的な末端集落はほぼみられない。

図表 3-78 集落類型別・地形的末端集落数

全体	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な末端集落である	地形的な末端集落ではない	
基礎集落	3,850 (7.1%)	50,226 (92.9%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	155 (2.3%)	6,651 (97.7%)	6,806 (100.0%)
中心集落	14 (0.3%)	4,192 (99.7%)	4,206 (100.0%)
無回答	14 (4.0%)	338 (96.0%)	352 (100.0%)
合計	4,033 (6.2%)	61,407 (93.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に地形的な末端集落の数をみると、山間地集落では、地形的な末端集落の割合が 14.2%となっており、他の地域区分と比べて特に高くなっている。
- 一方、都市的地域にある集落においては、地形的な末端集落はほぼみられない。

図表 3-79 地域区分別・地形的末端集落数

全体	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な末端集落である	地形的な末端集落ではない	
山間地	2,843 (14.2%)	17,188 (85.8%)	20,031 (100.0%)
中間地	897 (4.7%)	18,277 (95.3%)	19,174 (100.0%)
平地	257 (1.2%)	20,468 (98.8%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	20 (0.4%)	5,151 (99.6%)	5,171 (100.0%)
無回答	16 (4.7%)	323 (95.3%)	339 (100.0%)
合計	4,033 (6.2%)	61,407 (93.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 集落の人口規模別に地形的な末端集落の数をみると、人口規模が小さい集落ほど地形的な末端集落の割合が高くなっており、人口10人未満の集落では、地形的な末端集落が4分の1(25.6%)を占めている。

図表 3-80 集落の人口規模別・地形的末端集落数

全体	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な末端集落である	地形的な末端集落ではない	
~9	586 (25.6%)	1,705 (74.4%)	2,291 (100.0%)
10~24	860 (14.2%)	5,199 (85.8%)	6,059 (100.0%)
25~49	944 (8.3%)	10,450 (91.7%)	11,394 (100.0%)
50~99	814 (5.1%)	15,044 (94.9%)	15,858 (100.0%)
100~199	495 (3.4%)	14,231 (96.6%)	14,726 (100.0%)
200~499	236 (2.2%)	10,332 (97.8%)	10,568 (100.0%)
500~999	48 (1.8%)	2,690 (98.2%)	2,738 (100.0%)
1000~	16 (1.5%)	1,079 (98.5%)	1,095 (100.0%)
無回答	34 (4.8%)	677 (95.2%)	711 (100.0%)
合計	4,033 (6.2%)	61,407 (93.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別に地形的な末端集落の数をみると、人口規模と同様、世帯数規模が小さくなるほど地形的末端集落の割合が高くなる傾向がみられ、10世帯未満の集落では、地形的な末端集落が2割近くを占めている。

図表 3-81 集落の世帯数規模別・地形的末端集落数

全体	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な末端集落である	地形的な末端集落ではない	
~9	1,225 (18.3%)	5,486 (81.7%)	6,711 (100.0%)
10~19	1,039 (8.7%)	10,838 (91.3%)	11,877 (100.0%)
20~29	527 (5.5%)	8,981 (94.5%)	9,508 (100.0%)
30~49	530 (4.4%)	11,626 (95.6%)	12,156 (100.0%)
50~99	411 (3.2%)	12,244 (96.8%)	12,655 (100.0%)
100~199	148 (2.2%)	6,677 (97.8%)	6,825 (100.0%)
200~499	51 (1.5%)	3,336 (98.5%)	3,387 (100.0%)
500~	11 (1.3%)	815 (98.7%)	826 (100.0%)
無回答	91 (6.1%)	1,404 (93.9%)	1,495 (100.0%)
合計	4,033 (6.2%)	61,407 (93.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者割合別に地形的な末端集落の数をみると、地形的に末端にある集落の割合は、高齢者割合が高い集落ほど大きくなり、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では、地形的な末端集落が3割弱となっている。

図表 3-82 高齢者割合別・地形的末端集落数

全体	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な末端集落である	地形的な末端集落ではない	
50%未満	2,043 (4.2%)	47,056 (95.8%)	49,099 (100.0%)
50%以上 75%未満	1,366 (11.3%)	10,759 (88.7%)	12,125 (100.0%)
75%以上 100%未満	346 (21.3%)	1,282 (78.7%)	1,628 (100.0%)
100%	200 (27.2%)	534 (72.8%)	734 (100.0%)
無回答	78 (4.2%)	1,776 (95.8%)	1,854 (100.0%)
合計	4,033 (6.2%)	61,407 (93.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に地形的な末端集落の数をみると、地形的な末端集落の割合は、転入者がいないとされる集落の方が、転入者がいるとされる集落よりも高い。

図表 3-83 転入者の有無別・地形的末端集落数

全体	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な末端集落である	地形的な末端集落ではない	
転入者あり	1,303 (5.0%)	24,736 (95.0%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	567 (13.7%)	3,578 (86.3%)	4,145 (100.0%)
わからない	2,080 (6.2%)	31,392 (93.8%)	33,472 (100.0%)
無回答	83 (4.7%)	1,701 (95.3%)	1,784 (100.0%)
合計	4,033 (6.2%)	61,407 (93.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

## ②役場（本庁・支所）までの距離別 集落数

- 集落の立地条件をみると、全体では、本庁まで5km未満の集落が30.3%と最も多く、5km以上10km未満の集落と合わせると、10km未満の集落で全体の半数以上を占める。
- 地方ブロック別に本庁までの距離別集落数をみると、中部圏や中国圏では、本庁までの距離が20km以上と遠距離にある集落の割合が他の地方ブロックと比べて比較的高くなっている。また、首都圏では、本庁まで10km以上と比較的遠距離にある集落が約4割を占めている。
- 一方、本庁や支所までの距離が5km未満と近い集落の割合は、沖縄県と北海道で他の地方ブロックと比べて高くなっている。

図表 3-84 地方ブロック別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
1 北海道	1,657 (42.8%)	897 (23.1%)	803 (20.7%)	519 (13.4%)	0 (0.0%)	3,876 (100.0%)	3,162 (81.6%)	302 (7.8%)	231 (6.0%)	96 (2.5%)	85 (2.2%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	4,180 (28.6%)	3,610 (24.7%)	4,047 (27.7%)	2,678 (18.3%)	103 (0.7%)	14,618 (100.0%)	10,380 (71.0%)	2,462 (16.8%)	829 (5.7%)	135 (0.9%)	812 (5.6%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	635 (26.2%)	815 (33.6%)	761 (31.4%)	212 (8.7%)	0 (0.0%)	2,423 (100.0%)	1,640 (67.7%)	392 (16.2%)	152 (6.3%)	13 (0.5%)	226 (9.3%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	506 (27.9%)	447 (24.7%)	441 (24.3%)	417 (23.0%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)	1,063 (58.7%)	391 (21.6%)	182 (10.0%)	38 (2.1%)	138 (7.6%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	1,042 (26.7%)	633 (16.2%)	941 (24.1%)	1,254 (32.1%)	34 (0.9%)	3,904 (100.0%)	2,727 (69.9%)	675 (17.3%)	239 (6.1%)	27 (0.7%)	236 (6.0%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	827 (26.1%)	619 (19.5%)	755 (23.8%)	782 (24.7%)	185 (5.8%)	3,168 (100.0%)	1,882 (59.4%)	676 (21.3%)	287 (9.1%)	31 (1.0%)	292 (9.2%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	3,070 (24.0%)	2,577 (20.1%)	3,639 (28.4%)	3,480 (27.2%)	28 (0.2%)	12,794 (100.0%)	8,873 (69.4%)	2,360 (18.4%)	827 (6.5%)	105 (0.8%)	629 (4.9%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	2,613 (36.4%)	1,321 (18.4%)	1,660 (23.1%)	1,405 (19.6%)	178 (2.5%)	7,177 (100.0%)	4,860 (67.7%)	1,408 (19.6%)	501 (7.0%)	70 (1.0%)	338 (4.7%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	5,142 (33.4%)	3,516 (22.9%)	3,988 (25.9%)	2,397 (15.6%)	342 (2.2%)	15,385 (100.0%)	10,044 (65.3%)	2,569 (16.7%)	1,078 (7.0%)	209 (1.4%)	1,485 (9.7%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	140 (49.5%)	74 (26.1%)	33 (11.7%)	25 (8.8%)	11 (3.9%)	283 (100.0%)	240 (84.8%)	9 (3.2%)	6 (2.1%)	0 (0.0%)	28 (9.9%)	283 (100.0%)
合計	19,812 (30.3%)	14,509 (22.2%)	17,068 (26.1%)	13,169 (20.1%)	882 (1.3%)	65,440 (100.0%)	44,871 (68.6%)	11,244 (17.2%)	4,332 (6.6%)	724 (1.1%)	4,269 (6.5%)	65,440 (100.0%)

  : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
  : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

※「支所までの距離別」で「無回答」の中には、支所を置いていない市町村も含まれる。(以下同じ)

参考: 前回調査	19,290 (29.7%)	14,312 (22.0%)	17,237 (26.5%)	13,562 (20.9%)	553 (0.9%)	64,954 (100.0%)
-------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	---------------	--------------------

- 過疎区分別に本庁までの距離別集落数をみると、「一部過疎」では本庁まで遠距離にある集落の割合が他の過疎区分と比べて高く、本庁から20km以上の遠隔地にある集落が半数以上を占める。
- 一方、支所までの距離別集落数みると、「非過疎市町村の旧過疎地域」において、支所まで5km未満と最も近距離にある集落が占める割合は8割を超えており、他の過疎区分と比較して最も高くなっている。

図表 3-85 過疎区分別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数

過疎区分別	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
過疎地域	18,615 (30.1%)	13,627 (22.0%)	15,250 (24.6%)	13,823 (22.3%)	605 (1.0%)	61,920 (100.0%)	42,389 (68.5%)	10,725 (17.3%)	4,069 (6.6%)	792 (1.3%)	3,945 (6.4%)	61,920 (100.0%)
過疎	16,521 (35.3%)	11,276 (24.1%)	10,803 (23.1%)	7,815 (16.7%)	416 (0.9%)	46,831 (100.0%)	32,904 (70.3%)	6,967 (14.9%)	2,879 (6.1%)	660 (1.4%)	3,421 (7.3%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	1,904 (28.2%)	1,525 (22.6%)	1,795 (26.6%)	1,430 (21.2%)	97 (1.4%)	6,751 (100.0%)	4,731 (70.1%)	1,256 (18.6%)	394 (5.8%)	37 (0.5%)	333 (4.9%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	190 (2.3%)	826 (9.9%)	2,652 (31.8%)	4,578 (54.9%)	92 (1.1%)	8,338 (100.0%)	4,754 (57.0%)	2,502 (30.0%)	796 (9.5%)	95 (1.1%)	191 (2.3%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	1,197 (34.0%)	882 (25.1%)	691 (19.6%)	473 (13.4%)	277 (7.9%)	3,520 (100.0%)	2,482 (70.5%)	519 (14.7%)	137 (3.9%)	58 (1.6%)	324 (9.2%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	885 (30.9%)	758 (26.5%)	563 (19.7%)	379 (13.2%)	277 (9.7%)	2,862 (100.0%)	1,936 (67.6%)	428 (15.0%)	120 (4.2%)	56 (2.0%)	322 (11.3%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	312 (47.4%)	124 (18.8%)	128 (19.5%)	94 (14.3%)	0 (0.0%)	658 (100.0%)	546 (83.0%)	91 (13.8%)	17 (2.6%)	2 (0.3%)	2 (0.3%)	658 (100.0%)
合計	19,812 (30.3%)	14,509 (22.2%)	15,941 (24.4%)	14,296 (21.8%)	882 (1.3%)	65,440 (100.0%)	44,871 (68.6%)	11,244 (17.2%)	4,206 (6.4%)	850 (1.3%)	4,269 (6.5%)	65,440 (100.0%)

  : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に本庁・支所までの距離別集落数をみると、中心集落では本庁までの距離が 5 km未満と近距離にある集落が約6割を占めており、また支所までの距離も 5 km未満にある集落が9割近くを占めている。
- これに対して、基礎集落では、本庁までの距離が 10 km以上と比較的遠距離にある集落が半数近くを占めており、さらに本庁までの距離が 20 km以上と最も遠距離にある集落も約 2 割ある。

図表 3-86 集落類型別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
基礎集落	14,773 (27.3%)	12,527 (23.2%)	14,725 (27.2%)	11,346 (21.0%)	705 (1.3%)	54,076 (100.0%)	36,084 (66.7%)	10,068 (18.6%)	3,845 (7.1%)	598 (1.1%)	3,481 (6.4%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	2,395 (35.2%)	1,473 (21.6%)	1,620 (23.8%)	1,220 (17.9%)	98 (1.4%)	6,806 (100.0%)	4,876 (71.6%)	1,030 (15.1%)	365 (5.4%)	75 (1.1%)	460 (6.8%)	6,806 (100.0%)
中心集落	2,532 (60.2%)	435 (10.3%)	649 (15.4%)	570 (13.6%)	20 (0.5%)	4,206 (100.0%)	3,737 (88.8%)	118 (2.8%)	101 (2.4%)	50 (1.2%)	200 (4.8%)	4,206 (100.0%)
無回答	112 (31.8%)	74 (21.0%)	74 (21.0%)	33 (9.4%)	59 (16.8%)	352 (100.0%)	174 (49.4%)	28 (8.0%)	21 (6.0%)	1 (0.3%)	128 (36.4%)	352 (100.0%)
合計	19,812 (30.3%)	14,509 (22.2%)	17,068 (26.1%)	13,169 (20.1%)	882 (1.3%)	65,440 (100.0%)	44,871 (68.6%)	11,244 (17.2%)	4,332 (6.6%)	724 (1.1%)	4,269 (6.5%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に本庁・支所までの距離別集落数をみると、山間地集落において、本庁や支所までの距離が遠い集落の割合が他の地域区分に比べて比較的高くなっている。
- 特に山間地集落では、本庁まで 20km 以上の遠距離にある集落の割合が 36.9%と4割近くを占めており、都市的地域にある集落(3.2%)との差が大きくなっている。

図表 3-87 地域区分別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
山間地	2,090 (10.4%)	3,720 (18.6%)	6,701 (33.5%)	7,396 (36.9%)	124 (0.6%)	20,031 (100.0%)	10,361 (51.7%)	5,589 (27.9%)	2,796 (14.0%)	419 (2.1%)	866 (4.3%)	20,031 (100.0%)
中間地	4,945 (25.8%)	4,633 (24.2%)	5,749 (30.0%)	3,640 (19.0%)	207 (1.1%)	19,174 (100.0%)	13,467 (70.2%)	3,379 (17.6%)	981 (5.1%)	130 (0.7%)	1,217 (6.3%)	19,174 (100.0%)
平地	8,663 (41.8%)	5,535 (26.7%)	4,302 (20.8%)	1,955 (9.4%)	270 (1.3%)	20,725 (100.0%)	16,310 (78.7%)	2,190 (10.6%)	491 (2.4%)	120 (0.6%)	1,614 (7.8%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	3,977 (76.9%)	529 (10.2%)	273 (5.3%)	164 (3.2%)	228 (4.4%)	5,171 (100.0%)	4,479 (86.6%)	71 (1.4%)	54 (1.0%)	48 (0.9%)	519 (10.0%)	5,171 (100.0%)
無回答	137 (40.4%)	92 (27.1%)	43 (12.7%)	14 (4.1%)	53 (15.6%)	339 (100.0%)	254 (74.9%)	15 (4.4%)	10 (2.9%)	7 (2.1%)	53 (15.6%)	339 (100.0%)
合計	19,812 (30.3%)	14,509 (22.2%)	17,068 (26.1%)	13,169 (20.1%)	882 (1.3%)	65,440 (100.0%)	44,871 (68.6%)	11,244 (17.2%)	4,332 (6.6%)	724 (1.1%)	4,269 (6.5%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分



- 集落の人口規模別に本庁・支所までの距離別集落数をみると、人口規模の小さな集落ほど、本庁や支所から遠い集落の割合が大きくなる傾向がみられ、人口10人未満の集落では、本庁まで20km以上と遠距離にある集落の割合が約4割となっている。

図表 3-88 集落の人口規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
～9	221 (9.6%)	384 (16.8%)	745 (32.5%)	934 (40.8%)	7 (0.3%)	2,291 (100.0%)	1,067 (46.6%)	650 (28.4%)	382 (16.7%)	74 (3.2%)	118 (5.2%)	2,291 (100.0%)
10～24	871 (14.4%)	1,115 (18.4%)	1,955 (32.3%)	2,080 (34.3%)	38 (0.6%)	6,059 (100.0%)	3,382 (55.8%)	1,522 (25.1%)	758 (12.5%)	98 (1.6%)	299 (4.9%)	6,059 (100.0%)
25～49	2,355 (20.7%)	2,409 (21.1%)	3,491 (30.6%)	3,050 (26.8%)	89 (0.8%)	11,394 (100.0%)	7,206 (63.2%)	2,505 (22.0%)	1,023 (9.0%)	142 (1.2%)	518 (4.5%)	11,394 (100.0%)
50～99	4,304 (27.1%)	3,794 (23.9%)	4,365 (27.5%)	3,241 (20.4%)	154 (1.0%)	15,858 (100.0%)	10,918 (68.8%)	2,943 (18.6%)	1,029 (6.5%)	142 (0.9%)	826 (5.2%)	15,858 (100.0%)
100～199	5,061 (34.4%)	3,678 (25.0%)	3,618 (24.6%)	2,230 (15.1%)	139 (0.9%)	14,726 (100.0%)	10,732 (72.9%)	2,149 (14.6%)	720 (4.9%)	124 (0.8%)	1,001 (6.8%)	14,726 (100.0%)
200～499	4,684 (44.3%)	2,357 (22.3%)	2,254 (21.3%)	1,174 (11.1%)	99 (0.9%)	10,568 (100.0%)	8,141 (77.0%)	1,182 (11.2%)	323 (3.1%)	83 (0.8%)	839 (7.9%)	10,568 (100.0%)
500～999	1,518 (55.4%)	520 (19.0%)	446 (16.3%)	239 (8.7%)	15 (0.5%)	2,738 (100.0%)	2,258 (82.5%)	180 (6.6%)	46 (1.7%)	29 (1.1%)	225 (8.2%)	2,738 (100.0%)
1000～	721 (65.8%)	174 (15.9%)	119 (10.9%)	79 (7.2%)	2 (0.2%)	1,095 (100.0%)	916 (83.7%)	45 (4.1%)	25 (2.3%)	25 (2.3%)	84 (7.7%)	1,095 (100.0%)
無回答	77 (10.8%)	78 (11.0%)	75 (10.5%)	142 (20.0%)	339 (47.7%)	711 (100.0%)	251 (35.3%)	68 (9.6%)	26 (3.7%)	7 (1.0%)	359 (50.5%)	711 (100.0%)
合計	19,812 (30.3%)	14,509 (22.2%)	17,068 (26.1%)	13,169 (20.1%)	882 (1.3%)	65,440 (100.0%)	44,871 (68.6%)	11,244 (17.2%)	4,332 (6.6%)	724 (1.1%)	4,269 (6.5%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別に本庁・支所までの距離別集落数をみると、人口規模と同様に、世帯数規模が小さな集落ほど、本庁や支所までの距離が遠い集落の割合が高くなっている。

図表 3-89 集落の世帯数規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
～9	817 (12.2%)	1,225 (18.3%)	2,292 (34.2%)	2,346 (35.0%)	31 (0.5%)	6,711 (100.0%)	3,551 (52.9%)	1,792 (26.7%)	901 (13.4%)	134 (2.0%)	333 (5.0%)	6,711 (100.0%)
10～19	2,285 (19.2%)	2,585 (21.8%)	3,604 (30.3%)	3,302 (27.8%)	101 (0.9%)	11,877 (100.0%)	7,324 (61.7%)	2,708 (22.8%)	1,113 (9.4%)	160 (1.3%)	572 (4.8%)	11,877 (100.0%)
20～29	2,336 (24.6%)	2,285 (24.0%)	2,699 (28.4%)	2,102 (22.1%)	86 (0.9%)	9,508 (100.0%)	6,368 (67.0%)	1,874 (19.7%)	684 (7.2%)	87 (0.9%)	495 (5.2%)	9,508 (100.0%)
30～49	3,569 (29.4%)	3,048 (25.1%)	3,250 (26.7%)	2,195 (18.1%)	94 (0.8%)	12,156 (100.0%)	8,621 (70.9%)	2,054 (16.9%)	724 (6.0%)	101 (0.8%)	656 (5.4%)	12,156 (100.0%)
50～99	4,657 (36.8%)	2,955 (23.4%)	3,090 (24.4%)	1,835 (14.5%)	118 (0.9%)	12,655 (100.0%)	9,348 (73.9%)	1,763 (13.9%)	575 (4.5%)	109 (0.9%)	860 (6.8%)	12,655 (100.0%)
100～199	3,149 (46.1%)	1,468 (21.5%)	1,356 (19.9%)	798 (11.7%)	54 (0.8%)	6,825 (100.0%)	5,338 (78.2%)	710 (10.4%)	195 (2.9%)	52 (0.8%)	530 (7.8%)	6,825 (100.0%)
200～499	1,936 (57.2%)	611 (18.0%)	501 (14.8%)	316 (9.3%)	23 (0.7%)	3,387 (100.0%)	2,819 (83.2%)	197 (5.8%)	55 (1.6%)	27 (0.8%)	289 (8.5%)	3,387 (100.0%)
500～	558 (67.6%)	127 (15.4%)	82 (9.9%)	57 (6.9%)	2 (0.2%)	826 (100.0%)	702 (85.0%)	33 (4.0%)	19 (2.3%)	12 (1.5%)	60 (7.3%)	826 (100.0%)
無回答	505 (33.8%)	205 (13.7%)	194 (13.0%)	218 (14.6%)	373 (24.9%)	1,495 (100.0%)	800 (53.5%)	113 (7.6%)	66 (4.4%)	42 (2.8%)	474 (31.7%)	1,495 (100.0%)
合計	19,812 (30.3%)	14,509 (22.2%)	17,068 (26.1%)	13,169 (20.1%)	882 (1.3%)	65,440 (100.0%)	44,871 (68.6%)	11,244 (17.2%)	4,332 (6.6%)	724 (1.1%)	4,269 (6.5%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者割合別に本庁・支所までの距離別集落数をみると、総じて高齢者割合の低い集落ほど、本庁や支所に近い集落の割合が大きい傾向がみられる。逆に、高齢者割合が75%以上の集落では、本庁から10km以上の距離にある集落が7割以上となっている。

図表 3-90 高齢者割合別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
50%未満	17,266 (35.2%)	11,561 (23.5%)	12,308 (25.1%)	7,546 (15.4%)	418 (0.9%)	49,099 (100.0%)	35,672 (72.7%)	7,353 (15.0%)	2,437 (5.0%)	433 (0.9%)	3,204 (6.5%)	49,099 (100.0%)
50%以上 75%未満	1,970 (16.2%)	2,279 (18.8%)	3,745 (30.9%)	4,054 (33.4%)	77 (0.6%)	12,125 (100.0%)	7,122 (58.7%)	2,933 (24.2%)	1,378 (11.4%)	199 (1.6%)	493 (4.1%)	12,125 (100.0%)
75%以上 100%未満	138 (8.5%)	231 (14.2%)	490 (30.1%)	765 (47.0%)	4 (0.2%)	1,628 (100.0%)	740 (45.5%)	464 (28.5%)	313 (19.2%)	50 (3.1%)	61 (3.7%)	1,628 (100.0%)
100%	91 (12.4%)	128 (17.4%)	212 (28.9%)	299 (40.7%)	4 (0.5%)	734 (100.0%)	347 (47.3%)	206 (28.1%)	115 (15.7%)	28 (3.8%)	38 (5.2%)	734 (100.0%)
無回答	347 (18.7%)	310 (16.7%)	313 (16.9%)	505 (27.2%)	379 (20.4%)	1,854 (100.0%)	990 (53.4%)	288 (15.5%)	89 (4.8%)	14 (0.8%)	473 (25.5%)	1,854 (100.0%)
合計	19,812 (30.3%)	14,509 (22.2%)	17,068 (26.1%)	13,169 (20.1%)	882 (1.3%)	65,440 (100.0%)	44,871 (68.6%)	11,244 (17.2%)	4,332 (6.6%)	724 (1.1%)	4,269 (6.5%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に本庁・支所までの距離別集落数をみると、転入者がいるとされる集落の方が、転入者がいないとされる集落よりも本庁や支所に近い集落の割合が高くなっている。

図表 3-91 転入者の有無別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
転入者あり	8,415 (32.3%)	5,890 (22.6%)	7,146 (27.4%)	4,504 (17.3%)	84 (0.3%)	26,039 (100.0%)	18,450 (70.9%)	4,115 (15.8%)	1,738 (6.7%)	324 (1.2%)	1,412 (5.4%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	543 (13.1%)	781 (18.8%)	1,336 (32.2%)	1,463 (35.3%)	22 (0.5%)	4,145 (100.0%)	2,291 (55.3%)	1,185 (28.6%)	475 (11.5%)	62 (1.5%)	132 (3.2%)	4,145 (100.0%)
わからない	10,130 (30.3%)	7,385 (22.1%)	8,145 (24.3%)	7,079 (21.1%)	733 (2.2%)	33,472 (100.0%)	22,764 (68.0%)	5,714 (17.1%)	1,987 (5.9%)	327 (1.0%)	2,680 (8.0%)	33,472 (100.0%)
無回答	724 (40.6%)	453 (25.4%)	441 (24.7%)	123 (6.9%)	43 (2.4%)	1,784 (100.0%)	1,366 (76.6%)	230 (12.9%)	132 (7.4%)	11 (0.6%)	45 (2.5%)	1,784 (100.0%)
合計	19,812 (30.3%)	14,509 (22.2%)	17,068 (26.1%)	13,169 (20.1%)	882 (1.3%)	65,440 (100.0%)	44,871 (68.6%)	11,244 (17.2%)	4,332 (6.6%)	724 (1.1%)	4,269 (6.5%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

(7)生活サービス機能の立地状況

- 生活サービス機能の立地状況をみると、全体の 23.2%の集落には商店・スーパーがあり、また 52.0%の集落には駅やバス停がある。一方、病院・診療所やガソリンスタンド、(簡易)郵便局、デイサービスセンター、小学校、幼稚園・保育所等がある集落はそれぞれ1割に満たない。
- 地方ブロック別に生活サービス機能の立地状況をみると、沖縄県では商店・スーパーや小学校及び幼稚園・保育所等が立地している集落の割合が他の地方ブロックと比べて高くなっている。また、北海道では、ガソリンスタンドや(簡易)郵便局が立地している集落の割合が、近畿圏では、病院・診療所が立地している集落の割合が、それぞれ他の地方ブロックと比べて高くなっている。

図表 3-92 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数

全体	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)								総集落数
	病院・診療所	商店・スーパー	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
1 北海道	386 (10.0%)	910 (23.5%)	536 (13.8%)	667 (17.2%)	303 (7.8%)	2,273 (58.6%)	472 (12.2%)	433 (11.2%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	1,137 (7.8%)	4,098 (28.0%)	1,266 (8.7%)	1,240 (8.5%)	985 (6.7%)	8,343 (57.1%)	888 (6.1%)	1,032 (7.1%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	192 (7.9%)	626 (25.8%)	231 (9.5%)	226 (9.3%)	173 (7.1%)	1,165 (48.1%)	148 (6.1%)	149 (6.1%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	113 (6.2%)	494 (27.3%)	111 (6.1%)	136 (7.5%)	79 (4.4%)	997 (55.0%)	74 (4.1%)	91 (5.0%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	323 (8.3%)	837 (21.4%)	359 (9.2%)	375 (9.6%)	278 (7.1%)	2,651 (67.9%)	258 (6.6%)	260 (6.7%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	340 (10.7%)	766 (24.2%)	290 (9.2%)	365 (11.5%)	223 (7.0%)	2,094 (66.1%)	242 (7.6%)	229 (7.2%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	831 (6.5%)	1,980 (15.5%)	622 (4.9%)	787 (6.2%)	565 (4.4%)	5,332 (41.7%)	520 (4.1%)	595 (4.7%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	506 (7.1%)	1,434 (20.0%)	507 (7.1%)	479 (6.7%)	378 (5.3%)	2,970 (41.4%)	322 (4.5%)	363 (5.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	1,571 (10.2%)	3,947 (25.7%)	1,351 (8.8%)	1,352 (8.8%)	1,113 (7.2%)	8,101 (52.7%)	1,372 (8.9%)	1,348 (8.8%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	27 (9.5%)	92 (32.5%)	36 (12.7%)	29 (10.2%)	26 (9.2%)	125 (44.2%)	55 (19.4%)	49 (17.3%)	283 (100.0%)
合計	5,426 (8.3%)	15,184 (23.2%)	5,309 (8.1%)	5,656 (8.6%)	4,123 (6.3%)	34,051 (52.0%)	4,351 (6.6%)	4,549 (7.0%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
 ■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に生活サービス機能の立地状況をみると、「現一部過疎の非過疎地域」にある集落では、比較的多くの生活サービス機能について、立地している集落の割合が他の過疎区分と比べて最も高くなっている。

図表 3-93 過疎区分別・生活サービス機能の立地状況別 集落数

過疎区分別	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)								総集落数
	病院・診療所	商店・スーパー	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
過疎地域	4,913 (7.9%)	14,233 (23.0%)	4,968 (8.0%)	5,409 (8.7%)	3,785 (6.1%)	32,391 (52.3%)	4,100 (6.6%)	4,214 (6.8%)	61,920 (100.0%)
過疎	3,570 (7.6%)	10,481 (22.4%)	3,777 (8.1%)	4,025 (8.6%)	2,734 (5.8%)	23,799 (50.8%)	2,854 (6.1%)	3,114 (6.6%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	708 (10.5%)	1,998 (29.6%)	527 (7.8%)	578 (8.6%)	496 (7.3%)	3,609 (53.5%)	426 (6.3%)	557 (8.3%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	635 (7.6%)	1,754 (21.0%)	664 (8.0%)	806 (9.7%)	555 (6.7%)	4,983 (59.8%)	820 (9.8%)	543 (6.5%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	513 (14.6%)	951 (27.0%)	341 (9.7%)	247 (7.0%)	338 (9.6%)	1,660 (47.2%)	251 (7.1%)	335 (9.5%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の非過疎地域	438 (15.3%)	787 (27.5%)	278 (9.7%)	192 (6.7%)	276 (9.6%)	1,308 (45.7%)	193 (6.7%)	274 (9.6%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村の旧過疎地域	75 (11.4%)	164 (24.9%)	63 (9.6%)	55 (8.4%)	62 (9.4%)	352 (53.5%)	58 (8.8%)	61 (9.3%)	658 (100.0%)
合計	5,426 (8.3%)	15,184 (23.2%)	5,309 (8.1%)	5,656 (8.6%)	4,123 (6.3%)	34,051 (52.0%)	4,351 (6.6%)	4,549 (7.0%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に生活サービス機能の立地状況をみると、中心集落では、多くの生活サービス機能について、立地している集落の割合が他の集落類型に比べて最も高くなっている。また、多くの生活サービス機能について、当該生活サービス機能が立地している集落の割合は、基礎集落と比べて差が大きくなっている。
- 基礎集落について、各種生活サービス機能の立地状況をみると、駅・バス停と商店・スーパー以外では、立地している集落の割合はそれぞれ5%前後しかみられない。

図表 3-94 集落類型別・生活サービス機能が立地している集落数

全体	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）								総集落数
	病院・診療所	商店・スーパー	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
基礎集落	2,692 (5.0%)	9,585 (17.7%)	2,903 (5.4%)	2,805 (5.2%)	2,432 (4.5%)	26,893 (49.7%)	2,307 (4.3%)	2,377 (4.4%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	1,146 (16.8%)	2,883 (42.4%)	1,137 (16.7%)	1,638 (24.1%)	784 (11.5%)	4,368 (64.2%)	1,126 (16.5%)	1,123 (16.5%)	6,806 (100.0%)
中心集落	1,555 (37.0%)	2,633 (62.6%)	1,246 (29.6%)	1,188 (28.2%)	885 (21.0%)	2,645 (62.9%)	899 (21.4%)	1,027 (24.4%)	4,206 (100.0%)
無回答	33 (9.4%)	83 (23.6%)	23 (6.5%)	25 (7.1%)	22 (6.3%)	145 (41.2%)	19 (5.4%)	22 (6.3%)	352 (100.0%)
合計	5,426 (8.3%)	15,184 (23.2%)	5,309 (8.1%)	5,656 (8.6%)	4,123 (6.3%)	34,051 (52.0%)	4,351 (6.6%)	4,549 (7.0%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に生活サービス機能の立地状況をみると、都市的地域にある集落では、駅・バス停と小学校を除く生活サービス機能について、立地している集落の割合が他の地域区分に比べて高くなっている。
- 一方、山間地集落では、多くの生活サービス機能について、立地している集落の割合が他の地域区分と比べて低くなっており、特に商店・スーパーが立地している集落の割合は、12.7%と全体(23.2%)より10ポイント以上低くなっている。

図表 3-95 地域区分別・生活サービス機能が立地している集落数

全体	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）								総集落数
	病院・診療所	商店・スーパー	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
山間地	637 (3.2%)	2,537 (12.7%)	844 (4.2%)	1,342 (6.7%)	673 (3.4%)	10,937 (54.6%)	878 (4.4%)	654 (3.3%)	20,031 (100.0%)
中間地	1,183 (6.2%)	4,042 (21.1%)	1,502 (7.8%)	1,734 (9.0%)	1,168 (6.1%)	10,604 (55.3%)	1,419 (7.4%)	1,242 (6.5%)	19,174 (100.0%)
平地	2,277 (11.0%)	6,008 (29.0%)	2,187 (10.6%)	1,989 (9.6%)	1,679 (8.1%)	9,811 (47.3%)	1,641 (7.9%)	1,909 (9.2%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	1,298 (25.1%)	2,479 (47.9%)	746 (14.4%)	554 (10.7%)	581 (11.2%)	2,539 (49.1%)	386 (7.5%)	712 (13.8%)	5,171 (100.0%)
無回答	31 (9.1%)	118 (34.8%)	30 (8.8%)	37 (10.9%)	22 (6.5%)	160 (47.2%)	27 (8.0%)	32 (9.4%)	339 (100.0%)
合計	5,426 (8.3%)	15,184 (23.2%)	5,309 (8.1%)	5,656 (8.6%)	4,123 (6.3%)	34,051 (52.0%)	4,351 (6.6%)	4,549 (7.0%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 集落の人口規模別に生活サービス機能の立地状況をみると、人口 500 人以上の集落では、各種生活サービス機能が立地している集落の割合が高くなっている。特に、人口が 1,000 人以上の集落では、全体でみたときに立地している集落が 1 割に満たない病院・診療所や、デイサービスセンター、幼稚園・保育所等について、立地している集落の割合が最も高くなっている。
- 一方、人口 500 人未満の集落では、商店・スーパーが立地している集落の割合は 50%に満たず、人口 25 人未満の集落では、駅・バス停以外の生活サービス機能については、立地している集落の割合が 5%未満となっている。

図表 3-96 集落の人口規模別・生活サービス機能が立地している集落数

全体	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）								総集落数
	病院・診療所	商店・スーパー	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
～9	9 (0.4%)	38 (1.7%)	12 (0.5%)	10 (0.4%)	19 (0.8%)	648 (28.3%)	31 (1.4%)	4 (0.2%)	2,291 (100.0%)
10～24	69 (1.1%)	223 (3.7%)	58 (1.0%)	89 (1.5%)	50 (0.8%)	2,165 (35.7%)	156 (2.6%)	40 (0.7%)	6,059 (100.0%)
25～49	237 (2.1%)	893 (7.8%)	237 (2.1%)	320 (2.8%)	176 (1.5%)	4,751 (41.7%)	241 (2.1%)	144 (1.3%)	11,394 (100.0%)
50～99	630 (4.0%)	2,449 (15.4%)	558 (3.5%)	780 (4.9%)	472 (3.0%)	7,631 (48.1%)	552 (3.5%)	479 (3.0%)	15,858 (100.0%)
100～199	1,057 (7.2%)	4,066 (27.6%)	1,158 (7.9%)	1,290 (8.8%)	781 (5.3%)	8,533 (57.9%)	958 (6.5%)	956 (6.5%)	14,726 (100.0%)
200～499	1,734 (16.4%)	4,704 (44.5%)	1,731 (16.4%)	1,722 (16.3%)	1,380 (13.1%)	7,057 (66.8%)	1,262 (11.9%)	1,505 (14.2%)	10,568 (100.0%)
500～999	939 (34.3%)	1,794 (65.5%)	904 (33.0%)	791 (28.9%)	680 (24.8%)	2,072 (75.7%)	606 (22.1%)	760 (27.8%)	2,738 (100.0%)
1000～	676 (61.7%)	893 (81.6%)	620 (56.6%)	607 (55.4%)	539 (49.2%)	942 (86.0%)	508 (46.4%)	634 (57.9%)	1,095 (100.0%)
無回答	75 (10.5%)	124 (17.4%)	31 (4.4%)	47 (6.6%)	26 (3.7%)	252 (35.4%)	37 (5.2%)	27 (3.8%)	711 (100.0%)
合計	5,426 (8.3%)	15,184 (23.2%)	5,309 (8.1%)	5,656 (8.6%)	4,123 (6.3%)	34,051 (52.0%)	4,351 (6.6%)	4,549 (7.0%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別に生活サービス機能の立地状況をみると、人口規模と同様、世帯数規模が大きい集落ほど、各種生活サービス機能が立地している集落の割合が高くなっている。

図表 3-97 集落の世帯数規模別・生活サービス機能が立地している集落数

全体	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）								総集落数
	病院・診療所	商店・スーパー	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
～9	46 (0.7%)	186 (2.8%)	52 (0.8%)	52 (0.8%)	48 (0.7%)	2,100 (31.3%)	147 (2.2%)	27 (0.4%)	6,711 (100.0%)
10～19	176 (1.5%)	783 (6.6%)	190 (1.6%)	257 (2.2%)	144 (1.2%)	4,854 (40.9%)	252 (2.1%)	138 (1.2%)	11,877 (100.0%)
20～29	291 (3.1%)	1,178 (12.4%)	282 (3.0%)	367 (3.9%)	199 (2.1%)	4,474 (47.1%)	258 (2.7%)	227 (2.4%)	9,508 (100.0%)
30～49	608 (5.0%)	2,440 (20.1%)	593 (4.9%)	758 (6.2%)	406 (3.3%)	6,457 (53.1%)	532 (4.4%)	469 (3.9%)	12,156 (100.0%)
50～99	1,148 (9.1%)	4,107 (32.5%)	1,195 (9.4%)	1,364 (10.8%)	892 (7.0%)	7,661 (60.5%)	990 (7.8%)	1,040 (8.2%)	12,655 (100.0%)
100～199	1,269 (18.6%)	3,292 (48.2%)	1,277 (18.7%)	1,218 (17.8%)	1,047 (15.3%)	4,630 (67.8%)	931 (13.6%)	1,102 (16.1%)	6,825 (100.0%)
200～499	1,201 (35.5%)	2,219 (65.5%)	1,109 (32.7%)	1,007 (29.7%)	875 (25.8%)	2,570 (75.9%)	744 (22.0%)	953 (28.1%)	3,387 (100.0%)
500～	554 (67.1%)	688 (83.3%)	501 (60.7%)	476 (57.6%)	439 (53.1%)	729 (88.3%)	409 (49.5%)	500 (60.5%)	826 (100.0%)
無回答	133 (8.9%)	291 (19.5%)	110 (7.4%)	157 (10.5%)	73 (4.9%)	576 (38.5%)	88 (5.9%)	93 (6.2%)	1,495 (100.0%)
合計	5,426 (8.3%)	15,184 (23.2%)	5,309 (8.1%)	5,656 (8.6%)	4,123 (6.3%)	34,051 (52.0%)	4,351 (6.6%)	4,549 (7.0%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者割合別に生活サービス機能の立地状況をみると、総じて高齢者割合が低い集落において、各種生活サービス機能が立地している集落の割合が高い。

図表 3-98 高齢者割合別・生活サービス機能が立地している集落数

全体	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）								総集落数
	病院・診療所	商店・スーパー	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
50%未満	4,730 (9.6%)	13,087 (26.7%)	4,683 (9.5%)	4,638 (9.4%)	3,446 (7.0%)	26,308 (53.6%)	3,743 (7.6%)	4,145 (8.4%)	49,099 (100.0%)
50%以上	503 (4.1%)	1,658 (13.7%)	474 (3.9%)	828 (6.8%)	454 (3.7%)	6,098 (50.3%)	441 (3.6%)	299 (2.5%)	12,125 (100.0%)
75%未満	26 (1.6%)	66 (4.1%)	20 (1.2%)	31 (1.9%)	53 (3.3%)	644 (39.6%)	31 (1.9%)	4 (0.2%)	1,628 (100.0%)
75%以上	4 (0.5%)	11 (1.5%)	4 (0.5%)	4 (0.5%)	57 (7.8%)	176 (24.0%)	6 (0.8%)	1 (0.1%)	734 (100.0%)
100%未満	163 (8.8%)	362 (19.5%)	128 (6.9%)	155 (8.4%)	113 (6.1%)	825 (44.5%)	130 (7.0%)	100 (5.4%)	1,854 (100.0%)
100%	4 (0.5%)	11 (1.5%)	4 (0.5%)	4 (0.5%)	57 (7.8%)	176 (24.0%)	6 (0.8%)	1 (0.1%)	734 (100.0%)
無回答	163 (8.8%)	362 (19.5%)	128 (6.9%)	155 (8.4%)	113 (6.1%)	825 (44.5%)	130 (7.0%)	100 (5.4%)	1,854 (100.0%)
合計	5,426 (8.3%)	15,184 (23.2%)	5,309 (8.1%)	5,656 (8.6%)	4,123 (6.3%)	34,051 (52.0%)	4,351 (6.6%)	4,549 (7.0%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に生活サービス機能の立地状況をみると、転入者がいるとされる集落の方が、転入者がいないとされる集落よりも、各種生活サービス機能が立地している集落の割合が高く、特に商店・スーパーにおいてその差が大きい。

図表 3-99 転入者の有無別・生活サービス機能が立地している集落数

全体	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）								総集落数
	病院・診療所	商店・スーパー	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
転入者あり	2,561 (9.8%)	7,586 (29.1%)	2,761 (10.6%)	3,007 (11.5%)	1,997 (7.7%)	15,872 (61.0%)	2,315 (8.9%)	2,249 (8.6%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	62 (1.5%)	265 (6.4%)	62 (1.5%)	86 (2.1%)	49 (1.2%)	1,816 (43.8%)	128 (3.1%)	51 (1.2%)	4,145 (100.0%)
わからない	2,682 (8.0%)	6,967 (20.8%)	2,372 (7.1%)	2,453 (7.3%)	1,995 (6.0%)	15,629 (46.7%)	1,814 (5.4%)	2,156 (6.4%)	33,472 (100.0%)
無回答	121 (6.8%)	366 (20.5%)	114 (6.4%)	110 (6.2%)	82 (4.6%)	734 (41.1%)	94 (5.3%)	93 (5.2%)	1,784 (100.0%)
合計	5,426 (8.3%)	15,184 (23.2%)	5,309 (8.1%)	5,656 (8.6%)	4,123 (6.3%)	34,051 (52.0%)	4,351 (6.6%)	4,549 (7.0%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

(8) サポート人材が活動する集落の状況

- 集落支援員や地域おこし協力隊などのサポート人材が活動する集落の状況をみると、調査対象集落の14.5%では集落支援員が、また16.9%の集落では地域おこし協力隊等が活動している。
- 地方ブロック別にサポート人材が活動する集落数をみると、中国圏及び九州圏では、集落支援員が活動する集落の割合が他の地方ブロックと比べて高い。また、北陸圏及び四国圏では、地域おこし協力隊が活動する集落の割合が、他の地方ブロックと比べて高い。

図表 3-100 地方ブロック別・サポート人材が活動する集落数

全体	サポート人材が活動する集落数			総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	
1 北海道	86 (2.2%)	516 (13.3%)	37 (1.0%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	882 (6.0%)	1,352 (9.2%)	358 (2.4%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	183 (7.6%)	575 (23.7%)	76 (3.1%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	299 (16.5%)	768 (42.4%)	12 (0.7%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	460 (11.8%)	704 (18.0%)	26 (0.7%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	428 (13.5%)	341 (10.8%)	111 (3.5%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	3,517 (27.5%)	3,370 (26.3%)	697 (5.4%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	732 (10.2%)	1,900 (26.5%)	198 (2.8%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	2,926 (19.0%)	1,511 (9.8%)	234 (1.5%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	2 (0.7%)	1 (0.4%)	283 (100.0%)
合計	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
 ■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別にサポート人材が活動する集落数をみると、「過疎地域」の方が、「前過疎・旧過疎」よりもサポート人材が活動する集落の割合が比較的多くみられ、特に「一部過疎」では集落支援員が活動する集落の割合が、「過疎」では、地域おこし協力隊が活動する集落の割合が、それぞれ他の過疎区分と比較して最も高くなっている。

図表 3-101 過疎区分別・サポート人材が活動する集落数

過疎区分別	サポート人材が活動する集落数			総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	
過疎地域	9,223 (14.9%)	10,805 (17.4%)	1,475 (2.4%)	61,920 (100.0%)
過疎	7,254 (15.5%)	8,719 (18.6%)	725 (1.5%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	618 (9.2%)	724 (10.7%)	65 (1.0%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	1,351 (16.2%)	1,362 (16.3%)	685 (8.2%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	290 (8.2%)	234 (6.6%)	275 (7.8%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	259 (9.0%)	141 (4.9%)	225 (7.9%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	31 (4.7%)	93 (14.1%)	50 (7.6%)	658 (100.0%)
合計	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別にサポート人材が活動する集落数をみると、基幹集落では、集落支援員が活動する集落の割合は17.2%と他の集落類型と比べて最も高くなっている。
- 一方、中心集落では、地域おこし協力隊等が活動する集落の割合が、20.4%と他の集落類型に比べて高くなっている。

図表 3-102 集落類型別・サポート人材が活動する集落数

全体	サポート人材が活動する集落数			総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	
基礎集落	7,768 (14.4%)	9,012 (16.7%)	1,459 (2.7%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	1,168 (17.2%)	1,136 (16.7%)	130 (1.9%)	6,806 (100.0%)
中心集落	511 (12.1%)	860 (20.4%)	95 (2.3%)	4,206 (100.0%)
無回答	66 (18.8%)	31 (8.8%)	66 (18.8%)	352 (100.0%)
合計	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別にサポート人材が活動する集落数をみると、山間地集落において、サポート人材が活動する集落の割合が他の地域区分に比べて高く、集落支援員は19.3%、地域おこし協力隊等は20.9%と、それぞれ2割前後の集落で活動がみられる。また、中間地集落においても15%前後の集落でサポート人材が活動する集落がみられる。
- これに対し、都市的地域では、集落支援員が活動する集落の割合は6.0%、地域おこし協力隊等が活動する集落の割合は9.2%と、サポート人材が活動する集落の割合が他の地域区分と比べて低い。

図表 3-103 地域区分別・サポート人材が活動する集落数

全体	サポート人材が活動する集落数			総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	
山間地	3,875 (19.3%)	4,180 (20.9%)	773 (3.9%)	20,031 (100.0%)
中間地	2,754 (14.4%)	3,214 (16.8%)	548 (2.9%)	19,174 (100.0%)
平地	2,569 (12.4%)	3,157 (15.2%)	394 (1.9%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	311 (6.0%)	476 (9.2%)	35 (0.7%)	5,171 (100.0%)
無回答	4 (1.2%)	12 (3.5%)	0 (0.0%)	339 (100.0%)
合計	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分



- 集落の人口規模別にサポート人材が活動する集落数をみると、サポート人材が活動する集落の割合は、人口10人以上25人未満の集落では、サポート人材が活動する集落の割合が他の人口規模と比べて最も高く、人口10人未満の集落がこれに次いでおり、小規模集落においてサポート人材の活用が図られている状況がうかがえる。

図表 3-104 集落の人口規模別・サポート人材が活動する集落数

全体	サポート人材が活動する集落数			総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	
～9	443 (19.3%)	511 (22.3%)	92 (4.0%)	2,291 (100.0%)
10～24	1,244 (20.5%)	1,426 (23.5%)	200 (3.3%)	6,059 (100.0%)
25～49	2,032 (17.8%)	2,491 (21.9%)	301 (2.6%)	11,394 (100.0%)
50～99	2,322 (14.6%)	2,796 (17.6%)	458 (2.9%)	15,858 (100.0%)
100～199	1,874 (12.7%)	2,068 (14.0%)	367 (2.5%)	14,726 (100.0%)
200～499	1,228 (11.6%)	1,256 (11.9%)	259 (2.5%)	10,568 (100.0%)
500～999	287 (10.5%)	317 (11.6%)	48 (1.8%)	2,738 (100.0%)
1000～	60 (5.5%)	128 (11.7%)	10 (0.9%)	1,095 (100.0%)
無回答	23 (3.2%)	46 (6.5%)	15 (2.1%)	711 (100.0%)
合計	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別にサポート人材が活動する集落数をみると、世帯数10世帯未満の集落では、集落支援員、地域おこし協力隊ともに、活動している集落の割合が他の世帯数規模に比べて高く、人口規模と同様、世帯数規模でも小規模な集落においてサポート人材の活用が図られていることがうかがえる。

図表 3-105 集落の世帯数規模別・サポート人材が活動する集落数

全体	サポート人材が活動する集落数			総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	
～9	1,380 (20.6%)	1,597 (23.8%)	206 (3.1%)	6,711 (100.0%)
10～19	2,065 (17.4%)	2,629 (22.1%)	335 (2.8%)	11,877 (100.0%)
20～29	1,439 (15.1%)	1,751 (18.4%)	272 (2.9%)	9,508 (100.0%)
30～49	1,627 (13.4%)	2,017 (16.6%)	353 (2.9%)	12,156 (100.0%)
50～99	1,725 (13.6%)	1,687 (13.3%)	326 (2.6%)	12,655 (100.0%)
100～199	861 (12.6%)	837 (12.3%)	177 (2.6%)	6,825 (100.0%)
200～499	368 (10.9%)	370 (10.9%)	60 (1.8%)	3,387 (100.0%)
500～	40 (4.8%)	103 (12.5%)	6 (0.7%)	826 (100.0%)
無回答	8 (0.5%)	48 (3.2%)	15 (1.0%)	1,495 (100.0%)
合計	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 役場(本庁)までの距離別にサポート人材が活動する集落数をみると、役場(本庁)から 20 km以上と遠距離にある集落で、サポート人材が活動する集落の割合が他の距離区分と比べて最も高くなっている。

図表 3-106 役場(本庁)までの距離別・サポート人材が活動する集落数

全体	サポート人材が活動する集落数			総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	
5km未満	1,846 (9.3%)	2,408 (12.2%)	271 (1.4%)	19,812 (100.0%)
5km以上	1,760 (12.1%)	2,089 (14.4%)	267 (1.8%)	14,509 (100.0%)
10km未満	2,800 (16.4%)	3,249 (19.0%)	495 (2.9%)	17,068 (100.0%)
10km以上	3,107 (23.6%)	3,291 (25.0%)	717 (5.4%)	13,169 (100.0%)
20km未満	0 (0.0%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	882 (100.0%)
20km以上	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	882 (100.0%)
合計	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい本庁までの距離区分

- 高齢者割合別にサポート人材が活動する集落数をみると、高齢者割合が 75%以上 100%未満の集落において、集落支援員が活動する集落の割合が他の区分と比べて最も高くなっている。また、高齢者割合が 100%(集落住民全員が 65 歳以上)の集落では、地域おこし協力隊が活動する集落の割合が、約 4 分の 1 となっており、他の区分に比べて高い。

図表 3-107 高齢者割合別・サポート人材が活動する集落数

全体	サポート人材が活動する集落数			総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	
50%未満	6,378 (13.0%)	7,725 (15.7%)	1,203 (2.5%)	49,099 (100.0%)
50%以上	2,418 (19.9%)	2,626 (21.7%)	390 (3.2%)	12,125 (100.0%)
75%未満	366 (22.5%)	369 (22.7%)	88 (5.4%)	1,628 (100.0%)
75%以上	140 (19.1%)	179 (24.4%)	42 (5.7%)	734 (100.0%)
100%未満	211 (11.4%)	140 (7.6%)	27 (1.5%)	1,854 (100.0%)
100%	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)
無回答	211 (11.4%)	140 (7.6%)	27 (1.5%)	1,854 (100.0%)
合計	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別にサポート人材が活動する集落数をみると、転入者がいないとされる集落の方が、転入者がいるとされる集落に比べて、サポート人材が活動する集落の割合がやや高くなっている。

図表 3-108 転入者の有無別・サポート人材が活動する集落数

全体	サポート人材が活動する集落数			総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他	
転入者あり	4,495 (17.3%)	4,153 (15.9%)	761 (2.9%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	778 (18.8%)	869 (21.0%)	205 (4.9%)	4,145 (100.0%)
わからない	4,102 (12.3%)	5,964 (17.8%)	784 (2.3%)	33,472 (100.0%)
無回答	138 (7.7%)	53 (3.0%)	0 (0.0%)	1,784 (100.0%)
合計	9,513 (14.5%)	11,039 (16.9%)	1,750 (2.7%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

(9) 集落機能の維持状況

① 資源管理機能の維持状況

- 資源管理機能の維持状況をみると、集落住民により維持されている集落が93.8%と大半を占める。
- 地方ブロック別に資源管理機能の維持状況をみると、北海道を除く各ブロックでは、集落住民により維持されている集落が9割以上を占め、特に北陸圏で、他の地方ブロックと比べて高い割合となっている。中部圏や北海道では、「他集落と合同で維持」の割合が他の地方ブロックに比べてやや高い。

図表 3-109 地方ブロック別・資源管理機能の維持状況別 集落数

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,338 (86.1%)	145 (3.7%)	0 (0.0%)	350 (9.0%)	43 (1.1%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	13,972 (95.6%)	287 (2.0%)	1 (0.0%)	350 (2.4%)	8 (0.1%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	2,314 (95.5%)	60 (2.5%)	0 (0.0%)	49 (2.0%)	0 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	1,798 (99.2%)	6 (0.3%)	1 (0.1%)	7 (0.4%)	0 (0.0%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	3,515 (90.0%)	182 (4.7%)	4 (0.1%)	120 (3.1%)	83 (2.1%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	3,130 (98.8%)	24 (0.8%)	0 (0.0%)	13 (0.4%)	1 (0.0%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	12,032 (94.0%)	243 (1.9%)	5 (0.0%)	506 (4.0%)	8 (0.1%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	6,772 (94.4%)	204 (2.8%)	1 (0.0%)	133 (1.9%)	67 (0.9%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	14,231 (92.5%)	406 (2.6%)	8 (0.1%)	611 (4.0%)	129 (0.8%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	272 (96.1%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	5 (1.8%)	3 (1.1%)	283 (100.0%)
合計	61,374 (93.8%)	1,560 (2.4%)	20 (0.0%)	2,144 (3.3%)	342 (0.5%)	65,440 (100.0%)
参考: 前回調査	61,231 (94.3%)	1,284 (2.0%)	19 (0.0%)	2,029 (3.1%)	3,391 (5.2%)	64,954 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に資源管理機能の維持状況をみると、「非過疎市町村の旧過疎地域」では集落住民により維持されている集落の割合が他の過疎区分と比べて最も高く、「一部過疎」では「他集落と合同で維持」の割合が他の過疎区分と比べて比較的高い。

図表 3-110 過疎区分別・資源管理機能の維持状況別 集落数

過疎区分別	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
過疎地域	57,957 (93.6%)	1,550 (2.5%)	20 (0.0%)	2,111 (3.4%)	282 (0.5%)	61,920 (100.0%)
過疎	43,578 (93.1%)	1,222 (2.6%)	18 (0.0%)	1,749 (3.7%)	264 (0.6%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	6,488 (96.1%)	32 (0.5%)	1 (0.0%)	227 (3.4%)	3 (0.0%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	7,891 (94.6%)	296 (3.6%)	1 (0.0%)	135 (1.6%)	15 (0.2%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	3,417 (97.1%)	10 (0.3%)	0 (0.0%)	33 (0.9%)	60 (1.7%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	2,775 (97.0%)	8 (0.3%)	0 (0.0%)	21 (0.7%)	58 (2.0%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	642 (97.6%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	12 (1.8%)	2 (0.3%)	658 (100.0%)
合計	61,374 (93.8%)	1,560 (2.4%)	20 (0.0%)	2,144 (3.3%)	342 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に資源管理機能の維持状況をみると、大きな差はみられないが、基礎集落では、集落住民により維持されている集落の割合が他の集落類型と比べてやや高く、基幹集落では、他集落と合同で維持されている集落の割合が他の集落類型と比べてやや高い。
- また、資源管理機能がボランティア等により維持されている集落は、すべて基礎集落である。

図表 3-111 集落類型別・資源管理機能の維持状況別 集落数

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
基礎集落	50,865 (94.1%)	1,267 (2.3%)	20 (0.0%)	1,673 (3.1%)	251 (0.5%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	6,336 (93.1%)	184 (2.7%)	0 (0.0%)	266 (3.9%)	20 (0.3%)	6,806 (100.0%)
中心集落	3,903 (92.8%)	95 (2.3%)	0 (0.0%)	193 (4.6%)	15 (0.4%)	4,206 (100.0%)
無回答	270 (76.7%)	14 (4.0%)	0 (0.0%)	12 (3.4%)	56 (15.9%)	352 (100.0%)
合計	61,374 (93.8%)	1,560 (2.4%)	20 (0.0%)	2,144 (3.3%)	342 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に資源管理機能の維持状況をみると、資源管理機能が集落住民により維持されている集落の割合は、都市的地域以外ではほとんど差がみられないが、他集落と合同で維持されている集落の割合は、山間地と中間地において、3%前後と他の地方ブロックと比べて比較的高くなっている。

図表 3-112 地域区分別・資源管理機能の維持状況別 集落数

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
山間地	18,883 (94.3%)	607 (3.0%)	7 (0.0%)	506 (2.5%)	28 (0.1%)	20,031 (100.0%)
中間地	18,054 (94.2%)	551 (2.9%)	3 (0.0%)	489 (2.6%)	77 (0.4%)	19,174 (100.0%)
平地	19,747 (95.3%)	324 (1.6%)	7 (0.0%)	527 (2.5%)	120 (0.6%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	4,458 (86.2%)	78 (1.5%)	3 (0.1%)	620 (12.0%)	12 (0.2%)	5,171 (100.0%)
無回答	232 (68.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.6%)	105 (31.0%)	339 (100.0%)
合計	61,374 (93.8%)	1,560 (2.4%)	20 (0.0%)	2,144 (3.3%)	342 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 集落の人口規模別に資源管理機能の維持状況を見ると、人口 10 人未満の集落では、他集落と合同で維持されている割合が、他の人口規模と比べて相対的に高い。

図表 3-113 集落の人口規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9	1,851 (80.8%)	239 (10.4%)	3 (0.1%)	188 (8.2%)	10 (0.4%)	2,291 (100.0%)
10～24	5,595 (92.3%)	244 (4.0%)	5 (0.1%)	184 (3.0%)	31 (0.5%)	6,059 (100.0%)
25～49	10,703 (93.9%)	316 (2.8%)	7 (0.1%)	282 (2.5%)	86 (0.8%)	11,394 (100.0%)
50～99	15,007 (94.6%)	329 (2.1%)	5 (0.0%)	422 (2.7%)	95 (0.6%)	15,858 (100.0%)
100～199	14,055 (95.4%)	222 (1.5%)	0 (0.0%)	399 (2.7%)	50 (0.3%)	14,726 (100.0%)
200～499	9,983 (94.5%)	145 (1.4%)	0 (0.0%)	404 (3.8%)	36 (0.3%)	10,568 (100.0%)
500～999	2,573 (94.0%)	21 (0.8%)	0 (0.0%)	132 (4.8%)	12 (0.4%)	2,738 (100.0%)
1000～	986 (90.0%)	7 (0.6%)	0 (0.0%)	97 (8.9%)	5 (0.5%)	1,095 (100.0%)
無回答	621 (87.3%)	37 (5.2%)	0 (0.0%)	36 (5.1%)	17 (2.4%)	711 (100.0%)
合計	61,374 (93.8%)	1,560 (2.4%)	20 (0.0%)	2,144 (3.3%)	342 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 世帯数規模別に資源管理機能の維持状況を見ると、世帯数が 10 世帯未満の集落では、他集落と合同で維持されている集落の割合がやや高い。

図表 3-114 集落の世帯数規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9	5,948 (88.6%)	435 (6.5%)	4 (0.1%)	296 (4.4%)	28 (0.4%)	6,711 (100.0%)
10～19	11,269 (94.9%)	302 (2.5%)	4 (0.0%)	241 (2.0%)	61 (0.5%)	11,877 (100.0%)
20～29	9,065 (95.3%)	195 (2.1%)	2 (0.0%)	179 (1.9%)	67 (0.7%)	9,508 (100.0%)
30～49	11,546 (95.0%)	226 (1.9%)	5 (0.0%)	321 (2.6%)	58 (0.5%)	12,156 (100.0%)
50～99	11,938 (94.3%)	209 (1.7%)	5 (0.0%)	461 (3.6%)	42 (0.3%)	12,655 (100.0%)
100～199	6,412 (93.9%)	87 (1.3%)	0 (0.0%)	309 (4.5%)	17 (0.2%)	6,825 (100.0%)
200～499	3,151 (93.0%)	25 (0.7%)	0 (0.0%)	196 (5.8%)	15 (0.4%)	3,387 (100.0%)
500～	724 (87.7%)	6 (0.7%)	0 (0.0%)	93 (11.3%)	3 (0.4%)	826 (100.0%)
無回答	1,321 (88.4%)	75 (5.0%)	0 (0.0%)	48 (3.2%)	51 (3.4%)	1,495 (100.0%)
合計	61,374 (93.8%)	1,560 (2.4%)	20 (0.0%)	2,144 (3.3%)	342 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者割合別に資源管理機能の維持状況をみると、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では、集落住民により維持されている集落の割合は7割弱であり、他の区分と比較して比較的低い。一方で、他集落と合同で維持されている、あるいはボランティア等により維持されているとする集落の割合が、他の区分よりも高くなっている。

図表 3-115 高齢者割合別・資源管理機能の維持状況別 集落数

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
50%未満	46,315 (94.3%)	933 (1.9%)	2 (0.0%)	1,634 (3.3%)	215 (0.4%)	49,099 (100.0%)
50%以上 75%未満	11,380 (93.9%)	418 (3.4%)	2 (0.0%)	261 (2.2%)	64 (0.5%)	12,125 (100.0%)
75%以上 100%未満	1,455 (89.4%)	89 (5.5%)	2 (0.1%)	77 (4.7%)	5 (0.3%)	1,628 (100.0%)
100%	507 (69.1%)	78 (10.6%)	14 (1.9%)	128 (17.4%)	7 (1.0%)	734 (100.0%)
無回答	1,717 (92.6%)	42 (2.3%)	0 (0.0%)	44 (2.4%)	51 (2.8%)	1,854 (100.0%)
合計	61,374 (93.8%)	1,560 (2.4%)	20 (0.0%)	2,144 (3.3%)	342 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に資源管理機能の維持状況をみると、転入者がいないとされる集落は、転入者がいるとされる集落よりも、集落住民により維持されている集落の割合がわずかに低く、一方で、他集落と合同で維持されている割合がやや高い。

図表 3-116 転入者の有無別・資源管理機能の維持状況別 集落数

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
転入者あり	23,962 (92.0%)	676 (2.6%)	5 (0.0%)	1,284 (4.9%)	112 (0.4%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	3,704 (89.4%)	249 (6.0%)	3 (0.1%)	181 (4.4%)	8 (0.2%)	4,145 (100.0%)
わからない	32,122 (96.0%)	630 (1.9%)	12 (0.0%)	606 (1.8%)	102 (0.3%)	33,472 (100.0%)
無回答	1,586 (88.9%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	73 (4.1%)	120 (6.7%)	1,784 (100.0%)
合計	61,374 (93.8%)	1,560 (2.4%)	20 (0.0%)	2,144 (3.3%)	342 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

## ②生産補完機能の維持状況

- 生産補完機能の維持状況をみると、集落住民により維持されている集落が94.0%と大半を占める。
- 地方ブロック別に生産補完機能の維持状況をみると、北陸圏や近畿圏では、集落住民により維持されている集落の割合が、他の地方ブロックと比べてわずかに高く、北海道では、他集落と合同で維持されている集落の割合が、他の地方ブロックと比べてわずかに高い。

図表 3-117 地方ブロック別・生産補完機能の維持状況別 集落数

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,370 (86.9%)	167 (4.3%)	0 (0.0%)	314 (8.1%)	25 (0.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	13,918 (95.2%)	289 (2.0%)	0 (0.0%)	403 (2.8%)	8 (0.1%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	2,368 (97.7%)	14 (0.6%)	0 (0.0%)	41 (1.7%)	0 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	1,805 (99.6%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	3,660 (93.8%)	130 (3.3%)	6 (0.2%)	68 (1.7%)	40 (1.0%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	3,126 (98.7%)	23 (0.7%)	0 (0.0%)	13 (0.4%)	6 (0.2%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	12,019 (93.9%)	294 (2.3%)	6 (0.0%)	470 (3.7%)	5 (0.0%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	6,709 (93.5%)	174 (2.4%)	0 (0.0%)	227 (3.2%)	67 (0.9%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	14,241 (92.6%)	460 (3.0%)	43 (0.3%)	549 (3.6%)	92 (0.6%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	272 (96.1%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	5 (1.8%)	3 (1.1%)	283 (100.0%)
合計	61,488 (94.0%)	1,555 (2.4%)	56 (0.1%)	2,095 (3.2%)	246 (0.4%)	65,440 (100.0%)
参考: 前回調査	61,288 (94.4%)	1,269 (2.0%)	52 (0.1%)	1,966 (3.0%)	379 (0.6%)	64,954 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に生産補完機能の維持状況をみると、「現一部過疎の非過疎地域」では、集落住民により維持されている集落の割合が他の過疎区分と比べて高い。また、「一部過疎」では、他集落と合同で維持されている集落の割合が、他の過疎区分と比べてやや高くなってる。

図表 3-118 過疎区分別・生産補完機能の維持状況別 集落数

過疎区分別	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
過疎地域	58,073 (93.8%)	1,536 (2.5%)	20 (0.0%)	2,062 (3.3%)	229 (0.4%)	61,920 (100.0%)
過疎	43,756 (93.4%)	1,198 (2.6%)	18 (0.0%)	1,648 (3.5%)	211 (0.5%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	6,439 (95.4%)	34 (0.5%)	1 (0.0%)	274 (4.1%)	3 (0.0%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	7,878 (94.5%)	304 (3.6%)	1 (0.0%)	140 (1.7%)	15 (0.2%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	3,415 (97.0%)	19 (0.5%)	36 (1.0%)	33 (0.9%)	17 (0.5%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	2,815 (98.4%)	11 (0.4%)	0 (0.0%)	21 (0.7%)	15 (0.5%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	600 (91.2%)	8 (1.2%)	36 (5.5%)	12 (1.8%)	2 (0.3%)	658 (100.0%)
合計	61,488 (94.0%)	1,555 (2.4%)	56 (0.1%)	2,095 (3.2%)	246 (0.4%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に生産補完機能の維持状況をみると、基礎集落では、集落住民により維持されている集落の割合、他集落と合同で維持されている集落の割合及びボランティア等により維持されている集落の割合が、いずれも他の集落類型と比べてわずかに高くなっている。
- 生産補完機能がボランティア等により維持されている集落は、ほぼすべてが基礎集落である。

図表 3-119 集落類型別・生産補完機能の維持状況別 集落数

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
基礎集落	50,928 (94.2%)	1,312 (2.4%)	53 (0.1%)	1,625 (3.0%)	158 (0.3%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	6,379 (93.7%)	145 (2.1%)	2 (0.0%)	263 (3.9%)	17 (0.2%)	6,806 (100.0%)
中心集落	3,911 (93.0%)	84 (2.0%)	1 (0.0%)	195 (4.6%)	15 (0.4%)	4,206 (100.0%)
無回答	270 (76.7%)	14 (4.0%)	0 (0.0%)	12 (3.4%)	56 (15.9%)	352 (100.0%)
合計	61,488 (94.0%)	1,555 (2.4%)	56 (0.1%)	2,095 (3.2%)	246 (0.4%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に生産補完機能の維持状況をみると、山間地集落及び中間地集落において、他集落と合同で維持されている集落の割合が3.0%となっており、他の地域区分と比べてやや高い。

図表 3-120 地域区分別・生産補完機能の維持状況別 集落数

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
山間地	18,942 (94.6%)	596 (3.0%)	9 (0.0%)	471 (2.4%)	13 (0.1%)	20,031 (100.0%)
中間地	18,112 (94.5%)	582 (3.0%)	3 (0.0%)	442 (2.3%)	35 (0.2%)	19,174 (100.0%)
平地	19,776 (95.4%)	290 (1.4%)	41 (0.2%)	518 (2.5%)	100 (0.5%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	4,432 (85.7%)	87 (1.7%)	3 (0.1%)	637 (12.3%)	12 (0.2%)	5,171 (100.0%)
無回答	226 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	27 (8.0%)	86 (25.4%)	339 (100.0%)
合計	61,488 (94.0%)	1,555 (2.4%)	56 (0.1%)	2,095 (3.2%)	246 (0.4%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分



- 集落の人口規模別に生産補完機能の維持状況を見ると、人口 10 人未満の集落では、他集落と合同で維持されている集落の割合が 10.5%と他の人口規模と比べて高くなっている。

図表 3-121 集落の人口規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9	1,866 (81.4%)	240 (10.5%)	3 (0.1%)	174 (7.6%)	8 (0.3%)	2,291 (100.0%)
10～24	5,626 (92.9%)	246 (4.1%)	6 (0.1%)	155 (2.6%)	26 (0.4%)	6,059 (100.0%)
25～49	10,754 (94.4%)	311 (2.7%)	7 (0.1%)	255 (2.2%)	67 (0.6%)	11,394 (100.0%)
50～99	15,074 (95.1%)	318 (2.0%)	9 (0.1%)	393 (2.5%)	64 (0.4%)	15,858 (100.0%)
100～199	14,072 (95.6%)	223 (1.5%)	4 (0.0%)	397 (2.7%)	30 (0.2%)	14,726 (100.0%)
200～499	9,948 (94.1%)	144 (1.4%)	18 (0.2%)	437 (4.1%)	21 (0.2%)	10,568 (100.0%)
500～999	2,553 (93.2%)	29 (1.1%)	8 (0.3%)	142 (5.2%)	6 (0.2%)	2,738 (100.0%)
1000～	975 (89.0%)	8 (0.7%)	1 (0.1%)	104 (9.5%)	7 (0.6%)	1,095 (100.0%)
無回答	620 (87.2%)	36 (5.1%)	0 (0.0%)	38 (5.3%)	17 (2.4%)	711 (100.0%)
合計	61,488 (94.0%)	1,555 (2.4%)	56 (0.1%)	2,095 (3.2%)	246 (0.4%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別に生産補完機能の維持状況を見ると、人口規模と同様、小規模な集落では、他の集落と合同で維持されている集落の割合がやや高い傾向にある。

図表 3-122 集落の世帯数規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9	6,002 (89.4%)	439 (6.5%)	4 (0.1%)	245 (3.7%)	21 (0.3%)	6,711 (100.0%)
10～19	11,305 (95.2%)	301 (2.5%)	6 (0.1%)	223 (1.9%)	42 (0.4%)	11,877 (100.0%)
20～29	9,119 (95.9%)	185 (1.9%)	1 (0.0%)	160 (1.7%)	43 (0.5%)	9,508 (100.0%)
30～49	11,572 (95.2%)	225 (1.9%)	7 (0.1%)	314 (2.6%)	38 (0.3%)	12,156 (100.0%)
50～99	11,936 (94.3%)	205 (1.6%)	14 (0.1%)	471 (3.7%)	29 (0.2%)	12,655 (100.0%)
100～199	6,390 (93.6%)	86 (1.3%)	12 (0.2%)	328 (4.8%)	9 (0.1%)	6,825 (100.0%)
200～499	3,129 (92.4%)	33 (1.0%)	11 (0.3%)	206 (6.1%)	8 (0.2%)	3,387 (100.0%)
500～	716 (86.7%)	6 (0.7%)	1 (0.1%)	98 (11.9%)	5 (0.6%)	826 (100.0%)
無回答	1,319 (88.2%)	75 (5.0%)	0 (0.0%)	50 (3.3%)	51 (3.4%)	1,495 (100.0%)
合計	61,488 (94.0%)	1,555 (2.4%)	56 (0.1%)	2,095 (3.2%)	246 (0.4%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者割合別に生産補完機能の維持状況をみると、他集落と合同で維持されている集落の割合は、高齢者割合が高い集落ほど高く、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では10.2%と1割を超えている。

図表 3-123 高齢者割合別・生産補完機能の維持状況別 集落数

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
50%未満	46,368 (94.4%)	963 (2.0%)	36 (0.1%)	1,596 (3.3%)	136 (0.3%)	49,099 (100.0%)
50%以上	11,420 (94.2%)	405 (3.3%)	6 (0.0%)	246 (2.0%)	48 (0.4%)	12,125 (100.0%)
75%未満	1,479 (90.8%)	69 (4.2%)	2 (0.1%)	74 (4.5%)	4 (0.2%)	1,628 (100.0%)
75%以上	510 (69.5%)	75 (10.2%)	12 (1.6%)	130 (17.7%)	7 (1.0%)	734 (100.0%)
100%未満	1,711 (92.3%)	43 (2.3%)	0 (0.0%)	49 (2.6%)	51 (2.8%)	1,854 (100.0%)
100%	61,488 (94.0%)	1,555 (2.4%)	56 (0.1%)	2,095 (3.2%)	246 (0.4%)	65,440 (100.0%)
無回答						
合計						

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に生産補完機能の維持状況をみると、転入者がいないとされる集落では、他集落と合同で維持されている集落の割合が6.9%となっており、転入者がいるとされる集落と比べてやや高くなっている。

図表 3-124 転入者の有無別・生産補完機能の維持状況別 集落数

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
転入者あり	24,025 (92.3%)	691 (2.7%)	4 (0.0%)	1,213 (4.7%)	106 (0.4%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	3,701 (89.3%)	288 (6.9%)	4 (0.1%)	144 (3.5%)	8 (0.2%)	4,145 (100.0%)
わからない	32,235 (96.3%)	571 (1.7%)	48 (0.1%)	577 (1.7%)	41 (0.1%)	33,472 (100.0%)
無回答	1,527 (85.6%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	161 (9.0%)	91 (5.1%)	1,784 (100.0%)
合計	61,488 (94.0%)	1,555 (2.4%)	56 (0.1%)	2,095 (3.2%)	246 (0.4%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

### ③生活扶助機能の維持状況

- 生活扶助機能の維持状況をみると、全体では集落住民により維持されている集落が95.4%を占める。
- 地方ブロック別に生活扶助機能の維持状況をみると、北陸圏では、集落住民により維持されている集落の割合が他の地方ブロックと比べて高く、北海道では、他集落と合同で維持されている集落の割合が他の地方ブロックと比べてやや高くなっている。

図表 3-125 地方ブロック別・生活扶助機能の維持状況別 集落数

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,495 (90.2%)	230 (5.9%)	0 (0.0%)	126 (3.3%)	25 (0.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	13,982 (95.6%)	155 (1.1%)	0 (0.0%)	473 (3.2%)	8 (0.1%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	2,385 (98.4%)	8 (0.3%)	0 (0.0%)	30 (1.2%)	0 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	1,803 (99.5%)	3 (0.2%)	1 (0.1%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	3,645 (93.4%)	171 (4.4%)	3 (0.1%)	45 (1.2%)	40 (1.0%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	3,123 (98.6%)	25 (0.8%)	1 (0.0%)	13 (0.4%)	6 (0.2%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	12,278 (96.0%)	285 (2.2%)	13 (0.1%)	214 (1.7%)	4 (0.0%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	6,935 (96.6%)	171 (2.4%)	2 (0.0%)	69 (1.0%)	0 (0.0%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	14,489 (94.2%)	398 (2.6%)	132 (0.9%)	343 (2.2%)	23 (0.1%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	277 (97.9%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.1%)	283 (100.0%)
合計	62,412 (95.4%)	1,449 (2.2%)	152 (0.2%)	1,318 (2.0%)	109 (0.2%)	65,440 (100.0%)
参考: 前回調査	61,946 (95.4%)	1,297 (2.0%)	145 (0.2%)	1,263 (1.9%)	303 (0.5%)	64,954 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に生活扶助機能の維持状況をみると、「現一部過疎の非過疎地域」では、集落住民により維持されている集落の割合が他の過疎区分と比べて最も高く、「一部過疎」では他集落と合同で維持されている割合が他の過疎区分と比べて最も高い。

図表 3-126 過疎区分別・生活扶助機能の維持状況別 集落数

過疎区分別	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
過疎地域	58,975 (95.2%)	1,436 (2.3%)	152 (0.2%)	1,265 (2.0%)	92 (0.1%)	61,920 (100.0%)
過疎	44,533 (95.1%)	1,133 (2.4%)	151 (0.3%)	931 (2.0%)	83 (0.2%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	6,446 (95.5%)	37 (0.5%)	1 (0.0%)	264 (3.9%)	3 (0.0%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	7,996 (95.9%)	266 (3.2%)	0 (0.0%)	70 (0.8%)	6 (0.1%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	3,437 (97.6%)	13 (0.4%)	0 (0.0%)	53 (1.5%)	17 (0.5%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	2,835 (99.1%)	8 (0.3%)	0 (0.0%)	4 (0.1%)	15 (0.5%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	602 (91.5%)	5 (0.8%)	0 (0.0%)	49 (7.4%)	2 (0.3%)	658 (100.0%)
合計	62,412 (95.4%)	1,449 (2.2%)	152 (0.2%)	1,318 (2.0%)	109 (0.2%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に生活扶助機能の維持状況をみると、集落住民により維持されている集落、他集落と合同で維持されている集落及びボランティア等により維持されている集落の割合は、基礎集落、基幹集落、中心集落の間で大きな差はみられない。

図表 3-127 集落類型別・生活扶助機能の維持状況別 集落数

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
基礎集落	51,574 (95.4%)	1,181 (2.2%)	132 (0.2%)	1,148 (2.1%)	41 (0.1%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	6,538 (96.1%)	156 (2.3%)	15 (0.2%)	89 (1.3%)	8 (0.1%)	6,806 (100.0%)
中心集落	4,022 (95.6%)	98 (2.3%)	5 (0.1%)	77 (1.8%)	4 (0.1%)	4,206 (100.0%)
無回答	278 (79.0%)	14 (4.0%)	0 (0.0%)	4 (1.1%)	56 (15.9%)	352 (100.0%)
合計	62,412 (95.4%)	1,449 (2.2%)	152 (0.2%)	1,318 (2.0%)	109 (0.2%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に生活扶助機能の維持状況をみると、集落住民により維持されている集落、他集落と合同で維持されている集落及びボランティア等により維持されている集落の割合は、山間地集落、中間地集落、平地集落及び都市的地域における集落の間で大きな差はみられない。集落住民により維持されている集落の割合は、山間地・中間地及び平地において、それぞれ95%以上となっている。

図表 3-128 地域区分別・生活扶助機能の維持状況別 集落数

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
山間地	19,145 (95.6%)	511 (2.6%)	67 (0.3%)	297 (1.5%)	11 (0.1%)	20,031 (100.0%)
中間地	18,291 (95.4%)	504 (2.6%)	69 (0.4%)	288 (1.5%)	22 (0.1%)	19,174 (100.0%)
平地	19,922 (96.1%)	252 (1.2%)	13 (0.1%)	520 (2.5%)	18 (0.1%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	4,763 (92.1%)	182 (3.5%)	3 (0.1%)	211 (4.1%)	12 (0.2%)	5,171 (100.0%)
無回答	291 (85.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.6%)	46 (13.6%)	339 (100.0%)
合計	62,412 (95.4%)	1,449 (2.2%)	152 (0.2%)	1,318 (2.0%)	109 (0.2%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 集落の人口規模別に生活扶助機能の維持状況を見ると、人口 10 人未満の集落では、他集落と合同で維持されている集落の割合が 11.7%と、他の人口規模と比べて特になくなっている。

図表 3-129 集落の人口規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9	1,842 (80.4%)	268 (11.7%)	5 (0.2%)	168 (7.3%)	8 (0.3%)	2,291 (100.0%)
10～24	5,656 (93.3%)	267 (4.4%)	11 (0.2%)	113 (1.9%)	12 (0.2%)	6,059 (100.0%)
25～49	10,893 (95.6%)	275 (2.4%)	23 (0.2%)	181 (1.6%)	22 (0.2%)	11,394 (100.0%)
50～99	15,254 (96.2%)	287 (1.8%)	47 (0.3%)	249 (1.6%)	21 (0.1%)	15,858 (100.0%)
100～199	14,259 (96.8%)	194 (1.3%)	31 (0.2%)	232 (1.6%)	10 (0.1%)	14,726 (100.0%)
200～499	10,176 (96.3%)	123 (1.2%)	25 (0.2%)	236 (2.2%)	8 (0.1%)	10,568 (100.0%)
500～999	2,637 (96.3%)	16 (0.6%)	5 (0.2%)	76 (2.8%)	4 (0.1%)	2,738 (100.0%)
1000～	1,022 (93.3%)	8 (0.7%)	5 (0.5%)	53 (4.8%)	7 (0.6%)	1,095 (100.0%)
無回答	673 (94.7%)	11 (1.5%)	0 (0.0%)	10 (1.4%)	17 (2.4%)	711 (100.0%)
合計	62,412 (95.4%)	1,449 (2.2%)	152 (0.2%)	1,318 (2.0%)	109 (0.2%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別に生活扶助機能の維持状況を見ると、世帯数が 10 世帯未満の集落において、他集落と合同で維持されている集落の割合が 7.2%と他の世帯数規模と比べてやや高くなっている。

図表 3-130 集落の世帯数規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9	5,967 (88.9%)	486 (7.2%)	6 (0.1%)	236 (3.5%)	16 (0.2%)	6,711 (100.0%)
10～19	11,415 (96.1%)	267 (2.2%)	21 (0.2%)	161 (1.4%)	13 (0.1%)	11,877 (100.0%)
20～29	9,204 (96.8%)	154 (1.6%)	14 (0.1%)	129 (1.4%)	7 (0.1%)	9,508 (100.0%)
30～49	11,707 (96.3%)	221 (1.8%)	42 (0.3%)	183 (1.5%)	3 (0.0%)	12,156 (100.0%)
50～99	12,134 (95.9%)	186 (1.5%)	40 (0.3%)	289 (2.3%)	6 (0.0%)	12,655 (100.0%)
100～199	6,580 (96.4%)	71 (1.0%)	18 (0.3%)	154 (2.3%)	2 (0.0%)	6,825 (100.0%)
200～499	3,238 (95.6%)	29 (0.9%)	9 (0.3%)	105 (3.1%)	6 (0.2%)	3,387 (100.0%)
500～	762 (92.3%)	7 (0.8%)	2 (0.2%)	50 (6.1%)	5 (0.6%)	826 (100.0%)
無回答	1,405 (94.0%)	28 (1.9%)	0 (0.0%)	11 (0.7%)	51 (3.4%)	1,495 (100.0%)
合計	62,412 (95.4%)	1,449 (2.2%)	152 (0.2%)	1,318 (2.0%)	109 (0.2%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者割合別に生活扶助機能の維持状況をみると、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では、集落住民により維持されている集落の割合は68.8%と7割以下である。一方、他集落と合同で維持されている集落の割合が、10.9%と他の過疎区分と比べて高くなっている。

図表 3-131 高齢者割合別・生活扶助機能の維持状況別 集落数

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
50%未満	47,091 (95.9%)	877 (1.8%)	111 (0.2%)	974 (2.0%)	46 (0.1%)	49,099 (100.0%)
50%以上	11,582 (95.5%)	387 (3.2%)	22 (0.2%)	131 (1.1%)	3 (0.0%)	12,125 (100.0%)
75%未満	1,472 (90.4%)	88 (5.4%)	6 (0.4%)	61 (3.7%)	1 (0.1%)	1,628 (100.0%)
75%以上	505 (68.8%)	80 (10.9%)	13 (1.8%)	128 (17.4%)	8 (1.1%)	734 (100.0%)
100%未満	1,762 (95.0%)	17 (0.9%)	0 (0.0%)	24 (1.3%)	51 (2.8%)	1,854 (100.0%)
100%	62,412 (95.4%)	1,449 (2.2%)	152 (0.2%)	1,318 (2.0%)	109 (0.2%)	65,440 (100.0%)
無回答						
合計						

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に生活扶助機能の維持状況をみると、大きな差はみられないが、転入者がいないとされる集落では、転入者がいるとされる集落に比べて、他集落と合同で維持されている集落の割合がわずかに高くなっている。

- また、ボランティア等により維持されている集落の大半は、転入者がいるとされる集落である。

図表 3-132 転入者の有無別・生活扶助機能の維持状況別 集落数

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
転入者あり	24,463 (93.9%)	714 (2.7%)	129 (0.5%)	711 (2.7%)	22 (0.1%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	3,707 (89.4%)	297 (7.2%)	3 (0.1%)	137 (3.3%)	1 (0.0%)	4,145 (100.0%)
わからない	32,528 (97.2%)	433 (1.3%)	20 (0.1%)	451 (1.3%)	40 (0.1%)	33,472 (100.0%)
無回答	1,714 (96.1%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	19 (1.1%)	46 (2.6%)	1,784 (100.0%)
合計	62,412 (95.4%)	1,449 (2.2%)	152 (0.2%)	1,318 (2.0%)	109 (0.2%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

#### ④集落機能の維持状況

- 集落機能全体の維持状況をみると、全体では 82.1%の集落で良好に維持されているが、13.1%の集落では機能が低下となっており、4.3%の集落が維持困難となっている。
- 地方ブロック別に集落機能の維持状況をみると、沖縄県や東北圏で機能維持が「良好」とされている集落の割合が他の地方ブロックと比べて高く、中部圏や四国圏では、「機能低下」の割合が他の地方ブロックと比べて高く、また、四国圏は「維持困難」の集落の割合も、他の地方ブロックと比べて高くなっている。

図表 3-133 地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,250 (83.8%)	438 (11.3%)	163 (4.2%)	25 (0.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	13,082 (89.5%)	1,327 (9.1%)	186 (1.3%)	23 (0.2%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	1,992 (82.2%)	269 (11.1%)	162 (6.7%)	0 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	1,547 (85.4%)	176 (9.7%)	89 (4.9%)	0 (0.0%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	2,831 (72.5%)	793 (20.3%)	237 (6.1%)	43 (1.1%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	2,399 (75.7%)	524 (16.5%)	236 (7.4%)	9 (0.3%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	10,081 (78.8%)	2,039 (15.9%)	582 (4.5%)	92 (0.7%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	5,234 (72.9%)	1,272 (17.7%)	664 (9.3%)	7 (0.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	13,056 (84.9%)	1,732 (11.3%)	480 (3.1%)	117 (0.8%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	249 (88.0%)	31 (11.0%)	0 (0.0%)	3 (1.1%)	283 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)
参考: 前回調査	54,534 (84.0%)	7,044 (10.8%)	2,683 (4.1%)	693 (1.1%)	64,954 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に集落機能の維持状況をみると、「現一部過疎の非過疎地域」では、集落機能が良好に維持されている集落の割合が他の集落類型と比べて比較的高い。一方、「一部過疎」では、「機能低下」及び「維持困難」の集落の割合がそれぞれ他の過疎区分と比べて高くなっている。

図表 3-134 地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数

過疎区分別	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
過疎地域	50,426 (81.4%)	8,445 (13.6%)	2,745 (4.4%)	304 (0.5%)	61,920 (100.0%)
過疎	38,234 (81.6%)	6,466 (13.8%)	1,971 (4.2%)	160 (0.3%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	6,145 (91.0%)	382 (5.7%)	138 (2.0%)	86 (1.3%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	6,047 (72.5%)	1,597 (19.2%)	636 (7.6%)	58 (0.7%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	3,295 (93.6%)	156 (4.4%)	54 (1.5%)	15 (0.4%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	2,686 (93.9%)	126 (4.4%)	35 (1.2%)	15 (0.5%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	609 (92.6%)	30 (4.6%)	19 (2.9%)	0 (0.0%)	658 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に集落機能の維持状況を見ると、基幹集落や中心集落では、集落機能が良好に維持されている集落の割合がともに9割前後となっているのに対し、基礎集落では、「機能低下」や「維持困難」の集落の割合が、他の集落類型と比べてやや高くなっている。

図表 3-135 集落類型別・集落機能の維持状況別 集落数

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
基礎集落	43,564 (80.6%)	7,600 (14.1%)	2,709 (5.0%)	203 (0.4%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	6,076 (89.3%)	631 (9.3%)	72 (1.1%)	27 (0.4%)	6,806 (100.0%)
中心集落	3,853 (91.6%)	321 (7.6%)	9 (0.2%)	23 (0.5%)	4,206 (100.0%)
無回答	228 (64.8%)	49 (13.9%)	9 (2.6%)	66 (18.8%)	352 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に集落機能の維持状況を見ると、平地集落や都市的地域にある集落では、集落機能が良好に維持されている集落の割合が 9 割以上であるのに対して、山間地集落では、23.4%が「機能低下」、10.6%が「維持困難」となっており、他の地域区分と比べて厳しい状況にあることがうかがえる。

図表 3-136 地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
山間地	13,078 (65.3%)	4,692 (23.4%)	2,127 (10.6%)	134 (0.7%)	20,031 (100.0%)
中間地	16,072 (83.8%)	2,531 (13.2%)	501 (2.6%)	70 (0.4%)	19,174 (100.0%)
平地	19,449 (93.8%)	1,072 (5.2%)	149 (0.7%)	55 (0.3%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	4,860 (94.0%)	280 (5.4%)	19 (0.4%)	12 (0.2%)	5,171 (100.0%)
無回答	262 (77.3%)	26 (7.7%)	3 (0.9%)	48 (14.2%)	339 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分



- 集落の人口規模別に集落機能の維持状況をみると、人口 10 人未満の集落では、半数近くで集落機能の維持が困難になっており、人口 25 人未満の集落においては、約3割で集落機能が低下しているとされている。

図表 3-137 集落の人口規模別・集落機能の維持状況別 集落数

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
～9	555 (24.2%)	655 (28.6%)	1,068 (46.6%)	13 (0.6%)	2,291 (100.0%)
10～24	3,267 (53.9%)	1,909 (31.5%)	854 (14.1%)	29 (0.5%)	6,059 (100.0%)
25～49	8,606 (75.5%)	2,250 (19.7%)	484 (4.2%)	54 (0.5%)	11,394 (100.0%)
50～99	13,742 (86.7%)	1,816 (11.5%)	223 (1.4%)	77 (0.5%)	15,858 (100.0%)
100～199	13,424 (91.2%)	1,135 (7.7%)	102 (0.7%)	65 (0.4%)	14,726 (100.0%)
200～499	9,911 (93.8%)	592 (5.6%)	40 (0.4%)	25 (0.2%)	10,568 (100.0%)
500～999	2,587 (94.5%)	133 (4.9%)	14 (0.5%)	4 (0.1%)	2,738 (100.0%)
1000～	1,023 (93.4%)	64 (5.8%)	3 (0.3%)	5 (0.5%)	1,095 (100.0%)
無回答	606 (85.2%)	47 (6.6%)	11 (1.5%)	47 (6.6%)	711 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別に集落機能の維持状況をみると、世帯数 10 世帯未満の集落において、「機能低下」及び「維持困難」の集落の割合が、他の世帯数規模区分と比べて高くなっている。

図表 3-138 集落の世帯数規模別・集落機能の維持状況別 集落数

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
～9	3,010 (44.9%)	2,004 (29.9%)	1,667 (24.8%)	30 (0.4%)	6,711 (100.0%)
10～19	8,726 (73.5%)	2,490 (21.0%)	611 (5.1%)	50 (0.4%)	11,877 (100.0%)
20～29	7,991 (84.0%)	1,263 (13.3%)	219 (2.3%)	35 (0.4%)	9,508 (100.0%)
30～49	10,791 (88.8%)	1,177 (9.7%)	138 (1.1%)	50 (0.4%)	12,156 (100.0%)
50～99	11,585 (91.5%)	934 (7.4%)	82 (0.6%)	54 (0.4%)	12,655 (100.0%)
100～199	6,389 (93.6%)	387 (5.7%)	40 (0.6%)	9 (0.1%)	6,825 (100.0%)
200～499	3,177 (93.8%)	187 (5.5%)	16 (0.5%)	7 (0.2%)	3,387 (100.0%)
500～	779 (94.3%)	42 (5.1%)	2 (0.2%)	3 (0.4%)	826 (100.0%)
無回答	1,273 (85.2%)	117 (7.8%)	24 (1.6%)	81 (5.4%)	1,495 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者割合別に集落機能の維持状況をみると、高齢者割合が 50%未満の集落では、集落機能が良好に維持されている集落が9割近くを占めているのに対し、高齢者割合が 100% (集落住民全員が 65 歳以上) の集落では、集落機能の維持が困難な集落が半数以上となっている。

図表 3-139 高齢者割合別・集落機能の維持状況別 集落数

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
50%未満	43,625 (88.9%)	4,452 (9.1%)	848 (1.7%)	174 (0.4%)	49,099 (100.0%)
50%以上 75%未満	7,751 (63.9%)	3,266 (26.9%)	1,063 (8.8%)	45 (0.4%)	12,125 (100.0%)
75%以上 100%未満	593 (36.4%)	553 (34.0%)	477 (29.3%)	5 (0.3%)	1,628 (100.0%)
100%	222 (30.2%)	121 (16.5%)	377 (51.4%)	14 (1.9%)	734 (100.0%)
無回答	1,530 (82.5%)	209 (11.3%)	34 (1.8%)	81 (4.4%)	1,854 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に集落機能の維持状況をみると、転入者がいるとされる集落の 84.9%では集落機能が良好に維持されている。

図表 3-140 転入者の有無別・集落機能の維持状況別 集落数

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
転入者あり	22,105 (84.9%)	2,971 (11.4%)	916 (3.5%)	47 (0.2%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	2,295 (55.4%)	1,047 (25.3%)	794 (19.2%)	9 (0.2%)	4,145 (100.0%)
わからない	27,996 (83.6%)	4,206 (12.6%)	1,052 (3.1%)	218 (0.7%)	33,472 (100.0%)
無回答	1,325 (74.3%)	377 (21.1%)	37 (2.1%)	45 (2.5%)	1,784 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

⑤集落機能の維持が困難になっている集落の特性

- 集落機能が低下している集落の特徴をみると、人口 50 人未満の集落が 56%、世帯数規模 20 世帯未満の集落が 52.3%であり、65 歳以上人口が半数以上の集落が 45.8%となっている。また、山間地にある集落が 54.6%、役場(本庁)まで 20 km以上の遠距離にある集落が 34.2%を占める。
- また、機能維持が困難になっている集落は、人口 10 人未満、世帯数 10 世帯未満の小規模な集落が多くを占めており、また、役場(本庁)から 20km 以上の遠距離にある集落の割合は 42.1%、65 歳以上人口が半数以上の集落の割合は 68.5%、山間地にある集落の割合は 76%、基礎集落の割合は 96.8%となっている。こうしたことから、機能維持が困難になっている集落は、高齢化が進んだ山間地の基礎集落において多いといえる。

図表 3-141 集落機能の維持状況別にみた集落特性

		集落機能の維持状況				
		良好	機能低下	機能維持困難	無回答	計
集落類型	基礎集落	43,564 (81.1%)	7,600 (88.4%)	2,709 (96.8%)	203 (63.6%)	54,076 (82.6%)
	基幹集落	6,076 (11.3%)	631 (7.3%)	72 (2.6%)	27 (8.5%)	6,806 (10.4%)
	中心集落	3,853 (7.2%)	321 (3.7%)	9 (0.3%)	23 (7.2%)	4,206 (6.4%)
人口規模	～9	555 (1.0%)	655 (7.6%)	1,068 (38.2%)	13 (4.1%)	2,291 (3.5%)
	10～24	3,267 (6.1%)	1,909 (22.2%)	854 (30.5%)	29 (9.1%)	6,059 (9.3%)
	25～49	8,606 (16.0%)	2,250 (26.2%)	484 (17.3%)	54 (16.9%)	11,394 (17.4%)
	50～99	13,742 (25.6%)	1,816 (21.1%)	223 (8.0%)	77 (24.1%)	15,858 (24.2%)
	100～199	13,424 (25.0%)	1,135 (13.2%)	102 (3.6%)	65 (20.4%)	14,726 (22.5%)
	200～499	9,911 (18.4%)	592 (6.9%)	40 (1.4%)	25 (7.8%)	10,568 (16.1%)
	500～999	2,587 (4.8%)	133 (1.5%)	14 (0.5%)	4 (1.3%)	2,738 (4.2%)
	1000～	1,023 (1.9%)	64 (0.7%)	3 (0.1%)	5 (1.6%)	1,095 (1.7%)
世帯数規模	～9	3,010 (5.6%)	2,004 (23.3%)	1,667 (59.6%)	30 (9.4%)	6,711 (10.3%)
	10～19	8,726 (16.2%)	2,490 (29.0%)	611 (21.8%)	50 (15.7%)	11,877 (18.1%)
	20～29	7,991 (14.9%)	1,263 (14.7%)	219 (7.8%)	35 (11.0%)	9,508 (14.5%)
	30～49	10,791 (20.1%)	1,177 (13.7%)	138 (4.9%)	50 (15.7%)	12,156 (18.6%)
	50～99	11,585 (21.6%)	934 (10.9%)	82 (2.9%)	54 (16.9%)	12,655 (19.3%)
	100～199	6,389 (11.9%)	387 (4.5%)	40 (1.4%)	9 (2.8%)	6,825 (10.4%)
	200～499	3,177 (5.9%)	187 (2.2%)	16 (0.6%)	7 (2.2%)	3,387 (5.2%)
	500～	779 (1.5%)	42 (0.5%)	2 (0.1%)	3 (0.9%)	826 (1.3%)
地域区分	山間地	13,078 (24.3%)	4,692 (54.6%)	2,127 (76.0%)	134 (42.0%)	20,031 (30.6%)
	中間地	16,072 (29.9%)	2,531 (29.4%)	501 (17.9%)	70 (21.9%)	19,174 (29.3%)
	平地	19,449 (36.2%)	1,072 (12.5%)	149 (5.3%)	55 (17.2%)	20,725 (31.7%)
	都市的地域	4,860 (9.0%)	280 (3.3%)	19 (0.7%)	12 (3.8%)	5,171 (7.9%)
65歳以上割合	100%	222 (0.4%)	121 (1.4%)	377 (13.5%)	14 (4.4%)	734 (1.1%)
	75%以上100%未満	593 (1.1%)	553 (6.4%)	477 (17.0%)	5 (1.6%)	1,628 (2.5%)
	50%以上75%未満	7,751 (14.4%)	3,266 (38.0%)	1,063 (38.0%)	45 (14.1%)	12,125 (18.5%)
	25%以上50%未満	38,899 (72.4%)	4,128 (48.0%)	690 (24.7%)	156 (48.9%)	43,873 (67.0%)
	25%未満	4,726 (8.8%)	324 (3.8%)	158 (5.6%)	18 (5.6%)	5,226 (8.0%)
75歳以上	100%	44 (0.1%)	43 (0.5%)	190 (6.8%)	3 (0.9%)	280 (0.4%)
	50%以上100%未満	1,085 (2.0%)	977 (11.4%)	827 (29.5%)	20 (6.3%)	2,909 (4.4%)
	50%未満	51,056 (95.0%)	7,372 (85.7%)	1,748 (62.5%)	215 (67.4%)	60,391 (92.3%)
本庁までの距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	18,104 (33.7%)	1,399 (16.3%)	252 (9.0%)	57 (17.9%)	19,812 (30.3%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	12,504 (23.3%)	1,499 (17.4%)	465 (16.6%)	41 (12.9%)	14,509 (22.2%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	13,338 (24.8%)	2,741 (31.9%)	902 (32.2%)	87 (27.3%)	17,068 (26.1%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	9,001 (16.8%)	2,942 (34.2%)	1,177 (42.1%)	49 (15.4%)	13,169 (20.1%)
地形	地形の末端である	2,253 (4.2%)	1,012 (11.8%)	756 (27.0%)	12 (3.8%)	4,033 (6.2%)
	地形の末端でない	51,468 (95.8%)	7,589 (88.2%)	2,043 (73.0%)	307 (96.2%)	61,407 (93.8%)
全体(割合の基数)		53,721 (100.0%)	8,601 (100.0%)	2,799 (100.0%)	319 (100.0%)	65,440 (100.0%)

■: 機能が低下または機能維持が困難な集落に特に顕著な特性

※不明・無回答は掲載していない

(10) 今後の集落の見通し

① 今後の集落の人口動向

- 今後の集落の人口動向をみると、人口が増加するとみられる集落は、全体の 2.5%にとどまっており、78.6%の集落では人口が減少するとみられている。
- 地方ブロック別に今後の集落の人口動向をみると、沖縄県では、人口増加が見込まれている集落の割合が 12.4%と他の地方ブロックに比べて高く、横ばいと予想される集落も約4割を占める。一方で、近畿圏では、人口減少が見込まれている集落の割合は 86.7%となっており、他の地方ブロックに比べて最も高い。

図表 3-142 地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
1 北海道	24 (0.6%)	710 (18.3%)	3,064 (79.1%)	78 (2.0%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	341 (2.4%)	2,083 (14.7%)	11,602 (82.0%)	116 (0.8%)	14,142 (100.0%)
3 首都圏	57 (2.4%)	442 (18.2%)	1,924 (79.4%)	0 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	54 (3.0%)	176 (9.7%)	1,333 (73.6%)	249 (13.7%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	33 (0.8%)	439 (11.2%)	3,323 (85.1%)	109 (2.8%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	87 (2.7%)	331 (10.4%)	2,748 (86.7%)	2 (0.1%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	623 (4.9%)	2,890 (22.6%)	9,262 (72.4%)	19 (0.1%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	108 (1.5%)	1,385 (19.3%)	5,684 (79.2%)	0 (0.0%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	252 (1.6%)	2,800 (18.2%)	11,992 (77.9%)	341 (2.2%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	35 (12.4%)	114 (40.3%)	131 (46.3%)	3 (1.1%)	283 (100.0%)
合計	1,614 (2.5%)	11,370 (17.5%)	51,063 (78.6%)	917 (1.4%)	64,964 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

参考: 前回調査	1,887 (2.9%)	15,457 (23.8%)	47,114 (72.5%)	496 (0.8%)	64,954 (100.0%)
-------------	-----------------	-------------------	-------------------	---------------	--------------------

- 過疎区分別に今後の集落の人口動向をみると、「みなし過疎」では、人口増加が見込まれている集落の割合が他の過疎区分と比べて比較的高いのに対し、「一部過疎」では、人口減少が予想されている集落の割合が 85.3%と他の過疎区分と比べて高い。

図表 3-143 過疎区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数

過疎区分別	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
過疎地域	1,521 (2.5%)	10,559 (17.1%)	48,938 (79.0%)	902 (1.5%)	61,920 (100.0%)
過疎	1,110 (2.4%)	7,914 (16.9%)	36,918 (78.8%)	889 (1.9%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	323 (4.8%)	1,520 (22.5%)	4,907 (72.7%)	1 (0.0%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	88 (1.1%)	1,125 (13.5%)	7,113 (85.3%)	12 (0.1%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	119 (3.4%)	1,021 (29.0%)	2,365 (67.2%)	15 (0.4%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	98 (3.4%)	850 (29.7%)	1,899 (66.4%)	15 (0.5%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	21 (3.2%)	171 (26.0%)	466 (70.8%)	0 (0.0%)	658 (100.0%)
合計	1,640 (2.5%)	11,580 (17.7%)	51,303 (78.4%)	917 (1.4%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に今後の集落人口の動向をみると、中心集落では、増加又は横ばいと予想されている集落の割合が、他の集落類型と比べてやや高くなっている。
- 一方、基幹集落では、減少と予想されている集落の割合が 80.4%と他の集落類型よりも高くなっており、次いで、基礎集落が 78.8%となっている。

図表 3-144 集落類型別・今後の人口動向の見通し別 集落数

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
基礎集落	1,302 (2.4%)	9,380 (17.3%)	42,619 (78.8%)	775 (1.4%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	194 (2.9%)	1,096 (16.1%)	5,475 (80.4%)	41 (0.6%)	6,806 (100.0%)
中心集落	136 (3.2%)	995 (23.7%)	3,028 (72.0%)	47 (1.1%)	4,206 (100.0%)
無回答	8 (2.3%)	109 (31.0%)	181 (51.4%)	54 (15.3%)	352 (100.0%)
合計	1,640 (2.5%)	11,580 (17.7%)	51,303 (78.4%)	917 (1.4%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に今後の集落人口の動向をみると、山間地集落では、今後人口減少が予想されている集落の割合が、88.1%となっており、他の地域区分と比べて高くなっている。

図表 3-145 地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
山間地	199 (1.0%)	1,936 (9.7%)	17,641 (88.1%)	255 (1.3%)	20,031 (100.0%)
中間地	395 (2.1%)	3,022 (15.8%)	15,458 (80.6%)	299 (1.6%)	19,174 (100.0%)
平地	751 (3.6%)	4,989 (24.1%)	14,696 (70.9%)	289 (1.4%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	288 (5.6%)	1,618 (31.3%)	3,237 (62.6%)	28 (0.5%)	5,171 (100.0%)
無回答	7 (2.1%)	15 (4.4%)	271 (79.9%)	46 (13.6%)	339 (100.0%)
合計	1,640 (2.5%)	11,580 (17.7%)	51,303 (78.4%)	917 (1.4%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 集落の人口規模別に今後の集落人口の動向をみると、人口 500 人以上の比較的規模の大きい集落において、今後人口が増加又は横ばいと予測されている集落の割合が高くなっている。
- これに対し、人口 25 人未満の集落では、人口減少が予測されている集落の割合が8割以上と高く、特に人口 10 人未満の集落では、83.5%と他の人口規模に比べて最も高くなっている。

図表 3-146 集落の人口規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
～9	32 (1.4%)	294 (12.8%)	1,912 (83.5%)	53 (2.3%)	2,291 (100.0%)
10～24	124 (2.0%)	890 (14.7%)	4,911 (81.1%)	134 (2.2%)	6,059 (100.0%)
25～49	212 (1.9%)	1,954 (17.1%)	9,031 (79.3%)	197 (1.7%)	11,394 (100.0%)
50～99	292 (1.8%)	2,888 (18.2%)	12,457 (78.6%)	221 (1.4%)	15,858 (100.0%)
100～199	259 (1.8%)	2,614 (17.8%)	11,698 (79.4%)	155 (1.1%)	14,726 (100.0%)
200～499	384 (3.6%)	2,039 (19.3%)	8,043 (76.1%)	102 (1.0%)	10,568 (100.0%)
500～999	218 (8.0%)	654 (23.9%)	1,839 (67.2%)	27 (1.0%)	2,738 (100.0%)
1000～	118 (10.8%)	221 (20.2%)	749 (68.4%)	7 (0.6%)	1,095 (100.0%)
無回答	1 (0.1%)	26 (3.7%)	663 (93.2%)	21 (3.0%)	711 (100.0%)
合計	1,640 (2.5%)	11,580 (17.7%)	51,303 (78.4%)	917 (1.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 世帯数規模別に今後の集落人口の動向をみると、世帯数 500 世帯以上の集落で、人口増加が見込まれている集落の割合が他の世帯数区分と比べて最も高くなっている。また、200 世帯以上 500 世帯未満の集落では「横ばい」の集落の割合が他の世帯数規模区分と比べて最も高く、10 世帯未満の集落では「減少」の割合が 80.3%となっており、他の世帯数区分と比べて最も高くなっている。

図表 3-147 集落の世帯数規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
～9	143 (2.1%)	1,029 (15.3%)	5,389 (80.3%)	150 (2.2%)	6,711 (100.0%)
10～19	229 (1.9%)	1,986 (16.7%)	9,464 (79.7%)	198 (1.7%)	11,877 (100.0%)
20～29	169 (1.8%)	1,697 (17.8%)	7,511 (79.0%)	131 (1.4%)	9,508 (100.0%)
30～49	193 (1.6%)	2,171 (17.9%)	9,699 (79.8%)	93 (0.8%)	12,156 (100.0%)
50～99	283 (2.2%)	2,302 (18.2%)	9,969 (78.8%)	101 (0.8%)	12,655 (100.0%)
100～199	286 (4.2%)	1,366 (20.0%)	5,112 (74.9%)	61 (0.9%)	6,825 (100.0%)
200～499	252 (7.4%)	813 (24.0%)	2,292 (67.7%)	30 (0.9%)	3,387 (100.0%)
500～	83 (10.0%)	166 (20.1%)	571 (69.1%)	6 (0.7%)	826 (100.0%)
無回答	2 (0.1%)	50 (3.3%)	1,296 (86.7%)	147 (9.8%)	1,495 (100.0%)
合計	1,640 (2.5%)	11,580 (17.7%)	51,303 (78.4%)	917 (1.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者割合別に今後の集落人口の動向をみると、特に高齢者割合が75%以上100%未満の集落において、今後の人口減少が予測されている集落の割合が89.8%と高くなっており、他の区分と比べてやや高くなっている。

図表 3-148 高齢者割合別・今後の人口動向の見通し別 集落数

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
50%未満	1,479 (3.0%)	9,803 (20.0%)	37,206 (75.8%)	611 (1.2%)	49,099 (100.0%)
50%以上	102 (0.8%)	1,079 (8.9%)	10,746 (88.6%)	198 (1.6%)	12,125 (100.0%)
75%未満	15 (0.9%)	120 (7.4%)	1,462 (89.8%)	31 (1.9%)	1,628 (100.0%)
75%以上	8 (1.1%)	152 (20.7%)	555 (75.6%)	19 (2.6%)	734 (100.0%)
100%未満	36 (1.9%)	426 (23.0%)	1,334 (72.0%)	58 (3.1%)	1,854 (100.0%)
100%	1,640 (2.5%)	11,580 (17.7%)	51,303 (78.4%)	917 (1.4%)	65,440 (100.0%)
無回答					
合計					

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に今後の集落人口の動向をみると、転入者がいないとされる集落では、今後の人口減少が予測される集落の割合が85.7%となっており、転入者があるとされる集落よりもやや高くなっている。

図表 3-149 転入者の有無別・今後の人口動向の見通し別 集落数

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
転入者あり	496 (1.9%)	4,172 (16.0%)	21,005 (80.7%)	366 (1.4%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	26 (0.6%)	482 (11.6%)	3,554 (85.7%)	83 (2.0%)	4,145 (100.0%)
わからない	1,086 (3.2%)	6,655 (19.9%)	25,347 (75.7%)	384 (1.1%)	33,472 (100.0%)
無回答	32 (1.8%)	271 (15.2%)	1,397 (78.3%)	84 (4.7%)	1,784 (100.0%)
合計	1,640 (2.5%)	11,580 (17.7%)	51,303 (78.4%)	917 (1.4%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

## ②集落の消滅可能性

- 全体では、「今後10年以内に消滅」と予測されている集落は515集落(0.8%)であり、「いずれ消滅」と予測されている集落は2,697集落(4.1%)である。
- 地方ブロック別に集落の消滅可能性をみると、四国圏では、今後「10年以内に消滅」あるいは「いずれ消滅」と予測されている集落の割合が、他の地方ブロックと比べて最も高い。一方で、沖縄県では、「当面存続」とされた集落の割合が97.5%となっており、他の地方ブロックと比べて最も高い。

図表 3-150 地方ブロック別・集落の消滅可能性別 集落数

全体	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
1 北海道	22 (0.6%)	227 (5.9%)	3,265 (84.2%)	362 (9.3%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	43 (0.3%)	385 (2.6%)	13,199 (90.3%)	991 (6.8%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	16 (0.7%)	78 (3.2%)	1,954 (80.6%)	375 (15.5%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	22 (1.2%)	63 (3.5%)	1,622 (89.5%)	105 (5.8%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	37 (0.9%)	267 (6.8%)	2,802 (71.8%)	798 (20.4%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	31 (1.0%)	202 (6.4%)	2,564 (80.9%)	371 (11.7%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	85 (0.7%)	432 (3.4%)	11,772 (92.0%)	505 (3.9%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	189 (2.6%)	602 (8.4%)	6,305 (87.9%)	81 (1.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	70 (0.5%)	441 (2.9%)	13,360 (86.8%)	1,514 (9.8%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	276 (97.5%)	7 (2.5%)	283 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)
参考: 前回調査	454 (0.7%)	2,342 (3.6%)	54,198 (83.4%)	7,960 (12.3%)	64,954 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に集落の消滅可能性をみると、「一部過疎」では、「10年以内に消滅」あるいは「いずれ消滅」と予測された集落の割合が他の過疎区分と比べて最も高くなっており、「みなし過疎」では、「当面存続」とされた集落の割合が他の過疎区分と比べて比較的高くなっている。

図表 3-151 過疎区分別・集落の消滅可能性別 集落数

過疎区分別	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
過疎地域	510 (0.8%)	2,617 (4.2%)	54,174 (87.5%)	4,619 (7.5%)	61,920 (100.0%)
過疎	383 (0.8%)	1,988 (4.2%)	40,961 (87.5%)	3,499 (7.5%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	26 (0.4%)	143 (2.1%)	6,220 (92.1%)	362 (5.4%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	101 (1.2%)	486 (5.8%)	6,993 (83.9%)	758 (9.1%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	5 (0.1%)	80 (2.3%)	2,945 (83.7%)	490 (13.9%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	5 (0.2%)	58 (2.0%)	2,418 (84.5%)	381 (13.3%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	0 (0.0%)	22 (3.3%)	527 (80.1%)	109 (16.6%)	658 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域



- 集落類型別に集落の消滅可能性をみると、「10年以内に消滅」の可能性があるとされた集落のほとんどは基礎集落であり、また「いずれ消滅」とされた集落も大部分が基礎集落である。
- 中心集落では、「当面存続」とされた集落の割合が92.6%となっており、他の集落類型と比べて最も高い。

図表 3-152 集落類型別・集落の消滅可能性別 集落数

全体	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
基礎集落	509 (0.9%)	2,599 (4.8%)	46,810 (86.6%)	4,158 (7.7%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	2 (0.0%)	62 (0.9%)	6,183 (90.8%)	559 (8.2%)	6,806 (100.0%)
中心集落	0 (0.0%)	23 (0.5%)	3,896 (92.6%)	287 (6.8%)	4,206 (100.0%)
無回答	4 (1.1%)	13 (3.7%)	230 (65.3%)	105 (29.8%)	352 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区分別に集落の消滅可能性をみると、山間地集落では「10年以内に消滅」、あるいは「いずれ消滅」と予測されている集落の割合が他の地域区分と比べて最も高く、両者を合わせると、山間地集落では消滅する可能性のある集落が1割を超えている。

図表 3-153 地域区分別・集落の消滅可能性別 集落数

全体	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
山間地	436 (2.2%)	1,972 (9.8%)	16,050 (80.1%)	1,573 (7.9%)	20,031 (100.0%)
中間地	51 (0.3%)	515 (2.7%)	17,022 (88.8%)	1,586 (8.3%)	19,174 (100.0%)
平地	23 (0.1%)	181 (0.9%)	18,933 (91.4%)	1,588 (7.7%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	5 (0.1%)	23 (0.4%)	4,878 (94.3%)	265 (5.1%)	5,171 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	6 (1.8%)	236 (69.6%)	97 (28.6%)	339 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 集落の人口規模別に集落の消滅可能性をみると、人口 10 人未満の集落では、「10 年以内に消滅」あるいは「いずれ消滅」と予測されている集落の割合が他の人口規模と比べて最も高く、合わせて6割近くの集落で消滅の可能性があるとされている。

図表 3-154 集落の人口規模別・集落の消滅可能性別 集落数

全体	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
～9	410 (17.9%)	906 (39.5%)	888 (38.8%)	87 (3.8%)	2,291 (100.0%)
10～24	77 (1.3%)	992 (16.4%)	4,491 (74.1%)	499 (8.2%)	6,059 (100.0%)
25～49	16 (0.1%)	455 (4.0%)	9,738 (85.5%)	1,185 (10.4%)	11,394 (100.0%)
50～99	2 (0.0%)	164 (1.0%)	14,329 (90.4%)	1,363 (8.6%)	15,858 (100.0%)
100～199	1 (0.0%)	89 (0.6%)	13,581 (92.2%)	1,055 (7.2%)	14,726 (100.0%)
200～499	0 (0.0%)	61 (0.6%)	9,848 (93.2%)	659 (6.2%)	10,568 (100.0%)
500～999	0 (0.0%)	9 (0.3%)	2,583 (94.3%)	146 (5.3%)	2,738 (100.0%)
1000～	0 (0.0%)	3 (0.3%)	1,008 (92.1%)	84 (7.7%)	1,095 (100.0%)
無回答	9 (1.3%)	18 (2.5%)	653 (91.8%)	31 (4.4%)	711 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別に集落の消滅可能性をみると、10 世帯未満の集落において、「10 年以内に消滅」あるいは「いずれ消滅」と予測される集落の割合が、他の世帯数区分と比べて最も高くなっている。

図表 3-155 集落の世帯数規模別・集落の消滅可能性別 集落数

全体	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
～9	458 (6.8%)	1,582 (23.6%)	4,226 (63.0%)	445 (6.6%)	6,711 (100.0%)
10～19	36 (0.3%)	635 (5.3%)	10,062 (84.7%)	1,144 (9.6%)	11,877 (100.0%)
20～29	4 (0.0%)	190 (2.0%)	8,478 (89.2%)	836 (8.8%)	9,508 (100.0%)
30～49	3 (0.0%)	92 (0.8%)	11,099 (91.3%)	962 (7.9%)	12,156 (100.0%)
50～99	0 (0.0%)	89 (0.7%)	11,641 (92.0%)	925 (7.3%)	12,655 (100.0%)
100～199	0 (0.0%)	26 (0.4%)	6,397 (93.7%)	402 (5.9%)	6,825 (100.0%)
200～499	0 (0.0%)	8 (0.2%)	3,192 (94.2%)	187 (5.5%)	3,387 (100.0%)
500～	0 (0.0%)	2 (0.2%)	765 (92.6%)	59 (7.1%)	826 (100.0%)
無回答	14 (0.9%)	73 (4.9%)	1,259 (84.2%)	149 (10.0%)	1,495 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者割合別に集落の消滅可能性をみると、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では、「10年以内に消滅」と予測されている集落の割合は29.0%であり、「いずれ消滅」と予測される集落も、31.6%にのぼっている。
- 高齢者割合が75%以上100%未満の集落では、「いずれ消滅」と予測されている集落の割合が32.2%と他の区分と比べて最も高くなっている。

図表 3-156 高齢者割合別・集落の消滅可能性別 集落数

全体	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
50%未満	76 (0.2%)	750 (1.5%)	44,694 (91.0%)	3,579 (7.3%)	49,099 (100.0%)
50%以上	123 (1.0%)	1,093 (9.0%)	9,767 (80.6%)	1,142 (9.4%)	12,125 (100.0%)
75%未満	88 (5.4%)	525 (32.2%)	905 (55.6%)	110 (6.8%)	1,628 (100.0%)
75%以上	213 (29.0%)	232 (31.6%)	259 (35.3%)	30 (4.1%)	734 (100.0%)
100%未満	15 (0.8%)	97 (5.2%)	1,494 (80.6%)	248 (13.4%)	1,854 (100.0%)
100%	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)
無回答					
合計					

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に集落の消滅可能性をみると、転入者がないとされる集落では、転入者がいるとされる集落に比べて、「10年以内に消滅」あるいは「いずれ消滅」と予測される集落の割合が高くなっている。

図表 3-157 転入者の有無別・集落の消滅可能性別 集落数

全体	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
転入者あり	68 (0.3%)	696 (2.7%)	23,112 (88.8%)	2,163 (8.3%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	236 (5.7%)	695 (16.8%)	2,810 (67.8%)	404 (9.7%)	4,145 (100.0%)
わからない	191 (0.6%)	1,251 (3.7%)	29,896 (89.3%)	2,134 (6.4%)	33,472 (100.0%)
無回答	20 (1.1%)	55 (3.1%)	1,301 (72.9%)	408 (22.9%)	1,784 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)

### ③消滅が予測されている集落の特性

- 消滅が予測されている集落の多くは、本庁から遠距離にある山間地の基礎集落であり、特に「10年以内に消滅」と予測されている集落は、人口10人未満、世帯数10世帯未満の小規模集落が大部分を占めている。また全員が65歳以上という集落が約4割を占めている。
- 「いずれ消滅」と予測されている集落の特性をみると、人口25人未満、世帯数20世帯未満の集落が7割以上あり、また、高齢者割合が50%以上の集落が約3分の2を占めていることから、高齢化が進んでいることがうかがえる。

図表 3-158 今後の消滅可能性別にみた集落特性

		今後の消滅の可能性				計
		10年以内に消滅の可能性あり	いずれ消滅の可能性あり	存続	無回答	
集落 類型	基礎集落	509 (98.8%)	2,599 (96.4%)	46,810 (82.0%)	4,158 (81.4%)	54,076 (82.6%)
	基幹集落	2 (0.4%)	62 (2.3%)	6,183 (10.8%)	559 (10.9%)	6,806 (10.4%)
	中心集落	0 (0.0%)	23 (0.9%)	3,896 (6.8%)	287 (5.6%)	4,206 (6.4%)
人口 規模	～9	410 (79.6%)	906 (33.6%)	888 (1.6%)	87 (1.7%)	2,291 (3.5%)
	10～24	77 (15.0%)	992 (36.8%)	4,491 (7.9%)	499 (9.8%)	6,059 (9.3%)
	25～49	16 (3.1%)	455 (16.9%)	9,738 (17.0%)	1,185 (23.2%)	11,394 (17.4%)
	50～99	2 (0.4%)	164 (6.1%)	14,329 (25.1%)	1,363 (26.7%)	15,858 (24.2%)
	100～199	1 (0.2%)	89 (3.3%)	13,581 (23.8%)	1,055 (20.6%)	14,726 (22.5%)
	200～499	0 (0.0%)	61 (2.3%)	9,848 (17.2%)	659 (12.9%)	10,568 (16.1%)
	500～999	0 (0.0%)	9 (0.3%)	2,583 (4.5%)	146 (2.9%)	2,738 (4.2%)
	1000～	0 (0.0%)	3 (0.1%)	1,008 (1.8%)	84 (1.6%)	1,095 (1.7%)
世帯 数規模	～9	458 (88.9%)	1,582 (58.7%)	4,226 (7.4%)	445 (8.7%)	6,711 (10.3%)
	10～19	36 (7.0%)	635 (23.5%)	10,062 (17.6%)	1,144 (22.4%)	11,877 (18.1%)
	20～29	4 (0.8%)	190 (7.0%)	8,478 (14.8%)	836 (16.4%)	9,508 (14.5%)
	30～49	3 (0.6%)	92 (3.4%)	11,099 (19.4%)	962 (18.8%)	12,156 (18.6%)
	50～99	0 (0.0%)	89 (3.3%)	11,641 (20.4%)	925 (18.1%)	12,655 (19.3%)
	100～199	0 (0.0%)	26 (1.0%)	6,397 (11.2%)	402 (7.9%)	6,825 (10.4%)
	200～499	0 (0.0%)	8 (0.3%)	3,192 (5.6%)	187 (3.7%)	3,387 (5.2%)
	500～	0 (0.0%)	2 (0.1%)	765 (1.3%)	59 (1.2%)	826 (1.3%)
地域 区分	山間地	436 (84.7%)	1,972 (73.1%)	16,050 (28.1%)	1,573 (30.8%)	20,031 (30.6%)
	中間地	51 (9.9%)	515 (19.1%)	17,022 (29.8%)	1,586 (31.0%)	19,174 (29.3%)
	平地	23 (4.5%)	181 (6.7%)	18,933 (33.1%)	1,588 (31.1%)	20,725 (31.7%)
	都市的地域	5 (1.0%)	23 (0.9%)	4,878 (8.5%)	265 (5.2%)	5,171 (7.9%)
65歳 以上 割合	100%	213 (41.4%)	232 (8.6%)	259 (0.5%)	30 (0.6%)	734 (1.1%)
	75%以上100%未満	88 (17.1%)	525 (19.5%)	905 (1.6%)	110 (2.2%)	1,628 (2.5%)
	50%以上75%未満	123 (23.9%)	1,093 (40.5%)	9,767 (17.1%)	1,142 (22.4%)	12,125 (18.5%)
	25%以上50%未満	40 (7.8%)	634 (23.5%)	40,017 (70.1%)	3,182 (62.3%)	43,873 (67.0%)
	25%未満	36 (7.0%)	116 (4.3%)	4,677 (8.2%)	397 (7.8%)	5,226 (8.0%)
75歳 以上	100%	135 (26.2%)	81 (3.0%)	54 (0.1%)	10 (0.2%)	280 (0.4%)
	50%以上100%未満	196 (38.1%)	830 (30.8%)	1,683 (2.9%)	200 (3.9%)	2,909 (4.4%)
	50%未満	169 (32.8%)	1,689 (62.6%)	53,882 (94.3%)	4,651 (91.0%)	60,391 (92.3%)
本庁 までの 距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	23 (4.5%)	220 (8.2%)	17,967 (31.5%)	1,602 (31.4%)	19,812 (30.3%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	77 (15.0%)	500 (18.5%)	12,744 (22.3%)	1,188 (23.3%)	14,509 (22.2%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	176 (34.2%)	940 (34.9%)	14,533 (25.4%)	1,419 (27.8%)	17,068 (26.1%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	239 (46.4%)	1,035 (38.4%)	11,060 (19.4%)	835 (16.3%)	13,169 (20.1%)
地形	地形的末端である	206 (40.0%)	736 (27.3%)	2,850 (5.0%)	241 (4.7%)	4,033 (6.2%)
	地形的末端でない	309 (60.0%)	1,961 (72.7%)	54,269 (95.0%)	4,868 (95.3%)	61,407 (93.8%)
全体(割合の基数)		515 (100.0%)	2,697 (100.0%)	57,119 (100.0%)	5,109 (100.0%)	65,440 (100.0%)

■: 存続するとみられる集落と比較して、消滅の可能性がある集落に特に顕著な特性 ※不明・無回答は掲載していない

#### ④集落機能の維持・再編成の見通し

- 今後の集落機能の維持・再編成の見通しをみると、全体では「予定なし」の集落が 91.9%となっており、大部分を占めている。
- 地方ブロック別に集落機能の維持・再編成の見通しをみると、九州圏や中国圏では、行政的再編が予定されている集落の割合が、他の地方ブロックに比べて比較的多く、近畿圏や中部圏では、機能の再編成を予定している集落の割合が、他の地方ブロックと比べて比較的多くみられる。
- 空間的移転を予定している集落は、わずかではあるが、東北圏や中国圏、首都圏で一部予定している集落がみられる。

図表 3-159 地方ブロック別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	7 (0.2%)	7 (0.2%)	109 (2.8%)	3,686 (95.1%)	67 (1.7%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	6 (0.0%)	24 (0.2%)	84 (0.6%)	367 (2.5%)	14,072 (96.3%)	65 (0.4%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	79 (3.3%)	2,342 (96.7%)	1 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,811 (99.9%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	7 (0.2%)	36 (0.9%)	479 (12.3%)	3,280 (84.0%)	102 (2.6%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	119 (3.8%)	25 (0.8%)	3,020 (95.3%)	4 (0.1%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	5 (0.0%)	30 (0.2%)	67 (0.5%)	692 (5.4%)	11,006 (86.0%)	994 (7.8%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	14 (0.2%)	64 (0.9%)	169 (2.4%)	6,777 (94.4%)	153 (2.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	163 (1.1%)	76 (0.5%)	1,143 (7.4%)	13,927 (90.5%)	76 (0.5%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	248 (87.6%)	34 (12.0%)	283 (100.0%)
合計	12 (0.0%)	245 (0.4%)	454 (0.7%)	3,063 (4.7%)	60,169 (91.9%)	1,497 (2.3%)	65,440 (100.0%)
参考: 前回調査	13 (0.0%)	1,140 (1.8%)	363 (0.6%)	2,969 (4.6%)	60,196 (92.7%)	273 (0.4%)	64,954 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に集落機能の維持・再編成の見通しをみると、「過疎」では、行政的再編を予定している集落の割合が他の過疎区分と比べて高く、「一部過疎」では、機能の再編成を予定、あるいは「検討中」となっている集落の割合が、他の過疎区分と比べて高い。

図表 3-160 過疎区分別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数

過疎区分別	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
過疎地域	12 (0.0%)	244 (0.4%)	454 (0.7%)	3,039 (4.9%)	56,690 (91.6%)	1,481 (2.4%)	61,920 (100.0%)
過疎	5 (0.0%)	232 (0.5%)	227 (0.5%)	2,404 (5.1%)	42,548 (90.9%)	1,415 (3.0%)	46,831 (100.0%)
みなし過疎	0 (0.0%)	3 (0.0%)	0 (0.0%)	81 (1.2%)	6,611 (97.9%)	56 (0.8%)	6,751 (100.0%)
一部過疎	7 (0.1%)	9 (0.1%)	227 (2.7%)	554 (6.6%)	7,531 (90.3%)	10 (0.1%)	8,338 (100.0%)
前過疎・旧過疎	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (0.7%)	3,479 (98.8%)	16 (0.5%)	3,520 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎地域	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (0.8%)	2,821 (98.6%)	16 (0.6%)	2,862 (100.0%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	658 (100.0%)	0 (0.0%)	658 (100.0%)
合計	12 (0.0%)	245 (0.4%)	454 (0.7%)	3,063 (4.7%)	60,169 (91.9%)	1,497 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

- 集落類型別に集落機能の維持・再編成の見通しをみると、空間的移転や行政的再編が予定されている集落のほとんどは基礎集落である。基幹集落では、機能の再編成が予定されている集落や「検討中」となっている集落の割合が他の集落類型と比べて高い。

図表 3-161 集落類型別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
基礎集落	12 (0.0%)	212 (0.4%)	372 (0.7%)	2,489 (4.6%)	50,061 (92.6%)	930 (1.7%)	54,076 (100.0%)
基幹集落	0 (0.0%)	20 (0.3%)	57 (0.8%)	439 (6.5%)	6,029 (88.6%)	261 (3.8%)	6,806 (100.0%)
中心集落	0 (0.0%)	13 (0.3%)	25 (0.6%)	132 (3.1%)	3,860 (91.8%)	176 (4.2%)	4,206 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.9%)	219 (62.2%)	130 (36.9%)	352 (100.0%)
合計	12 (0.0%)	245 (0.4%)	454 (0.7%)	3,063 (4.7%)	60,169 (91.9%)	1,497 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい集落類型

- 地域区別に集落機能の維持・再編成の見通しをみると、空間的移転が予定されている集落のほとんどは山間地集落である。平地集落では、行政的再編が予定されている集落の割合が、他の地域区分と比べて高い。
- 都市的地域にある集落では、集落再編の予定なしとされている集落が大部分(94.6%)であるが、機能の再編成が予定されている集落も一部みられる。

図表 3-162 地域区分別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
山間地	10 (0.0%)	76 (0.4%)	162 (0.8%)	1,243 (6.2%)	17,975 (89.7%)	565 (2.8%)	20,031 (100.0%)
中間地	1 (0.0%)	24 (0.1%)	109 (0.6%)	820 (4.3%)	17,826 (93.0%)	394 (2.1%)	19,174 (100.0%)
平地	1 (0.0%)	134 (0.6%)	100 (0.5%)	897 (4.3%)	19,208 (92.7%)	385 (1.9%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	0 (0.0%)	11 (0.2%)	83 (1.6%)	102 (2.0%)	4,893 (94.6%)	82 (1.6%)	5,171 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	267 (78.8%)	71 (20.9%)	339 (100.0%)
合計	12 (0.0%)	245 (0.4%)	454 (0.7%)	3,063 (4.7%)	60,169 (91.9%)	1,497 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域区分

- 集落の人口規模別に集落機能の維持・再編成の見通しをみると、人口10人未満の集落では、空間的移転や行政的再編、機能の再編成など何らかの集落再編が予定されている集落の割合が、他の人口規模区分と比べてやや高くなっている。
- 一方、人口500人以上1,000人未満の比較的規模の大きな集落では、集落再編の予定がない集落の割合が94.9%となっており、他の人口規模区分と比べて最も高くなっている。

図表 3-163 集落の人口規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
～9	2 (0.1%)	34 (1.5%)	42 (1.8%)	147 (6.4%)	1,988 (86.8%)	78 (3.4%)	2,291 (100.0%)
10～24	3 (0.0%)	12 (0.2%)	38 (0.6%)	337 (5.6%)	5,469 (90.3%)	200 (3.3%)	6,059 (100.0%)
25～49	2 (0.0%)	15 (0.1%)	50 (0.4%)	622 (5.5%)	10,304 (90.4%)	401 (3.5%)	11,394 (100.0%)
50～99	3 (0.0%)	33 (0.2%)	100 (0.6%)	738 (4.7%)	14,563 (91.8%)	421 (2.7%)	15,858 (100.0%)
100～199	2 (0.0%)	63 (0.4%)	91 (0.6%)	661 (4.5%)	13,690 (93.0%)	219 (1.5%)	14,726 (100.0%)
200～499	0 (0.0%)	54 (0.5%)	94 (0.9%)	458 (4.3%)	9,866 (93.4%)	96 (0.9%)	10,568 (100.0%)
500～999	0 (0.0%)	21 (0.8%)	20 (0.7%)	79 (2.9%)	2,598 (94.9%)	20 (0.7%)	2,738 (100.0%)
1000～	0 (0.0%)	13 (1.2%)	15 (1.4%)	18 (1.6%)	1,036 (94.6%)	13 (1.2%)	1,095 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)	3 (0.4%)	655 (92.1%)	49 (6.9%)	711 (100.0%)
合計	12 (0.0%)	245 (0.4%)	454 (0.7%)	3,063 (4.7%)	60,169 (91.9%)	1,497 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい人口規模区分

- 集落の世帯数規模別に集落機能の維持・再編成の見通しをみると、行政的再編や機能の再編成が予定されている集落は、いずれの世帯数規模区分においても一定程度存在しており、世帯数規模との相関はあまりみられない。

図表 3-164 集落の世帯数規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
～9	4 (0.1%)	41 (0.6%)	63 (0.9%)	377 (5.6%)	5,959 (88.8%)	267 (4.0%)	6,711 (100.0%)
10～19	1 (0.0%)	16 (0.1%)	51 (0.4%)	621 (5.2%)	10,767 (90.7%)	421 (3.5%)	11,877 (100.0%)
20～29	2 (0.0%)	15 (0.2%)	55 (0.6%)	472 (5.0%)	8,706 (91.6%)	258 (2.7%)	9,508 (100.0%)
30～49	4 (0.0%)	44 (0.4%)	79 (0.6%)	561 (4.6%)	11,259 (92.6%)	209 (1.7%)	12,156 (100.0%)
50～99	1 (0.0%)	62 (0.5%)	87 (0.7%)	595 (4.7%)	11,763 (93.0%)	147 (1.2%)	12,655 (100.0%)
100～199	0 (0.0%)	31 (0.5%)	71 (1.0%)	311 (4.6%)	6,343 (92.9%)	69 (1.0%)	6,825 (100.0%)
200～499	0 (0.0%)	25 (0.7%)	30 (0.9%)	110 (3.2%)	3,190 (94.2%)	32 (0.9%)	3,387 (100.0%)
500～	0 (0.0%)	11 (1.3%)	13 (1.6%)	12 (1.5%)	779 (94.3%)	11 (1.3%)	826 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (0.3%)	4 (0.3%)	1,403 (93.8%)	83 (5.6%)	1,495 (100.0%)
合計	12 (0.0%)	245 (0.4%)	454 (0.7%)	3,063 (4.7%)	60,169 (91.9%)	1,497 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい世帯数規模区分

- 高齢者割合別に集落機能の維持・再編成の見通しをみると、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では、空間的移転や行政的再編、機能の再編成など何らかの集落再編が予定されている集落の割合が、他の区分と比べて高くなっている。

図表 3-165 高齢者割合別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
50%未満	6 (0.0%)	185 (0.4%)	311 (0.6%)	2,062 (4.2%)	45,482 (92.6%)	1,053 (2.1%)	49,099 (100.0%)
50%以上 75%未満	2 (0.0%)	37 (0.3%)	90 (0.7%)	688 (5.7%)	11,026 (90.9%)	282 (2.3%)	12,125 (100.0%)
75%以上 100%未満	2 (0.1%)	6 (0.4%)	22 (1.4%)	103 (6.3%)	1,447 (88.9%)	48 (2.9%)	1,628 (100.0%)
100%	2 (0.3%)	17 (2.3%)	14 (1.9%)	48 (6.5%)	625 (85.1%)	28 (3.8%)	734 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (0.9%)	162 (8.7%)	1,589 (85.7%)	86 (4.6%)	1,854 (100.0%)
合計	12 (0.0%)	245 (0.4%)	454 (0.7%)	3,063 (4.7%)	60,169 (91.9%)	1,497 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい65歳以上割合の区分

- 転入者の有無別に集落機能の維持・再編成の見通しをみると、転入者がいないとされる集落では、転入者がいる集落と比べて、行政的再編や機能の再編成が予定されている集落や、検討中であるとされた集落の割合がやや高くなっている。

図表 3-166 転入者の有無別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
転入者あり	0 (0.0%)	42 (0.2%)	180 (0.7%)	1,101 (4.2%)	24,539 (94.2%)	177 (0.7%)	26,039 (100.0%)
転入者なし	0 (0.0%)	20 (0.5%)	71 (1.7%)	187 (4.5%)	3,849 (92.9%)	18 (0.4%)	4,145 (100.0%)
わからない	12 (0.0%)	183 (0.5%)	198 (0.6%)	1,759 (5.3%)	30,064 (89.8%)	1,256 (3.8%)	33,472 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (0.3%)	16 (0.9%)	1,717 (96.2%)	46 (2.6%)	1,784 (100.0%)
合計	12 (0.0%)	245 (0.4%)	454 (0.7%)	3,063 (4.7%)	60,169 (91.9%)	1,497 (2.3%)	65,440 (100.0%)

■:各区分において該当集落数の割合が最も大きい区分(わからないを除く)



(11) 集落ネットワーク圏の形成状況

①生活圏の構成と集落ネットワーク圏の形成状況

- 調査地域全体では、3,840 の生活圏が形成されており、1 圏域あたりの平均集落数は、9.6 集落である。
- また、この生活圏のうち、当該生活圏の課題解決に持続的に取り組む中心的組織(以下、「地域運営組織」という。)が立ち上がっている生活圏(以下、「集落ネットワーク圏」という。)は、1,448 圏域ある。
- 集落ネットワーク圏の構成集落数(1 集落ネットワーク圏あたりの集落数)の規模をみると、10 集落以下の集落ネットワーク圏が 65.1%を占めるが、21 集落以上からなる集落ネットワーク圏も 12.0%みられる。
- 地方ブロック別に集落ネットワーク圏の形成状況をみると、中国圏では、集落ネットワーク圏を形成している集落の割合が、33.9%であり、他の地方ブロックと比べて最も高く、集落ネットワーク圏 1 圏域あたりの平均集落数も、13.3 集落と他の地方ブロックと比べて最も大きい。

図表 3-167 地方ブロック別・生活圏及び集落ネットワーク圏の形成状況

全体	総集落数	生活圏の形成状況		1生活圏あたり集落数			集落ネットワーク圏の形成状況		1集落ネットワーク圏あたり集落数		
		生活圏形成集落数	生活圏の数	～10	11～20	21～	集落ネットワーク圏形成集落数	集落ネットワーク圏数	～10	11～20	21～
1 北海道	3,876 (100.0%)	1,977 (51.0%)	445 [4.4]	393 (88.3%)	37 (8.3%)	15 (3.4%)	254 (6.6%)	44 [5.8]	36 (81.8%)	6 (13.6%)	2 (4.5%)
2 東北圏	14,618 (100.0%)	7,704 (52.7%)	879 [8.8]	622 (70.8%)	177 (20.1%)	80 (9.1%)	3,371 (23.1%)	327 [10.3]	200 (61.2%)	90 (27.5%)	37 (11.3%)
3 首都圏	2,423 (100.0%)	974 (40.2%)	98 [9.9]	71 (72.4%)	20 (20.4%)	7 (7.1%)	76 (3.1%)	11 [6.9]	8 (72.7%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)
4 北陸圏	1,812 (100.0%)	1,351 (74.6%)	168 [8.0]	114 (67.9%)	37 (22.0%)	17 (10.1%)	357 (19.7%)	81 [4.4]	68 (84.0%)	9 (11.1%)	4 (4.9%)
5 中部圏	3,904 (100.0%)	2,535 (64.9%)	266 [9.5]	177 (66.5%)	67 (25.2%)	22 (8.3%)	773 (19.8%)	84 [9.2]	54 (64.3%)	24 (28.6%)	6 (7.1%)
6 近畿圏	3,168 (100.0%)	1,776 (56.1%)	238 [7.5]	194 (81.5%)	27 (11.3%)	17 (7.1%)	834 (26.3%)	88 [9.5]	66 (75.0%)	14 (15.9%)	8 (9.1%)
7 中国圏	12,794 (100.0%)	8,430 (65.9%)	612 [13.8]	353 (57.7%)	150 (24.5%)	109 (17.8%)	4,333 (33.9%)	326 [13.3]	188 (57.7%)	75 (23.0%)	63 (19.3%)
8 四国圏	7,177 (100.0%)	3,346 (46.6%)	306 [10.9]	214 (69.9%)	49 (16.0%)	43 (14.1%)	1,051 (14.6%)	119 [8.8]	84 (70.6%)	20 (16.8%)	15 (12.6%)
9 九州圏	15,385 (100.0%)	8,480 (55.1%)	795 [10.7]	512 (64.4%)	185 (23.3%)	98 (12.3%)	3,661 (23.8%)	352 [10.4]	223 (63.4%)	91 (25.9%)	38 (10.8%)
10 沖縄県	283 (100.0%)	136 (48.1%)	33 [4.1]	32 (97.0%)	0 (0.0%)	1 (3.0%)	70 (24.7%)	16 [4.4]	15 (93.8%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)
合計	65,440 (100.0%)	36,709 (56.1%)	3,840 [9.6]	2,682 (69.8%)	749 (19.5%)	409 (10.7%)	14,780 (22.6%)	1,448 [10.2]	942 (65.1%)	332 (22.9%)	174 (12.0%)

※「集落ネットワーク圏」は、形成されている生活圏のうち、当該生活圏の課題解決に持続的に取り組む中心的組織が存在するものを集計

※「生活圏の数」及び「集落ネットワーク圏数」の下段〔〕内は各1圏域あたり平均集落数

- 過疎区分別に生活圏の構成と集落ネットワーク圏の形成状況をみると「過疎」及び「一部過疎」では、生活圏が形成されている集落の割合がともに 59.2%であり、他の過疎区分と比べて高い。
- また、「一部過疎」では、集落ネットワーク圏を形成している集落の割合が 25.3%となっており、他の過疎区分と比べて最も高くなっている。「みなし過疎」では、1 集落ネットワーク圏あたりの平均集落数が 14.1 であり、他の過疎区分と比べて最も多い。

図表 3-168 過疎区分別・生活圏及び集落ネットワーク圏の形成状況

過疎区分別	総集落数	生活圏の形成状況		1生活圏あたり集落数			集落ネットワーク圏の形成状況		1集落ネットワーク圏あたり集落数		
		生活圏形成集落数	生活圏の数	～10	11～20	21～	集落ネットワーク圏形成集落数	集落ネットワーク圏数	～10	11～20	21～
過疎地域	61,920 (100.0%)	35,744 (57.7%)	3,679 [9.7]	2,568 (69.8%)	717 (19.5%)	394 (10.7%)	14,493 (23.4%)	1,424 [10.2]	927 (65.1%)	326 (22.9%)	171 (12.0%)
過疎	46,831 (100.0%)	27,729 (59.2%)	2,863 [9.7]	2,006 (70.1%)	553 (19.3%)	304 (10.6%)	10,946 (23.4%)	1,098 [10.0]	722 (65.8%)	248 (22.6%)	128 (11.7%)
みなし過疎	6,751 (100.0%)	3,078 (45.6%)	198 [15.5]	92 (46.5%)	58 (29.3%)	48 (24.2%)	1,438 (21.3%)	102 [14.1]	51 (50.0%)	27 (26.5%)	24 (23.5%)
一部過疎	8,338 (100.0%)	4,937 (59.2%)	618 [8.0]	470 (76.1%)	106 (17.2%)	42 (6.8%)	2,109 (25.3%)	224 [9.4]	154 (68.8%)	51 (22.8%)	19 (8.5%)
前過疎・旧過疎	3,520 (100.0%)	1,356 (38.5%)	161 [8.4]	114 (70.8%)	32 (19.9%)	15 (9.3%)	287 (8.2%)	24 [12.0]	15 (62.5%)	6 (25.0%)	3 (12.5%)
現一部過疎の 非過疎地域	2,862 (100.0%)	1,108 (38.7%)	129 [8.6]	90 (69.8%)	26 (20.2%)	13 (10.1%)	287 (10.0%)	24 [12.0]	15 (62.5%)	6 (25.0%)	3 (12.5%)
非過疎市町村 の旧過疎地域	658 (100.0%)	248 (37.7%)	32 [7.8]	24 (75.0%)	6 (18.8%)	2 (6.3%)	0 (0.0%)	0	0	0	0
合計	65,440 (100.0%)	37,100 (56.7%)	3,840 [9.7]	2,682 (69.8%)	749 (19.5%)	409 (10.7%)	14,780 (22.6%)	1,448 [10.2]	942 (65.1%)	332 (22.9%)	174 (12.0%)

※「生活圏の数」及び「集落ネットワーク圏数」の下段〔〕内は各1圏域あたり平均集落数

## ②生活圏と集落ネットワーク圏の形成範囲

- 生活圏がどの範囲を対象に形成されているかをみると、全体では、小学校区を範囲とした生活圏が 29.0%と最も多く、次いで旧小学校区の 24.4%、大字の 24.3%となっている。
- 地方ブロック別に生活圏の範囲をみると、沖縄県では、中学校区や小学校区を範囲とした生活圏の割合が他の地方ブロックと比べて高く、北陸圏では大字を範囲とした生活圏の割合が、中国圏では旧小学校区や昭和の合併前の旧市町村を範囲とした生活圏の割合が、それぞれ他の地方ブロックと比べて高くなっており、地方ブロックごとに生活圏の範囲に特長がみられる。

図表 3-169 地方ブロック別・形成されている生活圏の範囲別 生活圏の数

全体	生活圏の数	生活圏の範囲							
		平成の合併前の旧市町村	中学校区	小学校区	旧小学校区	大字	昭和の合併前の旧市町村	字(小字)	その他
1 北海道	445 (100.0%)	30 (6.7%)	80 (18.0%)	111 (24.9%)	55 (12.4%)	101 (22.7%)	10 (2.2%)	130 (29.2%)	106 (23.8%)
2 東北圏	879 (100.0%)	107 (12.2%)	83 (9.4%)	196 (22.3%)	210 (23.9%)	301 (34.2%)	211 (24.0%)	100 (11.4%)	114 (13.0%)
3 首都圏	98 (100.0%)	23 (23.5%)	13 (13.3%)	25 (25.5%)	12 (12.2%)	12 (12.2%)	31 (31.6%)	20 (20.4%)	5 (5.1%)
4 北陸圏	168 (100.0%)	30 (17.9%)	3 (1.8%)	27 (16.1%)	34 (20.2%)	70 (41.7%)	29 (17.3%)	1 (0.6%)	18 (10.7%)
5 中部圏	266 (100.0%)	51 (19.2%)	49 (18.4%)	79 (29.7%)	66 (24.8%)	45 (16.9%)	86 (32.3%)	6 (2.3%)	77 (28.9%)
6 近畿圏	238 (100.0%)	13 (5.5%)	19 (8.0%)	57 (23.9%)	53 (22.3%)	91 (38.2%)	50 (21.0%)	8 (3.4%)	18 (7.6%)
7 中国圏	612 (100.0%)	51 (8.3%)	51 (8.3%)	134 (21.9%)	196 (32.0%)	121 (19.8%)	208 (34.0%)	33 (5.4%)	169 (27.6%)
8 四国圏	306 (100.0%)	12 (3.9%)	32 (10.5%)	139 (45.4%)	86 (28.1%)	40 (13.1%)	37 (12.1%)	9 (2.9%)	60 (19.6%)
9 九州圏	795 (100.0%)	126 (15.8%)	94 (11.8%)	331 (41.6%)	225 (28.3%)	142 (17.9%)	109 (13.7%)	30 (3.8%)	114 (14.3%)
10 沖縄県	33 (100.0%)	4 (12.1%)	7 (21.2%)	15 (45.5%)	1 (3.0%)	12 (36.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (30.3%)
合計	3,840 (100.0%)	447 (11.6%)	431 (11.2%)	1,114 (29.0%)	938 (24.4%)	935 (24.3%)	771 (20.1%)	337 (8.8%)	691 (18.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック

※複数の範囲に該当する圏域があるため、構成比の合計が100を超える場合がある

■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に生活圏の範囲をみると、「みなし過疎」では、中学校区や昭和の合併前の旧市町村を範囲とした生活圏の割合が、他の過疎区分と比べて高く、「一部過疎」では、平成の合併前の旧市町村のエリアを範囲とした生活圏の割合が、「過疎」では、旧小学校区を範囲とした生活圏の割合が、それぞれ他の地方ブロックと比べて高い。

図表 3-170 過疎区分別・形成されている生活圏の範囲別 生活圏の数

過疎区分別	生活圏の数	生活圏の範囲							
		平成の合併前の旧市町村	中学校区	小学校区	旧小学校区	大字	昭和の合併前の旧市町村	字(小字)	その他
過疎地域	3,679 (100.0%)	421 (11.4%)	419 (11.4%)	1,073 (29.2%)	926 (25.2%)	851 (23.1%)	751 (20.4%)	325 (8.8%)	650 (17.7%)
過疎	2,863 (100.0%)	241 (8.4%)	306 (10.7%)	823 (28.7%)	728 (25.4%)	592 (20.7%)	547 (19.1%)	250 (8.7%)	526 (18.4%)
みなし過疎	198 (100.0%)	23 (11.6%)	43 (21.7%)	98 (49.5%)	49 (24.7%)	38 (19.2%)	88 (44.4%)	1 (0.5%)	14 (7.1%)
一部過疎	618 (100.0%)	157 (25.4%)	70 (11.3%)	152 (24.6%)	149 (24.1%)	221 (35.8%)	116 (18.8%)	74 (12.0%)	110 (17.8%)
前過疎・旧過疎	161 (100.0%)	26 (16.1%)	12 (7.5%)	41 (25.5%)	12 (7.5%)	84 (52.2%)	20 (12.4%)	12 (7.5%)	41 (25.5%)
現一部過疎の非過疎地域	129 (100.0%)	19 (14.7%)	7 (5.4%)	25 (19.4%)	8 (6.2%)	70 (54.3%)	17 (13.2%)	5 (3.9%)	28 (21.7%)
非過疎市町村の旧過疎地域	32 (100.0%)	7 (21.9%)	5 (15.6%)	16 (50.0%)	4 (12.5%)	14 (43.8%)	3 (9.4%)	7 (21.9%)	13 (40.6%)
合計	3,840 (100.0%)	447 (11.6%)	431 (11.2%)	1,114 (29.0%)	938 (24.4%)	935 (24.3%)	771 (20.1%)	337 (8.8%)	691 (18.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

※複数の範囲に該当する圏域があるため、構成比の合計が100を超える場合がある

- 集落ネットワーク圏がどの範囲を対象に形成されているかをみると、全体では旧小学校区を範囲とした集落ネットワーク圏が32.9%と最も多く、次いで小学校区の31.4%となっている。
- 地方ブロック別に集落ネットワーク圏の形成状況をみると、九州圏(352 圏域)や東北圏(327 圏域)で集落ネットワーク圏が多く形成されている。
- 地方ブロック別に集落ネットワーク圏の範囲をみると、四国圏では、小学校区を範囲とした集落ネットワーク圏の割合が6割超となっており、他の地方ブロックと比べて高い。また、九州圏では、旧小学校区を範囲とした集落ネットワーク圏の割合が、中国圏では、昭和の合併前の旧市町村を範囲とした集落ネットワーク圏の割合が、北陸圏では、大字を範囲とした集落ネットワーク圏の割合が、それぞれ他の地方ブロックと比べて最も高くなっている。

図表 3-171 地方ブロック別・形成されている集落ネットワーク圏の範囲別 集落ネットワーク圏数

全体	集落ネットワーク圏の数	集落ネットワーク圏の範囲							
		平成の合併前の旧市町村	中学校区	小学校区	旧小学校区	大字	昭和の合併前の旧市町村	字(小字)	その他
1 北海道	44 (100.0%)	5 (11.4%)	13 (29.5%)	19 (43.2%)	3 (6.8%)	18 (40.9%)	2 (4.5%)	7 (15.9%)	7 (15.9%)
2 東北圏	327 (100.0%)	18 (5.5%)	24 (7.3%)	78 (23.9%)	114 (34.9%)	105 (32.1%)	72 (22.0%)	14 (4.3%)	51 (15.6%)
3 首都圏	11 (100.0%)	6 (54.5%)	2 (18.2%)	4 (36.4%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)
4 北陸圏	81 (100.0%)	3 (3.7%)	0 (0.0%)	2 (2.5%)	12 (14.8%)	61 (75.3%)	3 (3.7%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)
5 中部圏	84 (100.0%)	19 (22.6%)	21 (25.0%)	28 (33.3%)	31 (36.9%)	25 (29.8%)	20 (23.8%)	1 (1.2%)	16 (19.0%)
6 近畿圏	88 (100.0%)	6 (6.8%)	6 (6.8%)	34 (38.6%)	30 (34.1%)	19 (21.6%)	26 (29.5%)	1 (1.1%)	6 (6.8%)
7 中国圏	326 (100.0%)	28 (8.6%)	36 (11.0%)	66 (20.2%)	124 (38.0%)	47 (14.4%)	121 (37.1%)	14 (4.3%)	87 (26.7%)
8 四国圏	119 (100.0%)	4 (3.4%)	0 (0.0%)	77 (64.7%)	28 (23.5%)	6 (5.0%)	19 (16.0%)	0 (0.0%)	14 (11.8%)
9 九州圏	352 (100.0%)	29 (8.2%)	33 (9.4%)	144 (40.9%)	135 (38.4%)	46 (13.1%)	54 (15.3%)	20 (5.7%)	42 (11.9%)
10 沖縄県	16 (100.0%)	4 (25.0%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	8 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)
合計	1,448 (100.0%)	122 (8.4%)	138 (9.5%)	455 (31.4%)	477 (32.9%)	336 (23.2%)	318 (22.0%)	59 (4.1%)	228 (15.7%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック ※複数の範囲に該当する圏域があるため、構成比の合計が100を超える場合がある  
 ■ : 各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に集落ネットワーク圏の範囲をみると、生活圏と同様、「みなし過疎」では中学校区や小学校区、昭和の合併前の旧市町村を範囲とした集落ネットワーク圏の割合が、他の過疎区分と比べて高く、「一部過疎」では、平成の合併前の旧市町村を範囲とした集落ネットワーク圏の割合が、「過疎」では、旧小学校区を範囲とした集落ネットワーク圏の割合が、それぞれ他の過疎区分と比べて最も高くなっている。

図表 3-172 過疎区分別・形成されている集落ネットワーク圏の範囲別 集落ネットワーク圏数

過疎区分別	集落ネットワーク圏の数	集落ネットワーク圏の範囲							
		平成の合併前の旧市町村	中学校区	小学校区	旧小学校区	大字	昭和の合併前の旧市町村	字(小字)	その他
過疎地域	1,424 (100.0%)	120 (8.4%)	136 (9.6%)	451 (31.7%)	472 (33.1%)	327 (23.0%)	314 (22.1%)	58 (4.1%)	220 (15.4%)
過疎	1,098 (100.0%)	52 (4.7%)	77 (7.0%)	339 (30.9%)	376 (34.2%)	248 (22.6%)	232 (21.1%)	48 (4.4%)	181 (16.5%)
みなし過疎	102 (100.0%)	9 (8.8%)	20 (19.6%)	45 (44.1%)	30 (29.4%)	17 (16.7%)	45 (44.1%)	1 (1.0%)	4 (3.9%)
一部過疎	224 (100.0%)	59 (26.3%)	39 (17.4%)	67 (29.9%)	66 (29.5%)	62 (27.7%)	37 (16.5%)	9 (4.0%)	35 (15.6%)
前過疎・旧過疎	24 (100.0%)	2 (8.3%)	2 (8.3%)	4 (16.7%)	5 (20.8%)	9 (37.5%)	4 (16.7%)	1 (4.2%)	8 (33.3%)
現一部過疎の非過疎地域	24 (100.0%)	2 (8.3%)	2 (8.3%)	4 (16.7%)	5 (20.8%)	9 (37.5%)	4 (16.7%)	1 (4.2%)	8 (33.3%)
非過疎市町村の旧過疎地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,448 (100.0%)	122 (8.4%)	138 (9.5%)	455 (31.4%)	477 (32.9%)	336 (23.2%)	318 (22.0%)	59 (4.1%)	228 (15.7%)

■ : 各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域 ※複数の範囲に該当する圏域があるため、構成比の合計が100を超える場合がある

### ③集落ネットワーク圏の人口・世帯数規模

- 1 集落ネットワーク圏あたりの人口規模をみると、人口 1,001～3,000 人の圏域が 29.6%と最も多く、次いで人口 101～500 人の圏域が 26.5%となっている。若年者比率は 10%以下の圏域が 61.8%を占め、高齢者比率は 21～50%の圏域が 83.4%を占めている。また、1 集落ネットワーク圏あたりの世帯数規模をみると、101～500 世帯の集落ネットワーク圏が 44.8%と最も多い。
- 地方ブロック別に集落ネットワーク圏の人口規模をみると、東北圏や首都圏、九州圏では、1 集落ネットワーク圏あたりの人口規模が 1,001 人以上の集落ネットワーク圏の割合が 50%以上となっており、他の地方ブロックと比べて比較的高い。また、北海道では、1 集落ネットワーク圏あたりの人口規模が 101 人～500 人の集落ネットワーク圏の割合が、北陸圏では、人口 100 人以下の集落ネットワーク圏の割合が、それぞれ他の地方ブロックと比べて高くなっており、これらの地方ブロックでは、他の地方ブロックと比べて、人口 100 人以下あるいは 101～500 人などの比較的小規模な集落ネットワーク圏の割合が高い。
- また、首都圏では、若年者比率が 10%以下の集落ネットワーク圏の割合が他の地方ブロックと比べて高く、北陸圏では、高齢者比率が 51%以上の集落ネットワーク圏の割合が他の地方ブロックと比べて高い。

図表 3-173 地方ブロック別・集落ネットワーク圏の人口規模・人口構成・世帯数規模

全体	集落ネットワーク圏数	1圏域あたり人口規模					若年者比率			高齢者比率			1圏域あたり世帯数規模				
		～100	101～500	501～1000	1001～3000	3001～	～10%	11～20%	21～	～20%	21～50%	51～	～100	101～500	501～1000	1001～3000	3001～
1 北海道	44	6	16	5	9	8	23	18	0	3	37	4	13	16	5	7	2
2 東北圏	327	15	73	70	108	54	194	116	1	1	297	20	44	153	65	51	7
3 首都圏	11	1	3	1	1	5	9	2	0	0	11	0	2	2	1	4	1
4 北陸圏	81	35	27	5	11	3	55	13	0	0	54	27	51	13	4	5	0
5 中部圏	84	6	27	16	27	8	58	24	0	0	59	25	18	33	22	11	0
6 近畿圏	88	12	18	26	21	11	59	25	0	0	77	11	18	37	12	9	3
7 中国圏	326	7	105	83	97	34	201	118	1	0	257	65	46	173	62	36	9
8 四国圏	119	5	36	24	37	17	80	31	1	0	89	24	11	61	24	18	4
9 九州圏	352	4	73	87	115	73	215	135	0	0	318	33	22	154	75	75	20
10 沖縄県	16	3	5	3	2	3	1	11	1	4	9	1	4	7	1	4	0
合計	1,448	94	383	320	428	216	895	493	4	8	1,208	210	229	649	271	220	46

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック ※各区分の内訳には、人口、世帯数、年齢別人口が不明の集落ネットワーク圏は含まない  
 ■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に 1 集落ネットワーク圏あたりの人口規模をみると、「みなし過疎」では、1 圏域あたりの人口規模が 1,001 人以上の比較的大規模な集落ネットワーク圏の割合が、他の地方ブロックと比べて高くなっている。また、「みなし過疎」は、1 圏域あたりの世帯数規模も、他の過疎区分と比べて比較的大きくなっている。

図表 3-174 過疎区分別・集落ネットワーク圏の人口規模・人口構成・世帯数規模

過疎区分別	集落ネットワーク圏数	1圏域あたり人口規模					若年者比率			高齢者比率			1圏域あたり世帯数規模				
		～100	101～500	501～1000	1001～3000	3001～	～10%	11～20%	21～	～20%	21～50%	51～	～100	101～500	501～1000	1001～3000	3001～
過疎地域	1,424	92	381	313	423	208	884	481	3	8	1,188	206	227	640	268	212	44
過疎	1,098	77	319	249	318	135	684	380	3	8	924	164	190	525	196	137	35
みなし過疎	102	1	11	21	36	33	60	42	0	0	95	7	3	38	27	28	6
一部過疎	224	14	51	43	69	40	140	59	0	0	169	35	34	77	45	47	3
前過疎・旧過疎	24	2	2	7	5	8	11	12	1	0	20	4	2	9	3	8	2
現一部過疎の非過疎地域	24	2	2	7	5	8	11	12	1	0	20	4	2	9	3	8	2
非過疎市町村の旧過疎地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,448	94	383	320	428	216	895	493	4	8	1,208	210	229	649	271	220	46

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域 ※各区分の内訳には、人口、世帯数、年齢別人口が不明の集落ネットワーク圏は含まない

#### ④集落ネットワーク圏の中心集落の人口規模

- 集落ネットワーク圏の中心集落の人口規模をみると、全体では、中心集落の人口規模が 100～199 人の集落ネットワーク圏が 26.7%と最も多く、次いで中心集落の人口規模が 200～499 人の集落ネットワーク圏が 25.6%であり、これらを合わせると中心集落の人口規模が 100～499 人の集落ネットワーク圏が全体の約半数を占めている。
- 地方ブロック別に集落ネットワーク圏の中心集落の人口規模をみると、首都圏や沖縄県では、中心集落の人口規模が 200 人以上の集落ネットワーク圏が占める割合を合算すると、他の地方ブロックと比べて高い割合になる。一方で、北陸圏や中国圏などでは、人口規模が 100 人未満と比較的小規模な中心集落を有する集落ネットワーク圏の割合が、他の地方ブロックと比べて比較的高くなっている。

図表 3-175 地方ブロック別・集落ネットワーク圏の中心集落の人口規模別 集落ネットワーク圏数

全体	中心集落の人口規模(人)別 集落ネットワーク圏数									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	1 (2.3%)	1 (2.3%)	2 (4.5%)	6 (13.6%)	9 (20.5%)	11 (25.0%)	5 (11.4%)	9 (20.5%)	0 (0.0%)	44 (100.0%)
2 東北圏	1 (0.3%)	5 (1.5%)	17 (5.2%)	55 (16.8%)	86 (26.3%)	105 (32.1%)	30 (9.2%)	21 (6.4%)	7 (2.1%)	327 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	12 (14.8%)	12 (14.8%)	15 (18.5%)	24 (29.6%)	13 (16.0%)	3 (3.7%)	2 (2.5%)	0 (0.0%)	81 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	2 (2.4%)	9 (10.7%)	15 (17.9%)	20 (23.8%)	21 (25.0%)	13 (15.5%)	4 (4.8%)	0 (0.0%)	84 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	1 (1.1%)	6 (6.8%)	11 (12.5%)	35 (39.8%)	24 (27.3%)	8 (9.1%)	3 (3.4%)	0 (0.0%)	88 (100.0%)
7 中国圏	0 (0.0%)	17 (5.2%)	54 (16.6%)	88 (27.0%)	75 (23.0%)	51 (15.6%)	19 (5.8%)	21 (6.4%)	1 (0.3%)	326 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	5 (4.2%)	11 (9.2%)	19 (16.0%)	26 (21.8%)	31 (26.1%)	12 (10.1%)	15 (12.6%)	0 (0.0%)	119 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	5 (1.4%)	17 (4.8%)	43 (12.2%)	107 (30.4%)	107 (30.4%)	35 (9.9%)	38 (10.8%)	0 (0.0%)	352 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	1 (6.3%)	2 (12.5%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)	6 (37.5%)	4 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (100.0%)
合計	2 (0.1%)	49 (3.4%)	132 (9.1%)	253 (17.5%)	387 (26.7%)	370 (25.6%)	129 (8.9%)	118 (8.1%)	8 (0.6%)	1,448 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック  
 ■ :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に集落ネットワーク圏の中心集落の人口規模をみると、「過疎」では、中心集落の人口規模が比較的小さい集落ネットワーク圏の割合が他の過疎区分と比べて高いのに対し、「みなし過疎」では、中心集落の人口規模が 200～499 人の集落ネットワーク圏の割合が 3 割超になっているなど、他の地方ブロックと比べて、比較的中心集落の人口規模が大きい集落ネットワーク圏が占める割合が高くなっている。

図表 3-176 過疎区分別・集落ネットワーク圏の中心集落の人口規模別 集落ネットワーク圏数

過疎区分別	中心集落の人口規模(人)別 集落ネットワーク圏数									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
過疎地域	2 (0.1%)	47 (3.3%)	131 (9.2%)	253 (17.8%)	383 (26.9%)	364 (25.6%)	120 (8.4%)	116 (8.1%)	8 (0.6%)	1,424 (100.0%)
過疎	1 (0.1%)	38 (3.5%)	114 (10.4%)	216 (19.7%)	306 (27.9%)	269 (24.5%)	75 (6.8%)	79 (7.2%)	0 (0.0%)	1,098 (100.0%)
みなし過疎	0 (0.0%)	2 (2.0%)	3 (2.9%)	12 (11.8%)	28 (27.5%)	34 (33.3%)	19 (18.6%)	4 (3.9%)	0 (0.0%)	102 (100.0%)
一部過疎	1 (0.4%)	7 (3.1%)	14 (6.3%)	25 (11.2%)	49 (21.9%)	61 (27.2%)	26 (11.6%)	33 (14.7%)	8 (3.6%)	224 (100.0%)
前過疎・旧過疎	0 (0.0%)	2 (8.3%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	4 (16.7%)	6 (25.0%)	9 (37.5%)	2 (8.3%)	0 (0.0%)	24 (100.0%)
現一部過疎の 非過疎市町村 の旧過疎地域	0 (0.0%)	2 (8.3%)	1 (4.2%)	0 (0.0%)	4 (16.7%)	6 (25.0%)	9 (37.5%)	2 (8.3%)	0 (0.0%)	24 (100.0%)
合計	2 (0.1%)	49 (3.4%)	132 (9.1%)	253 (17.5%)	387 (26.7%)	370 (25.6%)	129 (8.9%)	118 (8.1%)	8 (0.6%)	1,448 (100.0%)

■ :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

### ⑤集落ネットワーク圏の中心集落における生活サービス機能の立地状況

- 集落ネットワーク圏の中心集落における生活サービス機能の立地状況をみると、立地している割合が高いものから順に、全体では、中心集落に駅・バス停がある集落ネットワーク圏が 72.1%、次いで中心集落に商店・スーパーがある集落ネットワーク圏が 56.3%、中心集落に(簡易)郵便局がある集落ネットワーク圏が 43.4%などとなっている。
- 地方ブロック別に集落ネットワーク圏の中心集落における生活サービス機能の立地状況をみると、首都圏では、各種生活サービス機能について中心集落に立地している集落ネットワーク圏の割合が、他の地方ブロックに比べて高い。また、沖縄県でも、病院・診療所やガソリンスタンド、小学校、幼稚園・保育所等が中心集落に立地している集落ネットワーク圏の割合が、他の地方ブロックに比べて比較的高い。

図表 3-177 地方ブロック別・集落ネットワーク圏の中心集落における生活サービス機能の立地状況

全体	集落ネットワーク圏の数	中心集落における生活サービス機能の立地状況							
		病院・診療所	商店・スーパー	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等
1 北海道	44 (100.0%)	16 (36.4%)	23 (52.3%)	19 (43.2%)	22 (50.0%)	13 (29.5%)	28 (63.6%)	19 (43.2%)	16 (36.4%)
2 東北圏	327 (100.0%)	39 (11.9%)	177 (54.1%)	56 (17.1%)	119 (36.4%)	44 (13.5%)	249 (76.1%)	71 (21.7%)	72 (22.0%)
3 首都圏	11 (100.0%)	7 (63.6%)	9 (81.8%)	6 (54.5%)	7 (63.6%)	3 (27.3%)	10 (90.9%)	7 (63.6%)	7 (63.6%)
4 北陸圏	81 (100.0%)	8 (9.9%)	29 (35.8%)	11 (13.6%)	18 (22.2%)	8 (9.9%)	8 (9.9%)	7 (8.6%)	7 (8.6%)
5 中部圏	84 (100.0%)	28 (33.3%)	51 (60.7%)	27 (32.1%)	42 (50.0%)	21 (25.0%)	77 (91.7%)	32 (38.1%)	32 (38.1%)
6 近畿圏	88 (100.0%)	29 (33.0%)	46 (52.3%)	23 (26.1%)	45 (51.1%)	19 (21.6%)	79 (89.8%)	29 (33.0%)	27 (30.7%)
7 中国圏	326 (100.0%)	94 (28.8%)	176 (54.0%)	83 (25.5%)	145 (44.5%)	58 (17.8%)	253 (77.6%)	95 (29.1%)	88 (27.0%)
8 四国圏	119 (100.0%)	35 (29.4%)	81 (68.1%)	46 (38.7%)	67 (56.3%)	26 (21.8%)	80 (67.2%)	39 (32.8%)	46 (38.7%)
9 九州圏	352 (100.0%)	99 (28.1%)	214 (60.8%)	101 (28.7%)	156 (44.3%)	70 (19.9%)	256 (72.7%)	121 (34.4%)	102 (29.0%)
10 沖縄県	16 (100.0%)	7 (43.8%)	9 (56.3%)	7 (43.8%)	8 (50.0%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)	10 (62.5%)	7 (43.8%)
合計	1,448 (100.0%)	362 (25.0%)	815 (56.3%)	379 (26.2%)	629 (43.4%)	264 (18.2%)	1,044 (72.1%)	430 (29.7%)	404 (27.9%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地方ブロック
- :各区分において該当集落数の割合が2番目に大きい地方ブロック

- 過疎区分別に集落ネットワーク圏の中心集落における生活サービス機能の立地状況をみると、「一部過疎」では、多くの生活サービス機能について、中心集落に立地している集落ネットワーク圏の割合が他の過疎区分と比べて高くなっている。

図表 3-178 過疎区分別・集落ネットワーク圏の中心集落における生活サービス機能の立地状況

過疎区分別	集落ネットワーク圏の数	中心集落における生活サービス機能の立地状況							
		病院・診療所	商店・スーパー	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等
過疎地域	1,424 (100.0%)	356 (25.0%)	798 (56.0%)	371 (26.1%)	622 (43.7%)	258 (18.1%)	1,023 (71.8%)	423 (29.7%)	399 (28.0%)
過疎	1,098 (100.0%)	242 (22.0%)	596 (54.3%)	270 (24.6%)	462 (42.1%)	179 (16.3%)	767 (69.9%)	298 (27.1%)	290 (26.4%)
みなし過疎	102 (100.0%)	36 (35.3%)	52 (51.0%)	20 (19.6%)	47 (46.1%)	23 (22.5%)	68 (66.7%)	38 (37.3%)	31 (30.4%)
一部過疎	224 (100.0%)	78 (34.8%)	150 (67.0%)	81 (36.2%)	113 (50.4%)	56 (25.0%)	188 (83.9%)	87 (38.8%)	78 (34.8%)
前過疎・旧過疎	24 (100.0%)	6 (25.0%)	17 (70.8%)	8 (33.3%)	7 (29.2%)	6 (25.0%)	21 (87.5%)	7 (29.2%)	5 (20.8%)
現一部過疎の非過疎地域	24 (100.0%)	6 (25.0%)	17 (70.8%)	8 (33.3%)	7 (29.2%)	6 (25.0%)	21 (87.5%)	7 (29.2%)	5 (20.8%)
非過疎市町村の旧過疎地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,448 (100.0%)	362 (25.0%)	815 (56.3%)	379 (26.2%)	629 (43.4%)	264 (18.2%)	1,044 (72.1%)	430 (29.7%)	404 (27.9%)

- :各区分において該当集落数の割合が最も大きい地域

## 參考資料

---





# 参考資料1 集落の現状把握のための調査票

- …前回調査(平成22年4月時点)で回答された集落のうち「居住者がいる」とされた集落の前回調査時点の状況(前回回答データ)
- …各市町村の基礎情報項目(あらかじめ入力済)、及び回答に応じて自動計算される調査項目
- …今回新たに回答していただくデータ(現在居住者がいる集落)
- …今回新たに回答していただくデータ(継続調査区域のみ、平成22年以降に消滅した集落)

都道府県	市町村コード(H27時点)	市町村名(H27時点)	市町村区分(H27時点)	現市町村(H27時点)単位での地域指定状況					市町村コード(H22時点)	市町村名(H22時点)	市町村区分(H22時点)	過疎指定(H22時点)	市町村コード(H18時点)	市町村名(H18時点)	市町村区分(H18時点)	過疎指定(H18時点)		
				過疎指定(H27時点)	山村指定(H27時点)	離島指定(H27時点)	半島指定(H27時点)	特豪指定(H27時点)									H27.4.1時点での過疎地域の指定状況	H27.4.1時点での振興山村の指定状況
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)		
記入例	〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村				一部特豪	48153	〇〇市	市	一部過疎	48153	〇〇市	市	一部過疎

旧市町村コード(H11時点)	旧市町村名(H11時点)	旧市町村区分(H11時点)	集落番号	集落名	地域振興諸法の地域指定状況					津波被災地	集落の状況(H22時点)	H22住民基本台帳(H22.4.30.時点)					
					過疎	山村	離島	半島	特別豪雪・豪雪			人口(人)	30~64歳	65~74歳	75歳以上	世帯数(世帯)	
	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)
記入例	48301	●●町	町	1	A山	4.一部過疎の非過疎区域-前法過疎				豪雪(全域)	○	1.居住者あり	192	90	28	22	68

集落の状況(H27時点)	H22.4以降の集落の行政的再編の有無	H27住民基本台帳(H27.4.30.時点)										当該集落に平成22年以降に転入した人がいるか	平成22年以降に転入した世帯の中に高校生までの子どもがいる世帯があるか	集落類型(H22時点)	集落類型(H27時点)	役場までの距離(km)(H22時点)		役場までの距離(km)(H27時点)		
		再編後の集落No.	再編後の集落名	総人口(人)	0~14歳	15~29歳	30~64歳	65~74歳	75歳以上	世帯数(世帯)	本庁までの距離					支所・出張所までの距離	本庁までの距離	支所・出張所までの距離		
		(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)	(51)	(52)
1.居住者あり 2.消滅(無人化)	1.他集落を統合 2.他集落に編入 3.他集落と合併 4.行政的再編なし 5.新規に誕生 6.分離 7.名称変更 ※定数は「B無記入要領」をご覧ください。	数値入力	文字入力	各集落ごとに、平成27年4月30日時点の住民基本台帳人口(総数及び各年齢区分人口)と総世帯数を入力してください。 ※年齢区分人口(39)~(43)の合計が総人口(38)と一致することを確認してください。 ※世帯数(44)は総人口(38)より小さいか又は同数であることを確認してください。										フルダウンより選択	フルダウンより選択	フルダウンより選択	フルダウンより選択	数値入力	数値入力	
1.居住者あり 4.再編なし	4.再編なし			180	12	25	89	30	24	65	1.転入者がいる	1.子育て世帯がある	3.中心	3.中心	1		1			

地域区分 (H22時点)	地域区分 (H27時点)	地形的に ある集落 (H22時点)	地形的に ある集落 (H27時点)	生活サービス機能の立地状況								サポート人材の配置状況			集落の各機能の維持状況(H22時点)		
				病院・診 療所	商店・ スーパー	ガソリン スタンド	(簡易) 郵便局	老人デー サービス センター	駅・ バス停	小学校	幼稚園・ 保育所 等	集落 支援員	地域おこ し協力隊 等	その他	資源管理機能	生産補完機能	生活扶助機能
	ブルダウ ンより選 択		ブルダウ ンより選 択	ブルダウ ンより選 択								ブルダウ ンより選 択					
1.山間地 2.中間地 3.平地 4.都市	1.山間地 2.中間地 3.平地 4.都市		(55)のH22時点以降の道路整備等の状況を踏まえ、現時点で地形的に行き止まりの集落に○をつけてください	上記の各生活サービス関連施設が立地している集落には、ブルダウ ンよりそれぞれ○をつけてください ※各施設の定義については「B票記入要領」をご覧ください。								上記の各人材が配置されている集落にはブルダウ ンより○をつけてください ※同一人物が複数集落を受け持っている場合、担当集落すべてに○をつけてください。 ※定義については「B票記入要領」をご覧ください。			1.主に集落住民により維持 2.主に他集落と合同で維持 3.主にボランティア等により維持 4.その他		
(53)	(54)	(55)	(56)	(57)	(58)	(59)	(60)	(61)	(62)	(63)	(64)	(65)	(66)	(67)	(68)	(69)	(70)
3.平地	3.平地			○	○	○	○	○	○	○	○				1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持
2.中間地	2.中間地				○								○		1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持
2.中間地	2.中間地				○										1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持
2.中間地	2.中間地														1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持
1.山間地															1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持
2.中間地															1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持
1.山間地	1.山間地	○			○		○	○					○		1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持
	1.山間地											○					

集落の各機能の維持状況(H27時点)			集落機能の 維持の状況 (H22時点)	集落機能の 維持の状況 (H27時点)	今後の消滅 の可能性 (H22時点)	今後の消滅 の可能性 (H27時点)	今後の人口動 向 (H22時点)	今後の人口動 向 (H27時点)	集落ネットワークの形成状況	
資源管理機能	生産補完機能	生活扶助機能							生活圏の 形成状況	各生活圏の中心 集落
ブルダウ ンより選 択				ブルダウ ンより選 択		ブルダウ ンより選 択		ブルダウ ンより選 択	数値入力	ブルダウ ンより選 択
1.主に集落住民により維持 2.主に他集落と合同で維持 3.主にボランティア等により維持 4.その他			1.良好 2.機能低下 3.機能維持 困難	1.良好 2.機能低下 3.機能維持 困難	○:いずれ 消滅 ◎:10年以内 に消滅 -:存続	○:いずれ 消滅 ◎:10年以内 に消滅 -:当面存続	1.増加 2.横ばい 3.減少	1.増加 2.横ばい 3.減少	形成されている集 落生活圏について、「1」から順に 連番をつけてください ※(80)の番号ごと に1つずつ○	各生活圏の中心 集落にブルダウ ンから○をつけてく ださい
(71)	(72)	(73)	(74)	(75)	(76)	(77)	(78)	(79)	(80)	(81)
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.良好	1.良好	-	◎	2.横ばい	2.横ばい	1	○
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.良好	1.良好	-	○	3.減少	3.減少	1	
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.良好	1.良好	-	-	3.減少	3.減少	1	
			2.機能低下		-		3.減少			
			2.機能低下		-		3.減少			
			2.機能低下		-		3.減少			
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.良好	1.良好	-	-	2.横ばい	3.減少	2	○
2.他集落と合同で維持	2.他集落と合同で維持	2.他集落と合同で維持		1.良好	-	-	2.横ばい	2.横ばい	2	

複数集落で構成され、住民の一体性があり、集落機能の維持・活性化への取組を共同で行っている集落生活圏(集落ネットワーク)の形成状況											集落機能の維持・再編成の見通し (H22時点)		集落機能の維持・再編成の見通し (H27時点)				
構成 集落数	生活圏の 総人口	0~14歳人 口	65歳以上 人口	若年者 比率	高齢者 比率	生活圏の 世帯数	各生活圏の範囲								地域運営組織の 状況	集落機能の維持・再編成の見通し (H22時点)	集落機能の維持・再編成の見通し (H27時点)
(自動計算)							ブルダウ ンより選 択								ブルダウ ンより選 択		ブルダウ ンより選 択
※(38)~(44)に入力していただいた人口・世帯数を用いて、(80)の番号をもとに集落生活圏ごとに自動集計し、(81)で○をつけた中心集落にその結果を表示します。							以下の様々な圏域の中から当該生活圏の範囲としてあてはまるものをすべて選び、(81)で○をつけた各生活圏の中心集落の欄に○をつけてください								生活圏の課題解決に持続的に取り組む中心的組織が存在する場合は、ブルダウ ンから○をつけてください	1.空間的移転を予定 2.行政的再編を予定 3.機能的再編を予定 4.検討中 5.予定なし	1.空間的移転を予定 2.行政的再編を予定 3.機能的再編を予定 4.検討中 5.予定なし
(82)	(83)	(84)	(85)	(86)	(87)	(88)	(89)	(90)	(91)	(92)	(93)	(94)	(95)	(96)	(97)	(88)	(98)
3	337	12	107	3.6%	31.8%	150	○		○						○	5.予定なし	5.予定なし
																5.予定なし	5.予定なし
																5.予定なし	5.予定なし
																3.機能的再編を予定	
																3.機能的再編を予定	
																3.機能的再編を予定	
2	146	6	74	4.1%	50.7%	109	○		○							3.機能的再編を予定	5.予定なし
																5.予定なし	

H22.4以降に消滅(無人化)した 集落の消滅理由	H22.4以降に消滅した 集落の住民の移転先	H22.4以降に 消滅した集落の 消滅時期	H22.4以降に消滅した集落にある主な資源の管理方法(H27時点)									消滅集落跡地 の資源管理の 状況 (H27時点)	備考
			森林・林地	農地・田畑	集会所・ 小学校等	住宅	集落道路・ 農道等	用排水路 等	神社・仏閣 等	河川・湖 沼・ため池 等	伝統的祭事・ 伝統芸能等		
ブルダウンより選択	ブルダウンより選択	数値入力	ブルダウンより選択									ブルダウンより 選択	
1.集落移転事業による移転 2.公共工事による集団移転 3.廃坑による廃村等 4.自然災害等による分散転居 5.自然消滅 6.その他	1.主に自市町村内の他 集落に転居 2.主に他市町に転居 3.各地に分散転居 4.転居者なし 5.不明	和暦で回答してく ださい (Hは自動的に入 力されます)	1.転居した元集落住民により維持管理を継続 2.他集落等に維持管理を委託(依頼) 3.ボランティア等により維持管理を継続 4.行政により維持管理を継続 5.放置 →当集落には該当する資源・施設がない									1.良好 2.やや荒廃 3.荒廃	
(100)	(101)	(102)	(103)	(104)	(105)	(106)	(107)	(108)	(109)	(110)	(111)	(112)	(113)
5.自然消滅	1.自市町村内に転居	H25	5.放置	5.放置	4.行政が管理	5.放置	4.行政が管理	5.放置	1.元住民が管理	5.放置	1.元住民が管理	3.荒廃	
5.自然消滅	1.自市町村内に転居	H26	5.放置	5.放置	4.行政が管理	5.放置	4.行政が管理	5.放置	1.元住民が管理	5.放置	1.元住民が管理	3.荒廃	